

第57回全道造形教育 研究大会釧路大会

釧路造形教育研究会 実践事例研究集録

《くしろスタイル》

—2007年度版—

■釧路大会研究テーマ

「できた!」「いいね!」の喜びが息づく時間を求めて

■釧路大会研究主題

つくる喜び・感動する心をつなげていく造形教育

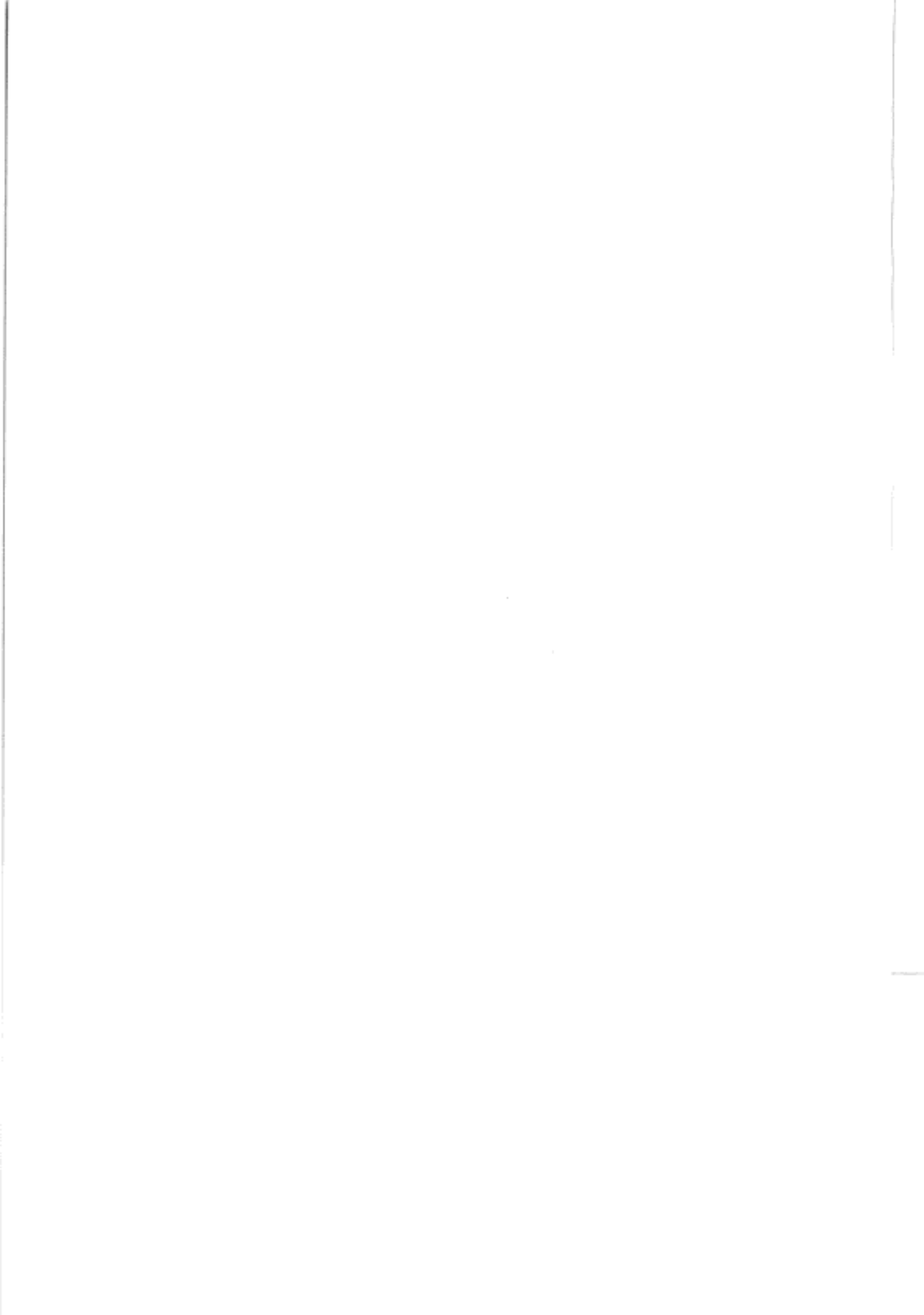
制作：釧路造形教育研究会

くしろスタイル



題 材 配 当 表
指 導 計 画 ・ 評 価 規 準
実 践 事 例

釧路造形教育研究会



目 次

「くしろスタイル」とは・・・・・・・・・・ 釧路造形教育研究会 研究部長 中島健朗・・・・・・ 2

題材担当表・・ 3

指導計画・評価規準

小学校1年・・	5
小学校2年・・	17
小学校3年・・	28
小学校4年・・	41
小学校5年・・	53
小学校6年・・	62
中学校1年・・	70
中学校2年・・	76
中学校3年・・	81

実践事例

小学校2年「見て見て～ひまわりを描こう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	85
小学校5年「自然からのおくりもの～流木を使って」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	89
小学校5年「動くよ動く 絵が動く」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	93
小学校全年「つくって遊ぼう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	97
中学校1年「みんなの想いをつなぐ ～しりとリアニメーション」・・・・・・・・・・・・	101
中学校1年「絵文字をつかった名札」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	105
中学校2年「心の中の世界（表現）」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	108
中学校2年「日本絵画の造形美」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112
中学校3年「銅版腐食でネームプレートづくり」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	116
高等学校「がちゃがちゃでメッセージを伝える」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	120
特別支援「作って食べよう」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	123

くしろスタイルとは…

1. きっかけは…

職員室でこんな会話をしたことはないでしょうか？

「来週の図工、なにしよう？」 「1学期に工作をしてないから、教科書を見てみようか？」

そして、教室では、子ども達にこんな投げかけをしていないでしょうか？

「今度の図工は〇〇をするから、教科書を見て、自分の使いたいものを用意してきなさい！」

これは、どの学校でも日常的に行われている会話かもしれません。では、国語や算数、音楽や体育でもこのようなことがあるのでしょうか？ 答えはNO！です。他の教科では、学習の順序が系統立てて存在しています。ある内容を理解した上で、ある活動を経験した上で、次の段階の学習へと進むように計画が立てられています。

では、図画工作科や美術科に、学習の順序や系統は存在しないのでしょうか！これも答えはNO！です。図画工作科でも、繰り返し学習することが必要な内容（水彩絵の具の使い方など）もあるし、ある経験をもとに発展させていく活動（はさみやカッターなど道具の使い方など）も存在しているのです。

そこで、小学校から中学校まで9年間の図画工作科・美術科の題材を全部並べて、

○どんな順番で学習することが効果的なのか。

○何を繰り返して経験させていくべきなのか。

○他教科との関連はどうか。

などを考えながら組み立てた活動計画がこの「くしろスタイル」なのです。

2. どんなことがわかるの？

学習指導要領では領域を表現と鑑賞の2つに分けていますが、今回は実際の活動を考え、釧路市内で使用されている教科書に合わせた形で以下のような領域に分け題材を配列しました。

小学校～①造形遊び ②絵に表す ③立体に表す ④つくりたいものをつくる ⑤鑑賞 中学校～①絵画・彫刻 ②鑑賞 ③デザイン・工芸 ④映像メディア ⑤複合教材
--

鑑賞に関しては独立して配列する形と、他の題材の活動の中に含まれている形があります。これらは巻頭に、小学校と中学校の一覧をわかりやすく掲載しています。

このような考えを元に、活動に関しては次のようなことを意識して構成しました。

季節や学校生活など子供たちの生活に密着した題材が効果的であるという考えから、行事や他教科の活動との関連性を重視しました。さらに各領域がバランスよく、まんべんなく体験できるようにし、その中で子供たちの意欲を高める素材や技法を学年に合わせて配列しました。

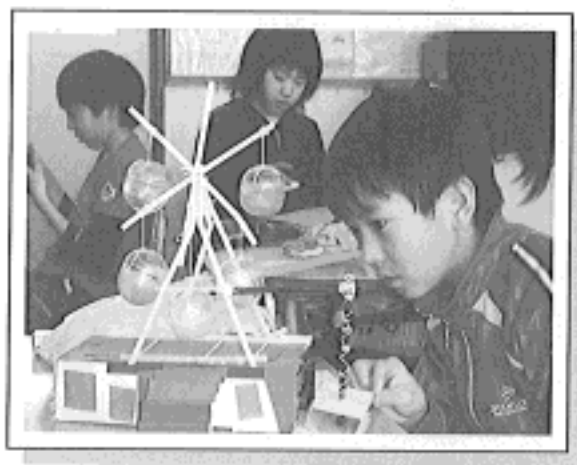
また、素材や道具、技法に関しても、繰り返し体験し、習熟できるように考えました。例として、2年生の「ひかりのおくりもの」と5年生の「光とかげ」は光を通して生まれる美しさを感じる題材、2年生の「ざいりょうのへんしん3」や4年生の「ワンダーランドへようこそ」は校舎を生かした活動であり、この経験が6年生の「思い出の校舎アート」へつながるなど、以前の体験を次の活動の起点とすることができます。

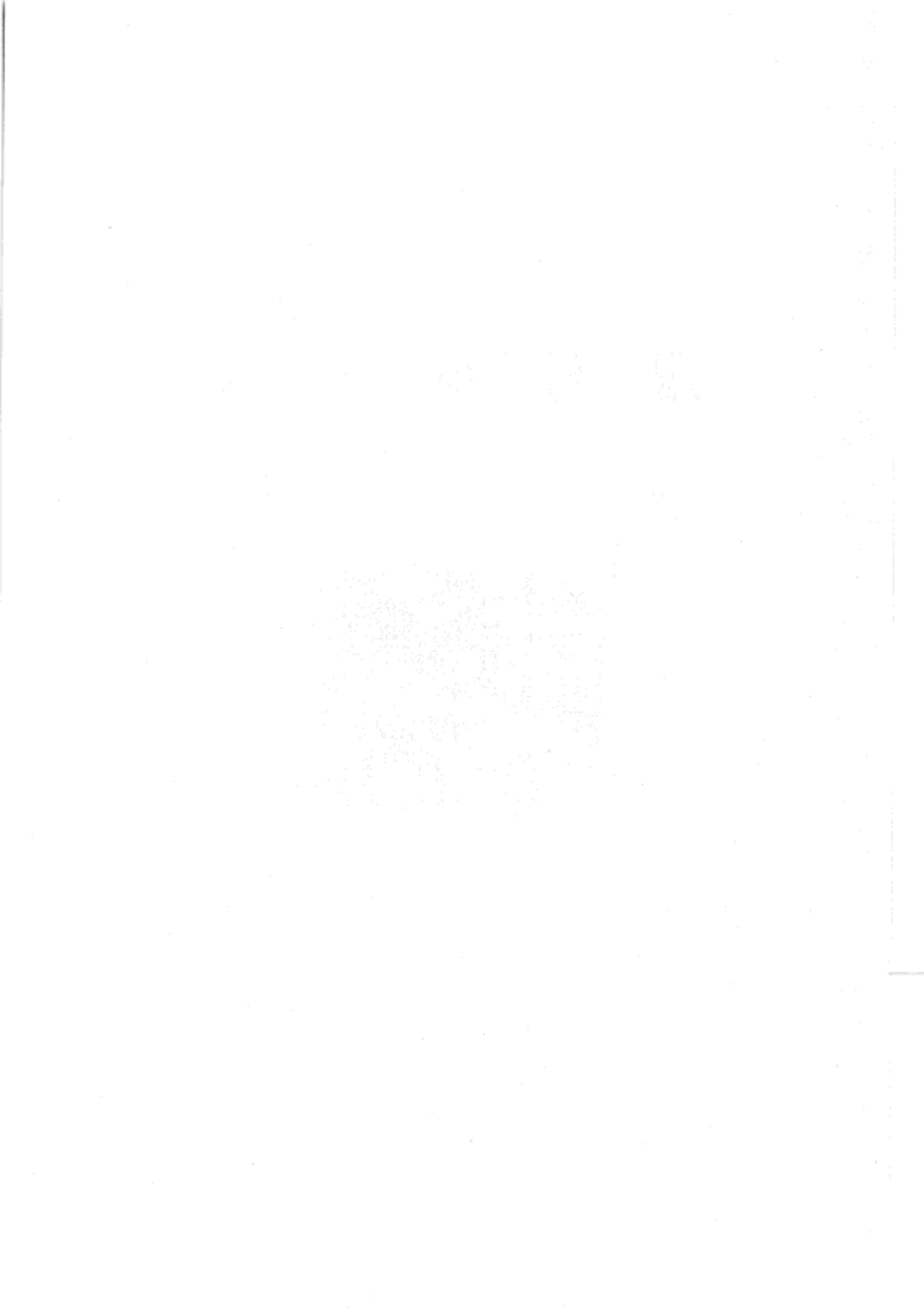
3. 全ての題材に

小学校1年生の最初から、中学校3年生の最後まで、112の題材を選び、全ての目標、活動内容、評価規準をまとめ、構成したものが続いて掲載されています。そして、釧路造形教育研究会の会員が実践したレポートが巻末にまとめられています。

どうぞ、担当されている学年からお読み下さい！「あっ！そうか！」というところがあるはずですよ。

題材配当表





小学校図画工作科 年間指導計画 題材配当表

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
4	すきなもののなかに② 元氣いっぱいのおお③ ねんどでだしざん② どんだんならべて③	2年生になつたよ④ ざいりょうのへんしん② かためかたおし③ これいいかんじ④	3年生になつたよ④ ダグダグかくかく② くっつけくっつけ② 風パワー全開④ その時の気持ちをお大切に⑥ まぜつの中で②	4年生のほく・わたし⑥ ぬのから生まれた④ ざいりょう物語④ ココロココロガラート⑧	よく見てみると① トローリかたまれ④ 曲げてねじって③ こんな時に感じることを思うこと⑤ 動くよ動くよ絵が動く④	のぼしてまるめてくっつけて② 自分の土器をつくろう⑦ 表し方の広がり① くねくねアート④ 日本のアート① 色を選んで水墨画に挑戦③	
5	さわってかんで② ウキウキドキドキ(運足の絵)④ クルクルチョッキン(七夕飾り)② どんだんならべて(色水づくり)③	お話しロボット④ ひかりのおくりもの④ 見て見ておほなし⑥	ダンボールのへんしん④ 心キラリ④ スルスルスットン④ させつの中で④ 紙はん画⑦	ゆめを広げて⑤ 大好まっぴーだ① ワンダーランドへようこそ⑤ わすれられない日⑥ 木から生まれた世界(本版画)⑥ ハッピーカード②	自然からのおくりものⅠ⑦ 光とかげ⑦ ほって削って⑧	自然からのおくりものⅡ⑧ わたしたちの町⑥ 色を選んで木板画をつくろう⑧	
6	でてきた② 楽しいなすごいな② ココロアート④ ヒラヒラココロココロ③ ベタベタベタタン④ ウキウキドキドキ(学校生活の絵)⑤ どんだんならべて② ほこハコはこ④ みてみておほなし(物語の絵)⑥	どんどんできるよ④ 紙のしくみをつかって② わ、すごいな(消防車の絵)⑥ ピョピョコストローマジック② ざいりょうのへんしん②② うつてうつて(紙はんが)⑤ むにゆむにゆアート⑤	切って切ってトントントン⑥ これでかけるよ④ みんなで作ろう夢の町⑦	ひもでつくろう③ キラキラ光る絵④ へん身ハッパ⑥	ゲートをめけてゴールイン⑥ 心広がる場面⑤	広がれアート① 思い出の校舎アート⑧ 夢を集めて①	
7	いろいろな紙で② さわってかんで② でてきた③ ウキウキドキドキ(雪遊びの絵)⑤ むくむくニヨキニヨキ③ みんななまよし②	おしやれなどうぶつ④ きってワクワクめくるん④ いっぱいゆめいっぱい⑤ ざいりょうのへんしん③④	造形遊び	絵に表す	立体に表す	つくりたいものをつくる	鑑賞

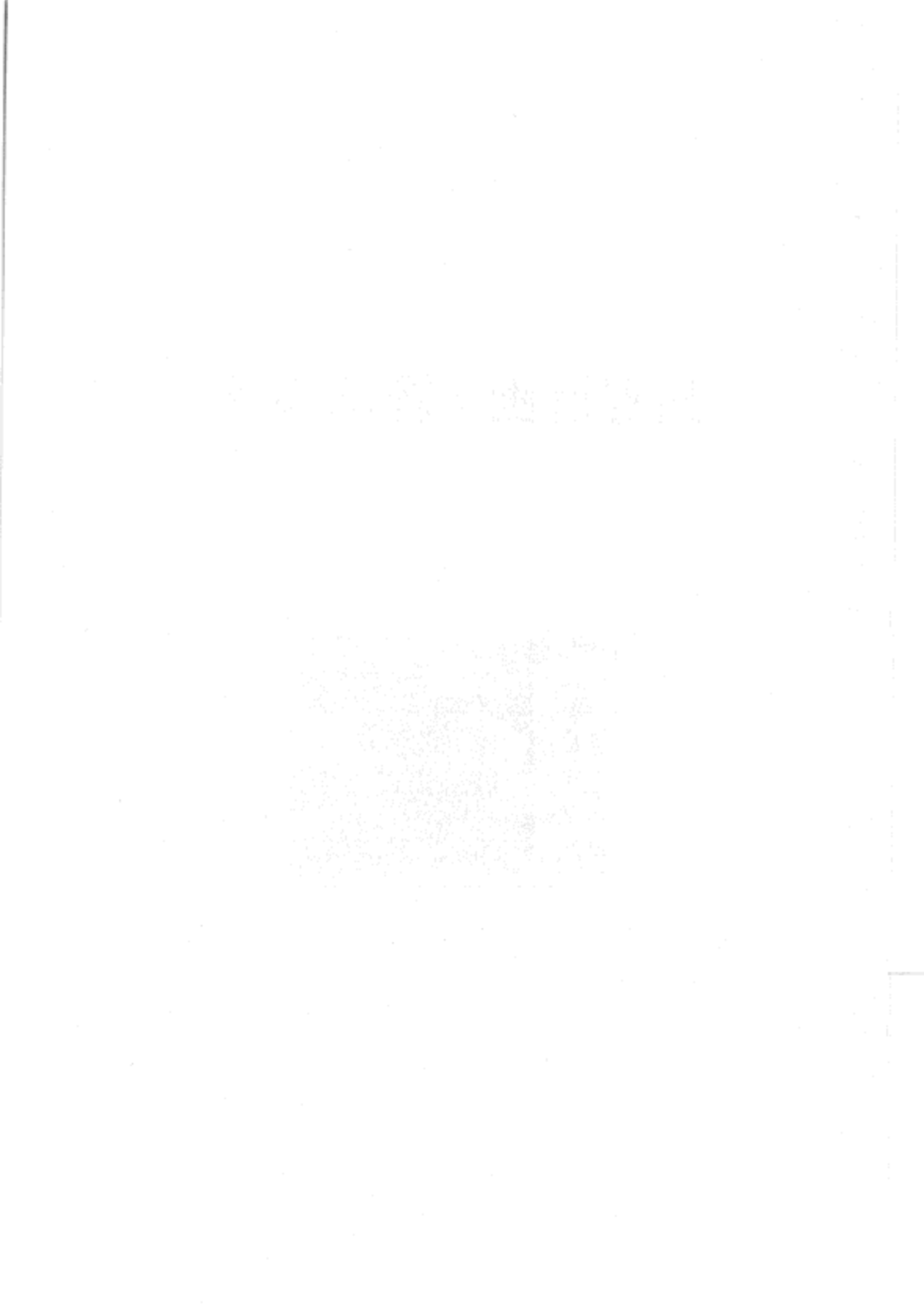
中学校美術科 年間指導計画 題材配当表

1年	2年	3年
心の形・心の色③ (絵画・心象表現)	ピクトグラムデザイン② (デザイン・生活造形)	日本の伝統工芸(螺鈿の魅力)⑥ (塗装工芸・生活造形)
ネームプレート【腐食による表面処理】② (金属工芸・生活造形)	ファインダーをのぞいて② (写真・映像メディア)	日本の美術と西洋の美術② (鑑賞)
レタリングボックス⑧	抽象彫刻入門⑧	季節を包む⑥
(デザイン・工芸・生活造形)	(鑑賞・彫刻・心象表現)	(絵画・紙工芸・心象表現＋生活造形)
スケッチの魅力④	ステンドグラスと切り絵の世界⑥	思春期の私(自画像)⑥
(絵画・鑑賞)	(絵画・デザイン・心象表現)	(絵画・心象表現)
美術新聞を作ろう②	オリジナル印をつくろう【篆刻】⑧	シルクスクリーン⑤
(鑑賞)	(版表現・彫刻・心象表現＋生活造形)	(版表現・心象表現)
私の手④	オリジナルカッパホルダー【鋳造】②	アイヌ文様を彫る⑦
(彫刻・生活造形)	(金属鑄造・生活造形)	(木材工芸・生活造形)
しりとリアニメーション⑦	やさしさを形に④	環境と造形(イサム・ノグチと新宮晋)②
(絵画・デザイン・映像メディア)	(ユニバーサルデザイン・生活造形)	(鑑賞)
多様な表現に触れる【道展銅路移動展】②	日本の美術【尾形光琳・伊藤若冲・丸山応挙】②	
(鑑賞)	(鑑賞)	
ドライポイント⑥	日本画の世界⑥	
(版表現・心象表現)	(絵画・心象表現)	
日本の伝統工芸【薬研で表す】⑧		
(木材工芸・生活造形)		

絵画・彫刻
 鑑賞
 デザイン・工芸
 映像メディア
 複合題材

指導計画・評価規準





【第1学年 図画工作科】

【1学期】

題材名及び目標				
すきなもののなかに（2時間） 思いついたものや好きなものをクレヨンを使って描くことができる				
主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
学習の準備の仕方を学ぶ。 ・机の上の新聞紙・クレヨンの使い方や落ちた時はすぐ拾う等の対応の仕方。 思いついたものや好きなものを画用紙にどんどん描いていく。（2時間）	B 自分の好きなものや思いついたものを画用紙に楽しく描く。 A 自分の好きなものや思いついたものを色や形を考えながら楽しく描く。 【観察・発言・作品】	B 自分の好きなものを考える。 A 自分の好きなものや思いついたものをどこに描くか考える。 【観察・発言・作品】 描くものが思いつかない子には線やグルグル渦巻きなどを描くよう促す。	B 学習の準備の仕方を理解し、クレヨンを使って描くことができる。 A 学習の準備の仕方を理解し、約束を守ってクレヨンを使って描くことができる。 【観察・発言・作品】	B お友達の絵から新しく描くものを見つける。 A お友達の描く絵や色づかいを自分の活動に生かす。 【観察・発言・作品】

題材名及び目標				
元気いっぱいのかお（3時間） クレヨンを正しく使って自分の元気な顔を描き、はさみを正しく使って自分の絵を切り抜くことができる。				
主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
学習準備を行う。 クレヨンを正しく使って元気いっぴいな自分の顔を楽しく描く。 （2時間）	B 自分の顔を描いたり切り抜いたりすることを楽しんでいる。 A 顔や各部分の形をよく見て描いたり、細かく切り抜こうとしている。 【観察・発言・作品】	B 自分の元気な顔はどんな顔かを考える。 A 自分が元気なときはどんな顔でどんなことをしているかを考える。 【観察・発言・作品】 なかなか描けない子には自分の顔を触ったりしながら、輪郭や目鼻・口を確認して一緒に描く。	B クレヨンを使って目、鼻、口などの部分に気をつけて描くことができる。 A クレヨンを使って顔の各部分の形やバランス、身体の動きなどにできる。 【観察・作品】	B みんなの顔がそろった大きな紙を楽しく見る。 A みんなの顔を見て良いところを探して話すことができる。 【観察・発言】
はさみの正しい使い方を知り、自分の顔をはさみで大まかに切り抜く。 （1時間）			B はさみを正しく持って、自分の顔を大まかな形に切ることができる。 A はさみを正しく使って自分の顔を描線に沿って切り抜くことができる。 【観察・作品】	
それぞれの絵を担当が1枚の台紙に貼って掲示する。				

題材名及び目標

ねんどでたしざん〈2時間〉

油粘土の感触に親しみながらいろいろな形をつくり、それらを積んだり並べたりしてつくることができる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>学習の準備の仕方を学ぶ。</p> <p>・机の上の新聞紙</p> <p>・粘土の使い方や落ちた時はすぐ拾う等の対応の仕方。</p> <p>思いついたものや好きなものを粘土でどんどんつくり、積んだり並べたりする。</p> <p>(2時間)</p>	<p>B粘土を身体いっぱいを使ってこね、自分の好きなものや思いついたものをどんどんつくっていく。</p> <p>A粘土を身体いっぱいを使ってこね、自分の好きなものや思いついたものをつくり、並べたり積んだりして楽しむ。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分の好きなものを考えてつくる。</p> <p>A自分の好きなものや思いついたものをどのように積んだり並べたりするかを考えてつくる</p> <p>【観察・発言・作品】</p> <p>油粘土をいやがる子供には一緒に活動して楽しさを味わわせたり、土粘土に変更する。</p>	<p>B学習の準備の仕方を理解し、油粘土を使ってつくることのできる。</p> <p>A学習の準備の仕方を理解し、約束を守って油粘土を使ってつくることのできる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>Bお友達の活動から新しくつくるものを見つける。</p> <p>Aお友達のつくるものや、そのつくり方を参考に新しい活動を始める。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>

題材名及び目標

どんどんならべて〈3時間〉

校庭やグラウンドで自然素材を集め、友達と一緒に考えたり、協力して並べることを楽しむ。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>校庭やグラウンドで好きな形や色の自然素材をたくさん集める。</p> <p>(1時間)</p>	<p>B好きな形や色の自然素材を集める。</p> <p>Aどんなふうにならべて目的を持って自然素材を集める。</p> <p>【観察・発言】</p>			<p>B好きな色や形の自然素材を探している。</p> <p>A並べたいものを表すための自然素材を探している。</p> <p>【観察・発言】</p>
<p>グループ毎に話し合ったり試しながら集めたものを並べて楽しむ。</p> <p>(1時間)</p>	<p>B友達といっしょに自然素材を楽しみながら並べている。</p> <p>A友達と話し合いながら自然素材を楽しく並べている。</p> <p>【観察・発言】</p>	<p>Bどんな風に並べたら楽しいかを考えている。</p> <p>Aどんな風に並べたら楽しい形になるかを考えたり話し合っている。</p> <p>【観察・発言】</p>		
<p>並べたものをみんなで見え楽しむ。</p> <p>(1時間)</p>				<p>B並んだ素材を楽しく見る。</p> <p>A並び方の良さを話すことができる。</p> <p>【観察・発言】</p>

題材名及び目標

さわってかんじて(2時間)

身近なもの(布や綿、木や粘土、自然素材)の手触りの違いを感じ、自分の好きな手触りのものを見つけることができる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>教室にあるものや家にあるもの、校庭やグラウンドにあるものなどをさわって、どんな感じかを友達に伝えたり、実際にさわってみたりしながら、いろいろな手触りを感じる。 (2時間)</p>	<p>B 自分の好きな手触りを探したり伝えたりしている。 A いろいろな素材の手触りを積極的に探したり、感じたりし、その様子を伝えている。 【観察・発言】</p>	<p>自然物をさわるのをいやがる子には草や花などきれいな色や形のものから促してみる。</p>		<p>B 自分の好きな手触りのものを探して教師に伝えている。 A 自分の好きな手触りや教えたい手触りを教師や友達に伝えている。 【観察・発言】</p>

題材名及び目標

ウキウキドキドキ(遠足の絵)(4時間)

クレヨンの使い方(線や面の描き方、塗り方)を知り、遠足に行つて楽しかったことを絵に表すことができる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>ワークシートを用いて、クレヨンのを使用した線や面の描き方を知る。 (1時間)</p>			<p>B クレヨンの使い方を知る。 A クレヨンの使い方を知り線や面の描き方を試している。 【観察・ワークシート】</p>	
<p>遠足で楽しかったことや見つけたこと等を話し合う。 (1時間)</p>	<p>B 遠足で楽しかったことを話し、どんな絵にしたいか考える。 A 遠足で楽しかったことを友達と一緒に話し合いどんな絵にしたいかを考える 【観察・発言】</p>			
<p>遠足で楽しかったことなどをクレヨンの使い方を生かしながら描く。 (2時間)</p>	<p>B 遠足で楽しかったことを描こうとする。 A 遠足で楽しかったことをクレヨンの使い方を生かして描こうとする。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 自分を中心に遠足の様子を描く。 A 友達や周りの様子なども一緒に描く。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B クレヨンの使い方を生かして描く。 A クレヨンの使い方を生かし、色の濃淡等を考えながら描く。 【観察・発言・作品】</p>	

題材名及び目標

クルクルチョッキン（2時間）

1枚の紙を回しながら切ったら長くグルグルと続いた形になることや紙を折って切ると同じ形がつながることを知り、それを利用して七夕飾りをつくる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
はさみの使い方の確認。 ・持ち方と扱い方 ・刃の奥で切る ・はさみではなく紙を動かす 楽しい切り方を知る。 ・グルグル回す ・折り重ねて切る (1時間)	Bはさみを使うことに関心を持ち、正しい方法で紙を切ろうとする。 Aはさみを使うことに関心を持ち、正しい使い方でのいろいろな切り方を試そうとする。 【観察・発言】		Bはさみの正しい使い方を知り、それを用いて切り方を試している。 Aはさみの正しい使い方を知り、それを用いていろいろな切り方を試している。 【観察・発言】	
はさみを正しく使い、色々な切り方を試しながら七夕飾りをつくる。 (1時間)	B楽しい切り方で七夕飾りをつくろうとする。 A楽しい切り方を組み合わせて七夕飾りをつくろうとする。 【観察・発言・作品】	Bいろいろな切り方と紙の色を考える。 A色や形の組み合わせを考える。 【観察・発言・作品】	B示された切り方を組み合わせて飾りをつくっている。 A切り方を応用して自分なりの形や組み合わせをつくっている。 【観察・発言・作品】	B友達の活動のいいところを取り入れながらつくっている。 A友達のいいところや自分の工夫を話しながらつくっている。 【観察・発言・作品】

題材名及び目標

どんでんならべて（色水づくり）（3時間）

水彩絵の具を使ってフィルムケースにいろいろな色をつくり、色の配置や並べ方を考えながら楽しく並べる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
水彩絵の具の基本的な使い方を学習し、筆、水入れ、筆ふき布を正しく使って色水をつくる。 (1時間)	B絵の具を混ぜて自分の好きな色をつくろうとする。 A絵の具を混ぜて好きな色をつくったり、混ぜ方で変化する色味を楽しんでいる。 【観察・発言】		B水彩絵の具の特徴を知り、きれいな色水をつくる。 A水彩絵の具の特徴を知り、混ぜるバランスを考えながらきれいな色水をつくる。 【観察・発言】	B好きな色水や色の変化を楽しんでいる。 A試しながら色水をつくり、その変化を楽しんでいる。 【観察・発言】
グループ毎に話し合ったり試しながら色水を並べて楽しむ。 並べたものをみんなで見て色の美しさや変化を楽しむ。 (2時間)	B友達といっしょに色水を楽しみながら並べている。 A同じ色の仲間や色の変化を考え話し合いながら並べるのを楽しんでいる。 【観察・発言】	Bどんな風に並べたら楽しいかを考えている。 Aどんな風に並べたら楽しい形になるかを考えている。 【観察・発言】		B並んだ色を楽しく見る。 A色の並び方の良さを話すことができる。 【観察・発言】

【2学期】

題材名及び目標				
<p>できたできた（2時間） グラウンドにジョーロで水をまき、それを用いて友達と協力して大きな絵を描く。</p>				
主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>グラウンドにジョーロを使って水の線を描くことを楽しむ。 友達と協力して大きな絵や模様を水の線で描く。 できあがったら屋上から大きな絵を見る。 (2時間)</p>	<p>Bグラウンドに水の線をつくることに興味を持ち楽しく大きな絵を描く。 Aグラウンドに水の線をつくることに興味を持ち、友達と協力して大きな絵を描くことを楽しむ。 【観察・発言】</p>	<p>Bどんなふうにするかおもしろい絵ができるか考える。 A土の上に見える水の線の様子を生かして描くものを考えている。 【観察・発言】</p>	<p>B身体をいろいろ動かし、様々な表情の線をつくる。 A水の出し方を加減して線の太さを調節する。 【観察・発言】</p>	<p>Bお友達の活動から新しい方法を見つける。 Aお友達の活動の良いところを取り入れ新しい活動に生かす。 【観察・発言】</p>

題材名及び目標				
<p>楽しいなすごいな（2時間） 粘土の塊をこね、手のひらや指を使ってひねり出す方法を知り、自分の好きな動物をつくることができる。</p>				
主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>学習の準備の仕方の復習。 手のひらや指を使ってひねり出す方法を知り、自立する動物をつくる。 思いついたものや好きなものを粘土でどんどんつくり、積んだり並べたりする。 (2時間)</p>	<p>B粘土を身体いっぱいを使ってこね、自分の好きな動物をどんどんつくっていく。 A粘土を身体いっぱいを使ってこね、自分の好きな動物やその仲間をつくり、並べたりして楽しむ。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bつくりたい動物を立たせるにはどうしたらいいかを考える。 A粘土で立たせる方法を応用して身体各部分をつくるためにはどうしたらいいかを考える。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bひねり出しの方法で動物の足と胴体をつくることのできる。 Aひねり出しの方法を応用して身体各部分をつくることのできる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bお友達の活動から新しい方法を見つける。 Aお友達のつくるものや、そのつくり方を参考に新しい活動を始める。 【観察・発言・作品】</p>
		<p>平面的な活動をしたがる子には手から粘土がむにゅっと出る楽しい感覚を味わわせ、ひねり出しの良さを体感させる。</p>		

題材名及び目標

コロコロアート（4時間）

水彩絵の具のパレットと水入れ、筆の使い方を知り、ビー玉に絵の具をつけたものを転がしてできる線を楽しみながらつくる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>水彩絵の具の使い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の置き方 ・道具の使い方 <p>○水入れ○筆 ○パレット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の出し方や水の混ぜ方 <p>（2時間）</p>	<p>B水彩絵の具の基本的な使い方を知り、正しい方法で色づくりをする。</p> <p>A水彩絵の具の基本的な使い方を知り、正しい方法で色づくりをしたり、絵の具の濃さを試したりする。</p> <p>【観察・発言】</p>	<p>B生まれた線が何に見えるかを考える。</p> <p>Aどんなものを描き足すと自分のイメージに合う線になるかを考える。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B水彩絵の具の基本的な使い方を知り、パレットや水入れを正しく使う。</p> <p>A水彩絵の具の正しい使い方を知り、パレットや水入れを正しく使って絵の具の濃さを調節する。</p> <p>【観察・発言】</p>	
<p>転がる素材に好きな色の絵の具をつけ身体全体を使って転がしながらいろいろな線を描く。</p> <p>できた線から想像を広げ、クレヨンを使って描き足したり額を描いたりする。（2時間）</p>	<p>B転がり方やそこから生まれる線の面白さを楽しむ。</p> <p>A転がり方や生まれる線を味わい、工夫しながら線をつくることを楽しんでいる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B素材の転がり方を観察し、自分が描きたい線ができるように工夫する。</p> <p>A素材につける色の数や濃さを調節して、自分の描きたい線をつくる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分の表した線の面白さや不思議さを友達に伝える。</p> <p>A自分や友達の線の面白さや不思議さを話し合う。</p> <p>【観察・発言】</p>	

題材名及び目標

ヒラヒラコロコロ（3時間）

身のまわりの転がるものを集め、接着剤を使って組み合わせたり、色紙で飾って楽しい車を作ることができる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>接着剤や接着方法を知り、それを利用して紙皿や紙コップをつなげて転がる車をつくる。</p> <p>色紙で飾りをつくりのりで貼る。（2時間）</p>	<p>B身のまわりの転がるものを使って楽しいおもちゃをつくらうとする。</p> <p>A身のまわりの転がるものを組み合わせ、色や形、転がり方を考えて、おもちゃをつくらうとする。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B身のまわりの転がるものを使って楽しいおもちゃを考える。</p> <p>A身のまわりの転がるものを組み合わせ、色や形、転がり方を考える。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B化学接着剤の使用方法を知り、紙コップなどをきれいに丈夫に接着する。</p> <p>A化学接着剤の使用方法を知り、のりとの違いを考え、素材に合わせて使用してつくる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	
<p>できあがった車を転がして、みんなで遊び、自分や友達の車の動きを楽しむ。（1時間）</p>			<p>B友達のおもちゃの転がる様子や形の工夫を友達に伝える。</p> <p>A自分や友達のおもちゃの転がる様子や形の工夫を話し合う。</p> <p>【観察・発言】</p>	

題材名及び目標

ベタベタベタン（4時間）

自分の手や足、身のまわりの物に絵の具をつけ、スタンプ遊びをする。写すものの形や色を試しながら好きなものを表す。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>共同絵の具の使い方を知り、自分の手や足、身近素材につけて、大きな紙にスタンプ遊びをする。活動の中でいろいろなスタンプの付け方を試したり工夫しながら楽しい絵を友達と協力して描く。（4時間）</p>	<p>Bいろいろなものに絵の具をつけてスタンプ遊びを楽しむ。 Aいろいろなものに絵の具をつけてスタンプ遊びを楽しみ、あらわれた絵を生かして新しい模様をつくらうとする。 【観察・発言・作品】</p>		<p>B共同絵の具の使い方を知り、友達と仲良く使用して描く。 A共同絵の具の使い方を知り、ルールを守って色を混ぜたり、スタンプの押し方を工夫して描いている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B友達のスタンプの様子から新しく描くものを見つける。 Aお友達のスタンプや色づかいを自分の活動に生かす。 【観察・発言・作品】</p>

題材名及び目標

ウキウキドキドキ（5時間）

学校生活で楽しかったことやびっくりしたことを水彩絵の具とクレヨンを使って描く。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>ワークシートを用いて絵の具の塗り方を知る。 ・ひらぬり ・あつぬり ・うすぬり 学校生活で楽しかったことやびっくりしたこと等を話し合う。（1時間）</p>	<p>B絵の具の使い方に関心を持ち、3つの塗り方を試している。 A絵の具の使い方に関心を持ち、3つの塗り方を色や水の量を変えて試している。 【観察・発言・作品】</p>		<p>B絵の具の3つの塗り方を知る。 A絵の具の3つの塗り方を知り線や面の描き方で試している。 【観察・ワークシート】</p>	
<p>クレヨンを使用して中心に描きたいものや周囲のものを楽しく描く。水彩絵の具のひらぬりを使って描く。（4時間）</p>	<p>Bクレヨンや絵の具を正しく使って描こうとしている。 Aクレヨンや絵の具を正しく使い、それぞれの特徴を考えながら描こうとしている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分の描きたいものをくわしく描く。 A自分の描きたいものとそのまわりのもの間わりを考え、バランス良く描く。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bクレヨンの使い方を守って描いている。 Aクレヨンや絵の具を正しく使い、それぞれの特徴を考えながら描いている。 【観察・発言・作品】</p>	

題 材 名 及 び 目 標

どんどんならべて〈2時間〉

算数の学習で集めたいろいろな大きさや形の箱を並べ方を積み方を友達と話し合いながら楽しく並べる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>いろいろな大きさや形の箱を集め、友達と話し合いながら楽しく並べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ大きさ ・同じ形や色 ・だんだん大きくなったり小さくなったり等工夫しながら並べる。 <p>(2時間)</p>	<p>B 友達といっしょに箱を楽しみながら並べている。</p> <p>A 同じ形や色、箱の大小などの変化を考え話し合いながら並べることを楽しんでいる。</p> <p>【観察・発言】</p>	<p>B どんな風に並べたら楽しいかを考えている。</p> <p>A どんな風に並べたら楽しい形になるかを考えている</p> <p>【観察・発言】</p>		<p>B 箱の形や色を楽しみながら並べている。</p> <p>A 並べながら、全体の感じやリズムを見て、工夫しようとしている。</p> <p>【観察・発言】</p>



題 材 名 及 び 目 標

はこハコはこ〈4時間〉

算数で集めた箱を形を生かして組み合わせ、色紙などで飾って楽しい形を作ることができる

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>接着剤や接着方法を知り、それを利用していろいろな形の箱を組み合わせる。</p> <p>色紙で飾りをつくりのりで貼る。</p> <p>(3時間)</p>	<p>B いろいろな箱を組み合わせて楽しくつくろうとする。</p> <p>A いろいろな箱の形や大きさを考えながら組み合わせ、楽しくつくろうとする。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B 箱の組み合わせ方を考えてつくる。</p> <p>A 箱の形や色、大きさを考え、どのように組み合わせれば自分のつくりたいものにできるか試しながら考える。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B 箱の材質を考えて接着剤を選び貼り合わせる。</p> <p>A 箱の材質や接着面を考えて接着剤や接着方法を選んで貼り合わせている。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	
<p>できあがったものを使ってみんなで遊ぶ。(1時間)</p>				<p>B 友達の作品の良い部分を伝えている。</p> <p>A 友達の作品の箱の組み合わせ方や接着の工夫の良いところを話し合っている。</p> <p>【観察・発言】</p>

題材名及び目標

みてみておはなし(6時間)

楽しい物語を聞き、自分の好きな場面をクレヨンや絵の具を使用して表す。登場人物と背景を分けて描き、それを切り抜いてコラージュによる画面構成で表す。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>お話を聞き、自分の好きな場面や登場人物を話し合う。(1時間)</p>	<p>Bどんな場面を描くか考えながらお話を聞いている。 A登場人物の様子や周りの様子などを考えながらお話を聞いている。 【観察・発言】</p>	<p>Bどんな場面を描くかお話を聞きながら考えている。 Aお話を聞きながら登場人物の様子や周りの様子などを考えている。 【観察・発言】</p>		
<p>画用紙の使い方を考えながらクレヨンやサインペンで登場人物を描き、はさみを使って切り取る。(2時間) 水彩絵の具の使い方を復習し、正しく使って背景の様子を描く。(1時間) 背景の上に登場人物を遊びながら並べ、気に入った位置に貼り付けて完成させる。(2時間)</p>	<p>Bいろいろな方法を試しながらお話し絵を表すことを楽しんでいる。 Aいろいろな方法を試したり、組み合わせたりしながらお話し絵を表すことを楽しんでいる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B登場人物の様子や背景を自分なりにイメージを広げている。 A登場人物の様子やその周りのものなど詳しくイメージを広げている。 【観察・発言・作品】</p> <p>B登場人物と背景を自分のイメージに合わせて組み合わせている。 A登場人物と背景を自分のイメージに合うように並べ、新たなお話しを想像している。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bクレヨンやはさみを正しく使って活動している。 A画用紙を無駄にしないように配置して登場人物を描いたり、その形に合わせたはさみの使い方をしている。 B水彩絵の具を正しく使い3つの塗り方で背景を描いている。 A水彩絵の具を正しく使い、3つの塗り方を使って色の濃淡や混色を工夫して背景を描いている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>絵の具の色が濁る子に対しては使用する色や混ぜる色を限定する。</p>
<p>みんなの作品を鑑賞し、楽しいところや良いところを話し合う。(活動後)</p>				<p>B自分や友達の良いところや工夫しているところを伝えている。 A自分や友達の良いところや絵の具やクレヨンの使い方等工夫しているところを話し合っている。【観察・発言】</p>

【3学期】

題材名及び目標

いろいろな紙で（2時間）

画用紙を思いのままに切ったりちぎったりしてあらわれる形から何かを見立てて、思いついたものをつくる。

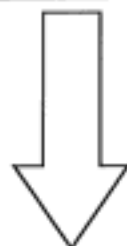
主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
画用紙を楽しく切ったりちぎったりして、あらわれた形が何に見えるかを考える。 (1時間)	B画用紙をちぎったり切ったりすることを楽しみ、そこから現れたものをつくることを楽しんでいる。 A画用紙をちぎったり切ったりすることを楽しみ、そこから現れたものを組み合わせたたりしながらつくることを楽しんでいる。 【観察・発言・作品】	B画用紙をちぎったり切ったりすることを楽しみ、それが何に見えるかを考える。 Aいろいろな形の紙を組み合わせて何に見えるか考えている。 【観察・発言・作品】		
見えてきた形を台紙に貼り、クレヨンやサインペン、色紙などを用いてイメージ通りになるようにつくる。 (1時間)			Bあらわれた形をイメージ通りにするために台紙に貼るまわりに模様を描いている。 A紙を組み合わせたたり画材や道具を工夫して表現する。 【観察・発言・作品】	B友達の話の面白さを話し合う。 A友達の話の発想の良さや工夫しているところを話し合う。 【観察・発言】

題材名及び目標

さわってかんじて（2時間） できたできた（3時間）

友達といっしょに雪や氷を使って雪だるまや氷像をつくり、その手触りや光や色の美しさを感じる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
グラウンドや校庭で友達と協力して雪だるまや氷像をつくる。(2時間) 雪や氷の感触や色や光の美しさなどを話し合いながら雪遊びをする。 (3時間)	B雪の手触りの変化を味わいながら雪遊びを楽しんでいる。 A雪の手触りや周りの風景の美しさや不思議さを味わいながら雪遊びを楽しんでいる。 【観察・発言】			B雪の手触りの変化を味わいながら雪遊びを楽しんでいる。 A雪の手触りや周りの風景の美しさや不思議さを味わいながら雪遊びを楽しんでいる。 【観察・発言】



題材名及び目標

ウキウキドキドキ（雪遊びの絵）（5時間）

友達といっしょに雪遊びをして楽しかったことや驚いたことなどを色画用紙にクレヨンと水彩絵の具を使って描くことができる。（前題材の時の絵を描いても良い。）

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>雪遊びで楽しかったことや見つけたこと等を話し合う。 (1時間)</p>	<p>B 雪遊びをしていて楽しかったことを話したり、絵に表そうとする。</p>	<p>B 自分の表したいことを話しながら考える。 A 自分の表したいことを一緒に遊んだ友達と話しながら考えている。 【観察・発言・作品】</p>		
<p>水色の色画用紙に、白いクレヨンや白い絵の具のひらぬりを使って雪を表現する方法を知り、友達と楽しく遊んだ雪遊びの様子を描く。 (4時間)</p>	<p>A 雪遊びをしていて楽しかったことを周りの様子も含めて話したり、絵に表そうとする。 【観察・発言・作品】</p>	<p>絵の具の色が濁る子に対しては使用する色や混ぜる色を限定する。</p>	<p>B クレヨンや水彩絵の具を正しく使って描いている。 A クレヨンや水彩絵の具を正しく使い、その特長を生かして描いている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 友達の描き方を参考にして自分の絵に生かしている。 A クレヨンの使い方や絵の具の使い方などの良いところを自分の活動に生かしている。 【観察・作品】</p>

題材名及び目標

むくむくニョキニョキ（3時間）

細長いビニル袋とストローをつなげ空気を送り込むとふくらむ仕組みを利用して楽しいおもちゃをつくる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>細長いビニル袋とストローをつなげ空気を送り込むとふくらむ仕組みを知り、自分でつくって遊んでみる。 (1時間)</p>	<p>B おもしろい仕組みを使ったおもちゃを楽しく作り、仲良く友達と遊んでいる。 A おもしろい仕組みを生かしアイデアいっぱい楽しいおもちゃを作り、仲良く友達と遊んでいる 【観察・発言・作品】</p>	<p>B ふくらむ仕組みからどんなものができか考える。 A いくつかのアイデアの中から身近素材を使ってできる一番のものは何かを考える。 【観察・発言・作品】</p>		
<p>仕組みを使ってできるものを考え、サインペンや色紙を使って飾り楽しいおもちゃをつくる。 自分のおもちゃを見せ合い、楽しく遊ぶ。 (1時間)</p>			<p>B これまで学習した道具や素材を正しく使ってつくっている。 A これまで学習した道具や素材を正しく使い、試したり組み合わせたりして、一番良い方法を見つけ、つくっている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 友達のおもちゃのアイデアの良さを見つけ伝える。 A おもしろい仕組みの生かし方の良さや飾りの良さなどを話し合う。 【観察・発言】</p>

題材名及び目標

みんななかよし（2時間）

新一年生の教室を飾る楽しい飾りを、手でちぎった色画用紙を組合わせてつくることやできる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>新一年生の教室を飾る楽しい飾りを作るために、色画用紙をいろんな形に切ったりちぎったりする。のりを正しく使って貼り合わせ、楽しい飾りをたくさん作る。（1時間）</p>	<p>B 新一年生が楽しく学校に来れるような飾りがんばってつくろうとする。 A どんな飾りがあれば新一年生が楽しくなるかを考え、形や色を工夫しながらつくる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B いろいろな飾りを考えてつくる。 A いろいろな飾りを作るための切り方やちぎり方、組み合わせ方を考える 【観察・発言・作品】</p>	<p>B いろいろな形の画用紙を正しくのりを使って貼り合わせてつくっている。 A つくりたいに飾りに合わせて画用紙を切ったりちぎったりし、それらを正しくのりを使って貼り合わせてつくっている。 【観察・作品】</p>	<p>B お友達の飾りから新しくつくるものを見つける。 A お友達のつくった絵の色づかいや形を自分の活動に生かす。 【観察・発言・作品】</p>



【第2学年 図画工作科】
【1学期】

題 材 名 及 び 目 標

2年生になったよ（4時間）

クレヨンを正しく使って自分の元気な顔を描き、はさみを正しく使って自分の絵を切り抜くことができる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>顔の輪郭線に使う色や顔の各部分に使う色を知り、ほかの色が濁らないように元気な顔を描く（2時間）</p>	<p>B自分の顔を描いたり切り抜いたりすることを楽しんでいる。 A顔や各部分の形をよく見て描いたり、細かく切り抜こうとしている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分の元気な顔はどんな顔かを考える。 A自分が元気なときはどんな顔でどんなことをしているかを考える。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bクレヨンを使って目、鼻、口などの部分に気をつけて描くことができる。 Aクレヨンを使って顔の各部分の形やバランス、色の違いなどを意識して描くことができる。 【観察・作品】</p>	
<p>はさみの正しい使い方を復習し、自分の顔をはさみで切り抜く。 のりの正しい使い方を復習し、台紙の中に自分の顔をバランスよく貼る。（2時間）</p>		<p>顔を描けない子には自分の顔を触ったりしながら、輪郭や目・鼻・口を確認して一緒に描く。</p>	<p>Bはさみを正しく持って、自分の顔を大まかな形に切る ことができる。 Aはさみを正しく使って自分の顔を描線に沿って切り抜くことができる。</p>	<p>Bみんなの顔がそろった大きな紙を楽しく見る。 Aみんなの顔を見て良いところを探して話すことができる。 【観察・発言】</p>

題 材 名 及 び 目 標

ざいりょうのへんしん1（2時間）

図工に使う道具の使い方を確認し、それらの道具が何に見えるかを見立てて、飾りを付けて変身させる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>道具の使い方を復習する。 ・のり、はさみ ・セロテープ ・接着剤 ・クレヨンやサインペン 道具を何かに見立て、正しく使いながら変身させる（2時間）</p>	<p>B道具を見立てることに興味を持ち楽しく変身させる。 A道具をいろいろな方向から見て、いろいろなものに見立て、組み合わせながら楽しく変身させる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分の道具がどんなものに変身できるか考える。 A自分の道具の使い方をアイデアに入れながら何に変身できるかを考える。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B道具の使い方を復習し正しく使用してつくる。 A道具の使い方を復習し正しく使用して美しくつくる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bお友達の活動から新しくつくるものを見つける。 Aお友達のつくるものや、そのつくり方を参考に新しい活動を始める。 【観察・発言・作品】</p>

題 材 名 及 び 目 標

かたぬきかたおし (3時間)

身近素材の中から型抜きにできそうなものを探し、油粘土で型抜きをして、それを組み合わせて楽しいものをつくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>型抜きの方法を知り、どんなものが使えるかを話し合う。 準備するものの確認と身のまわりで探すための1時間</p>	<p>B型抜きに使えるものを積極的に探そうとする。 A型抜きに使えるものを試しながら探す。 【観察・発言】</p>			
<p>型抜き遊びを楽しみ、あらわれた形を組み合わせて新しいものをつくる型抜きの素材を交換して、新しい形をつくって楽しむ (2時間)</p>	<p>B友達といっしょに型抜きした粘土を楽しみながら並べている A友達と話し合いながら型抜きした粘土を楽しく並べている 【観察・発言】</p>	<p>Bできた形をどんな風に並べたら楽しいかを考えている。 Aできた形から何ができるかを考え、それに合わせた型抜きをしようとする。 【観察・発言】</p>	<p>Bいろいろな厚さの粘土の板をつくって型抜きをし、組み合わせて形をつくっている。 Aつくりたい目的に合わせて型抜きをして、組み合わせてつくりたいものをつくっている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bお友達の活動から新しくつくる方法を見つける。 Aお友達のつくるものや、そのつくり方を参考に新しい活動を始める。 【観察・発言・作品】</p>

題 材 名 及 び 目 標

これいいかんじ (4時間)

クラフトシートをくしゃくしゃにした柔らかさやプチプチシートの感触を楽しみ、それにもものをつめモールやひもでしばることで変わる形や手触りを味わいながら活動することができる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>クラフトシートやプチプチシートを丸めたりねじったりして変わる質感を楽しむ。 (2時間)</p>	<p>Bクラフトシートやプチプチシートをいろんな形や様子に変化させることを楽しんでいる。 Aクラフトシートやプチプチシートをいろんな形や様子に変化させ、自分の好きな手触りになる形を見つけ、楽しんでつくっている。 【観察・発言】</p>	<p>B偶然にあらわれた形から楽しいものを想像する。 A偶然あらわれた形や手触りから楽しいものを想像する。 【観察・発言】</p>		
<p>それらにもものをつめて、ふくらませたり、ひもやモールでしばったりして変わる形を楽しむ。 (2時間)</p>				<p>B自分の好きな手触りや楽しい形を操作しながら探している。 A操作しながら自分の好きな手触りや楽しい形を探し、友達に伝えている。 【観察・発言】</p>

題材名及び目標

お話しロボット（4時間）

身近素材を集め、いろんな形に見合わせ、化学接着剤などの接合方法を正しく使用して自分の好きなロボットをつくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
集めた素材で遊びながら自分の好きなロボットの組み合わせを考える (1時間)	B 身近素材を集めたり遊んだりしながら、楽しくロボットをつくっている。 A 身近素材を集めたり遊んだりしながら、部品や飾りを選び、楽しくロボットをつくっている。 【観察・発言・作品】	B 集めた素材で遊びながらどんなロボットにするか考える。 A 集めた素材で遊びながら何をロボットのどの部分にするかなど具体的に考えている。 【観察・発言・作品】	接着できない素材がある場合はビニルテープや布テープなどを紹介し、使用するよう促す。	
化学接着剤の使いかたを復習し、素材に合わせた接合方法を用いてロボットの形をつくる。 色紙や身近素材で飾りを付ける。 (3時間)			B 化学接着剤の使用方法を知り、色々な素材を丈夫に接着する。 A 化学接着剤の使用方法を知り、のりとの違いを考え、素材に合わせて使用してつくる。 【観察・発言・作品】	B 友達の活動のいいところを取り入れながらつくっている。 A 友達のいいところや自分の工夫を話しながらつくっている。 【観察・発言・作品】

題材名及び目標

ひかりのおくりもの（4時間）

ダンボールカッターでいろいろな形の穴を空け、色セロファンを貼ったものを持って屋外に行き、いろいろな場所に写して光りと影を楽しむことができる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
セロファンを使っていろんな色の影をつくって遊ぶ。 ダンボールカッターの使い方を知り、ダンボール板にいろいろな形の穴を空ける。 穴の形に合わせた色セロファンを貼る。 (3時間)	B ダンボールカッターを使うことに関心を持ち、正しい方法で切ろうとする。 A ダンボールカッターを使うことに関心を持ち、正しい使い方でいろいろな切り方を試そうとする。 【観察・発言・作品】	B どんな形の影をつくるかを考える。 A どんな形の影が美しいか、それにあった色や穴の数を考える。 【観察・発言・作品】	B ダンボールカッターの正しい使い方を知り、つくりたい穴を空ける。 A ダンボールカッターの正しい使い方を知り、いろいろな形や大きさの穴を空ける。 【観察・発言・作品】	
屋外に出て、校庭のいろいろなところでダンボール板の影をつくって楽しむ。 (1時間)	B 友達といっしょにいろんな影をつくる。 A 太陽への角度などを考えながら影づくりを楽しむ。 【観察・発言】			B 影の形や色を楽しむ。 A 影の形や色を工夫しながらつくって楽しむ。 【観察・発言】

題材名及び目標

みてみておはなし（6時間）

物語を聞き、自分の好きな場面をクレヨンや絵の具を使用して表す。登場人物と背景を分けて描き、コラージュして表す。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>お話を聞き、自分の好きな場面や登場人物を話し合う。（1時間）</p>	<p>Bどんな場面を描くか考えながらお話を聞いている。</p> <p>A登場人物の様子や周りの様子などを考えながらお話を聞いている。</p> <p>【観察・発言】</p>	<p>Bどんな場面を描くかお話を聞きながら考えている。</p> <p>Aお話を聞きながら登場人物の様子や周りの様子などを考えている。</p> <p>【観察・発言】</p>		
<p>画用紙の使い方を考えながらクレヨンやサインペンで登場人物を描き、はさみを使って切り取る。（2時間）</p> <p>水彩絵の具の使い方を復習し、正しく使って背景の様子を描く。（1時間）</p> <p>背景の上に登場人物を遊びながら並べ、気に入った位置に貼り付けて完成させる。（2時間）</p>	<p>Bいろいろな方法を試しながらお話し絵を表すことを楽しんでいる。</p> <p>Aいろいろな方法を試したり、組み合わせたりしながらお話し絵を表すことを楽しんでいる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B登場人物の様子や背景を自分なりにイメージを広げている。</p> <p>A登場人物の様子やその周りのものなど詳しくイメージを広げている。</p> <p>【観察・発言・作品】</p> <p>B登場人物と背景を自分のイメージに合わせて組み合わせている。</p> <p>A登場人物と背景を自分のイメージに合うように並べ、新たなお話しを想像している。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>Bクレヨンやはさみを正しく使って活動している。</p> <p>A画用紙を無駄にしないように配置して登場人物を描いたり、その形に合わせたはさみの使い方をしている。</p> <p>B水彩絵の具を正しく使い3つの塗り方で背景を描いている。</p> <p>A水彩絵の具を正しく使い3つの塗り方を使ったり、色の濃淡や混色を工夫して背景を描いている。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分や友達作品を見ておもしろいところや工夫しているところを伝えている。</p> <p>A自分や友達作品を見ておもしろいところや絵の具やクレヨンの使い方等工夫しているところを話し合っている。</p> <p>【観察・発言】</p>
<p>みんなの作品を鑑賞し、楽しいところや良いところを話し合う。（活動後）</p>				

〔2学期〕

題材名及び目標

どんでんできるよ（4時間）

新聞紙をはさみで同じ幅に切り、のりで貼り付けて道をつくり、友達と相談しながら建物や車などを身近素材を使ってつくり加え、自分たちの街をつくることができる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>はさみの使い方を復習し、同じ幅の新聞紙の道をたくさんつくる。 のりの使い方を復習し、友達と相談しながら道を思い通りにつなげ、広げていく（2時間）</p>	<p>B 新聞紙の道を広げることに関心を持ち楽しんで活動する。 A 新聞紙の道を広げることに関心を持ち、どんな工夫をすればもっと楽しくなるかを考えて活動する。 【観察・発言】</p>	<p>B どんなふうにすればおもしろい町ができるか考え話し合う。 A どんなふうに広げたり、どんなものを置けばおもしろい町になるかを考え、話し合う。 【観察・発言】</p>	<p>B はさみやのりの正しい使い方を復習し、道をつくる。 A はさみやのりの正しい使い方を復習し、道の広がりや工夫してつくる。 B 身近素材を生かして建物や車を作る。 A 身近素材を組み合わせ、既習の接合方法を利用して建て物のや車を作る。 【観察・発言】</p>	<p>B どんどん広がる道を楽しみ、友達とつなげたりして遊んでいる。 A お友達の活動の良いところを取り入れ新しい活動に生かす。 【観察・発言】</p>
<p>友達と相談しながら、道の回りに置く建物や道を走る車などを作って楽しく遊ぶ。 （2時間） 活動後、解体して分別して捨てる。</p>				

題材名及び目標

紙のしくみをつかって（2時間）

動く紙の仕組みを知り、その特徴から発想した楽しいおもちゃをつくることができる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>簡単な動く紙の仕組みを知り、のりやはさみを正しく使ってつくる。 仕組みで遊びながら思いついた飾りを付けて、楽しいおもちゃをつくる （1.5時間）</p>	<p>B 紙の仕組みに興味を持ち楽しんでつくる A 紙の仕組みの興味を持ち、飾り付けをしながら楽しくおもちゃをつくる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B どんなふうにすればおもしろい町ができるか考え話し合う。 A どんなふうに広げたり、どんなものを置けばおもしろい町になるかを考え、話し合う。 【観察・発言】</p>	<p>B 道具の使い方を復習し正しく使用してつくる。 A 道具の使い方を復習し正しく使用して美しくつくる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B お友達の活動から新しい方法を見つける。 A お友達のつくるものや、そのつくり方を参考に新しい活動を始める。 B お友達の作品のおもしろいところや自分の良いところを感じる。 A お友達の作品のおもしろいところや自分の良いところを感じ、伝え合う。 【観察・発言・作品】</p>
<p>できあがったおもちゃを使って、みんな遊ぶ。 （0.5時間）</p>			<p>思いつかない子には、いくつかの例を提示して、それで遊びながらアレンジするよう促す。</p>	

題材名及び目標

わ、すごいな（6時間）

ホースなどの装備や避難訓練での放水の様子から感じた消防車の様子や大きさ、かっこよさなどをクレヨン、水彩絵の具を使用して表現することができる。（その他、作業車両など学校事情によってモチーフを変える。）

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
避難訓練の時の消防車の様子を話し合う。（1時間）	B 消防車のかっこよさを話し合う。 A 消防車の様子をくわしく話し合う。 【観察・発言】			
消防車の中で一番かっこいいと思う部分からクレヨンを使って描き始める。小さい部分はクレヨン、車体などの大きな部分は絵の具を使用して描く。（4時間）	B 消防車に対しての思いを素直に表そうとしている。 A 消防車に対しての思いをくわしく観察しながら表そうとしている。 【観察・発言】		B クレヨンや水彩絵の具を正しく使い、水の量や混色を工夫しながら描く。 A クレヨンや水彩絵の具を正しく使い描く部分によって使い分けながら描く。 【観察・発言・作品】	クレヨンは絵の具をはじく性質を持っている事を実際に見せて、細かいところをクレヨンで描いても大丈夫なことを知らせる。 B 本物そっくりやかっこよく描けているところを話し合う。 A 絵の具やクレヨンの表現の工夫や美しさを話し合う。 【観察・発言・作品】
自分や友達の絵を鑑賞し、良いところや工夫しているところを話し合う。（1時間）				

題材名及び目標

ピョコピョコストローマジック（2時間）

動くストローの仕組みを知り、その特徴から発想した楽しいおもちゃをつくることができる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
簡単な動くストローの仕組みを知り、のりやはさみを正しく使ってつくる。仕組みで遊びながら思いついた飾りを付けて、楽しいおもちゃをつくる（1.5時間）	B ストローの仕組みに興味を持ち楽しんでつくる。 A ストローの仕組みに興味を持ち、飾り付けをしながら楽しくおもちゃをつくる。 【観察・発言・作品】	B ストローの仕組みで遊びながら、どんなおもちゃにするかを考える。 A ストローの仕組みで遊びながら動きを生かす飾りはどんなものかを考える。 【観察・発言・作品】	B 科学接着剤やテープなどの道具の使い方を復習して、正しく使用してつくる。 A 道具の使い方を復習し正しく使用して美しくつくる。 【観察・発言・作品】	B お友達の活動から新しい方法を見つける。 A お友達のつくるものや、そのつくり方を参考に新しい活動を始める。 B お友達の作品のおもしろいところや自分の良いところを感じる。 A お友達の作品のおもしろいところや自分の良いところを感じ、伝え合う。 【観察・発言・作品】
できあがったおもちゃを使って、みんなで遊ぶ。（0.5時間）				

題材名及び目標

ざいりょうのへんしん2 (2時間)

校庭で見つけた木の実や木の葉から思いつく物をつくり、友達といっしょに楽しく遊ぶ。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
校庭で自分の好きな形や色の自然素材を探して集める。 自然素材を何かに見立て、既習の道具や技法を正しく使いながら変身させる。 できあがった物を使って友達と楽しく遊ぶ。 (2時間)	B 自然素材を楽しく集め、いろいろな形に変化させることを楽しむ。 A 自然素材を楽しく集め、いろいろな形に変化させたり、組み合わせることを楽しむ。 【観察・発言・作品】	B 自然素材をいろいろな方向から見てどんな物に見えるか考える。 A 自分見立てた物にはどんな飾りを付けたり、素材を組み合わせたりいいかを考える。 【観察・発言・作品】	B 切削・接着道具の使い方を復習し正しく使用してつくる。 A 道具の使い方を復習し正しく使用して美しくつくる。 【観察・発言・作品】	B お友達の活動から新しくつくるものを見つける。 A お友達のつくるものや、そのつくり方を参考に新しい活動を始める。 【観察・発言・作品】の

題材名及び目標

うつつうつつ (5時間)

表したいものに合わせて様々な素材を探し、その特性を試しながら版をつくる。インクの付け方、刷り方を知り、工夫して試しながら刷る。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
紙版画の制作方法を知り、どんなものを表したいかを考えて下絵を描く。 表現したいものに組み合わせる身近な素材を考え、集める計画を立てる。 (1時間)	B 白黒で表すことに興味を持ち楽しんで下絵を描く。 A 白黒で表すことに興味を持ち、下絵を描きながら、どのような身近な素材を組み合わせるか計画する。 【観察・発言】	B 白黒で表す紙版画の特性を知り、どんなものを表現したいかを考える。 A 白黒で表す紙版画の特性を知り、身近な素材との組み合わせを考えながらどんなものを表現したいかを考える。 【観察・発言・作品】	B 下絵を基に各部分のパーツを製作する方法を知り、切り出すことができる。 A 下絵を基に各部分のパーツを製作する方法を知り、正確に切り出すことができる。 B 切り出したパーツと身近な素材を組み合わせる版をつくることができる。 A 切り出したパーツと身近な素材を組み合わせ、画面上に動きがあらわれるよう試しながら版をつくることができる。 【観察・発言・作品】	
下絵から、各部のパーツを画用紙に写し切り取る。 台紙に切り取ったパーツや集めた身近な素材並べ、表したい動きなどを考えながら貼り合わせる。 (2時間)	B 台紙の制作方法に興味を持ち、楽しんでつくることができる。 A 台紙の制作方法に興味を持ち、素材との組み合わせ方や動きの表現などを楽しみながら行うことができる。 【観察・発言・作品】			

<p>ローラーやばれんの使い方を知り、版にインクをのせ、試しながら刷る。気に入った作品を台紙に貼って完成させる。(2時間)</p>	<p>B 版画の印刷方法に興味を持ち、印刷する。 A 版画の印刷方法に興味を持ち、刷り上がりの変化を楽しんでいる。 【観察・発言・作品】</p>		<p>B 印刷の仕方を知り、美しく刷ることができる。 A 印刷の仕方を知り、インクやローラーで変化する版画の効果を試しながら作品を刷る。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 自分や友達の良いところを話し合う。 A 完成した作品を見て他の表現との違いや版画の良さを話し合う。 【観察・発言】</p>
---	--	--	---	--

題材名及び目標

<p>むにゅむにゅアート (5時間)</p>				
<p>紙粘土に水や絵の具を加えてねんどクリームをつくり、絞り口から出てくる線を身体全体を使って楽しんでつくる。</p>				
<p>主な学習活動</p>	<p>評 価 規 準</p>			
	<p>関心・意欲・態度</p>	<p>発想・構想の能力</p>	<p>創造的な技能</p>	<p>鑑 賞</p>
<p>紙粘土に水や絵の具を加え、質感の変化や気持ちよさを感じながらむにゅむにゅし、ねんどクリームをつくる。(2時間)</p> <p>絞り口から出てくるねんどクリームの線を楽しみ、身体全体を使って粘土の線を描く。(2時間)</p>	<p>B ねんどクリームの触り心地や色の変化を味わい、絞り口から出てくる反立体の線でいろいろなものを描くことを楽しむ。 A ねんどクリームの触り心地や色の変化を味わい、身体全体を使い工夫して絞り口から出てくる反立体の線でいろいろなものを描くことを楽しむ。 【観察・発言・作品】</p>		<p>B 紙粘土に加える水の量や練り方を考えて行う。 A 自分の気持ちの良い柔らかさや描きやすい柔らかさのねんどクリームを水の量や練り方を工夫してつくる。 B 赤、青、黄と紙粘土の白を混ぜてパステルカラーのクリームをつくる。 A 色と粘土の量を調節して自分の好きな色のクリームをつくる。 【観察・発言・作品】</p>	
<p>ねんどクリームの作品を見て、題名をつける。みんなで作品を鑑賞し、良いところやおもしろいところを話し合う。(1時間)</p>		<p>B ねんどクリームの絵から題名を考える。 A ねんどクリームの線の様子から発想し、題名やお話しを考える。 【観察・発言・作品】</p>		<p>B 友達の良いところや色の工夫を感じる。 A 友達の良いところや色の工夫、画面の美しさを感じ、友達に伝える。 【観察・発言・作品】</p>

〔3学期〕

題材名及び目標

おしゃれな動物〈4時間〉

自分の好きな動物がおしゃれをしている様子を想像し、紙粘土に水彩絵の具を混ぜて、思い思いのカラー粘土でつくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
自分の好きな動物がおしゃれしている様子を想像し、デザインする。 (1時間)	B カラー粘土の作り方を 知り、それを用いて 自分の好きな動物を つくることを楽し む。 A つくりたい物に合 わせてカラー粘土を ついたり、動物をつ ついたりすることを 楽しむ。 【観察・発言・作品】	B つくりたい動物を をどのようにおし ゃれさせるかを考 える。 A カラー粘土ででき る動物やおしゃれ の仕方を考える。 【観察・発言・作品】	B 自分の好きな色の カラー粘土をつ くり、接合の仕方に 注意しながら動物 をつくる。 A 混ぜる色の量に気 をつけながらカラ ー粘土をつくり、 既習の粘土の活動 の経験を生かして 動物をつくる。 【観察・発言・作品】	B お友達の作品の良 さを見つけ伝える ことができる。 A カラー粘土の美し さや作り方の良さ など、良いところ を具体的に考え伝 えることができる。 【観察・発言・作品】
紙粘土に絵の具を 混ぜてカラー粘土 をつくり、それを 利用しておしゃれ な動物をつくる。 (3時間)				

題材名及び目標

きってワクワクめくるんるん〈4時間〉

カッターナイフの正しく安全な使い方を知り、窓を切り抜き、中の様子と組み合わせて楽しいビルをつくることができる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
カッターナイフの 使い方を知り、正 しく安全な使い 方でいろいろな形 の窓を切り抜く。 (1時間)	B カッターナイフを使 って窓を開けるこ とに興味を持ち楽 しいビルをつくる。 A カッターナイフを使 って窓を開けるこ とに興味を持ち、窓 の形や中の様子など を工夫してつくるこ とを楽しむ。 【観察・発言・作品】		B カッターナイフの 正しく安全な使 い方を知り、窓を開 けることができる。 A カッターナイフの 正しく安全な使 い方を知り紙の向 きを考えながらい ろんな形の窓を開 ける。 【観察・発言・作品】	B お友達の活動から 新しい方法を見つ ける。 A お友達のつくるも のや、そのつくり 方を参考に新しい 活動を始める。 B お友達の作品の良 さを見つけ伝える ことができる。 A カッターの使 い方や作り方の良 さなど、良いところ を具体的に考え伝 えることができる。 【観察・発言・作品】
窓から見えるいろ いろな部屋の様 子をクレヨンやサ インペンなどを使 って描く。 窓と中身を組み合 わせ楽しい建物 をつくる。(3時間)		B 窓から見える部屋 の様子を考え、楽 しいビルをつくる。 A 部屋の様子や住 んでいる人など考 え、楽しいビルをつ くる。 【観察・発言・作品】		

題材名及び目標

いっぱいゆめいっぱい（5時間）

あったらしいなと思うことを想像し、1、2年生で経験した画材や技法から選んで自由に描く。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
自分の生活の中でこんな事があったらしいなと思うことや物を自由に話し合う。（1時間）	B あったらしいなと思うことや物を話し合っている。 A 自分の生活から思うあったらしいなと思うことや物を話し合っている。 【観察・発言】	B あったらしいなと思うことをどのように表すかを考える。 A あったらしいな思うことが伝わるように表現するにはどうしたらいいかを考える。 【観察・発言・作品】		
あったらしいなと思うことや物を自分を中心に描く。1、2年生で経験した画材や技法の中から、表現に合うものや得意な物を選んで描く（3時間）			B 自分の好きな画材や技法を選んで復習しながら描く。 A 自分の表したいものにあつた画材や技法を選び、復習しながら描く。 【観察・発言・作品】	B お友達の作品のおもしろいところや自分の良いところを感じる。 A お友達の作品のおもしろいところや自分の良いところを感じ、伝え合う。 【観察・発言・作品】
できあがった作品を鑑賞し、友達の思いを感じ、共感したりする。（1時間）				



題材名及び目標

ざいりょうのへんしん(4時間)

校内にあるいろいろな物を何に見えるか見立てて、色紙や色画用紙を使って飾りを付けて変身させる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
学校内を探検し、変身させたい物を見つけ、どのように変身させるかを考える。(1時間)	B校内にある物を変身させることを楽しむ A校内にある物を自分が使える物を使って変身させることを楽しむ。 【観察・発言・作品】	B校内の物ががどんなものに変身できるか考える。 A校内の物を使い方をアイデアに入れながら何に変身できるかを考える。 【観察・発言・作品】		
色画用紙、色紙、セロテープを使って校内の物を変身させる。(2時間)			B道具の使い方や紙の扱い方などを復習し、正しく使用してつくる。 A道具の使い方や紙の扱い方などを復習し、正しく使用して美しくつくる。 【観察・発言・作品】	Bお友達の活動から新しくつくるものを見つける。 Aお友達のつくるものや、そのつくり方を参考に新しい活動を始める。 【観察・発言・作品】
校内を探検し、友達が変身させた物を探して遊ぶ。終了後、元通りに片付ける。(1時間)				B校内の友達の作品を探し、変身のアイデアを楽しむ。 A校内の友達の作品のアイデアや作り方の良さを見つけ伝える。 【観察・発言・作品】



【第3学年 図画工作科】

〔1学期〕

題 材 名 及 び 目 標

3年生になったよ（4時間）

3年生になった自分の顔を水彩絵の具を使用して描く。完成した絵を切り抜き、学級全員で台紙に貼って掲示する。水彩絵の具の使い方・のり・はさみの使い方の確認。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>目、鼻、口などの形とバランスを考えて鉛筆で大まかに描く。 絵の具の使い方、混色の方法を確認し、自分の顔の色を試しながらつくり彩色する。 この時、近くの色は乾いてから塗る、失敗した場合は完全に乾いてからあつぬりするなど確認する。 (3時間)</p>	<p>B自分の顔の部分の形や色に興味を持ち、見えたままに描くことを楽しむ。 A自分の顔の部分の形をよく見て再現しようとしたり、各部分の色を試し紙につくり、水彩絵の具で再現しようとする。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B画用紙の中に自分の顔を適度な大きさで描こうとする。 A紙の向きや描きたい部分を考え、切り抜くことも考慮に入れて画面構成をする。 【観察・作品】</p>	<p>B鉛筆を使って、自分の顔をバランスよく描くことができる。 A顔全体のバランスを考えながら各部分を細かく観察して描くことができる。 B水彩絵の具を正しい使い方着色することができる。 A水の量や混色の方法を考え、陰影をつけて着色することができる。 【観察・作品】</p>	<p>B自分の顔の形や色に興味を持ちよく見て描いている。 A自分の顔の形やバランス、色の陰影に興味を持ち、よく見て描いている。 【観察・発言・作品】</p>
<p>はさみの使い方を確認し、自画像を切り抜く。 のりの使い方を確認し台紙に貼り友達の作品のいいところを話し合う。 (1時間)</p>	<p>Bはさみやのりの使い方を知り、正しく使って自画像を貼り、できあがった作品を友達と楽しく見ることができる。 Aはさみやのりを正しく、方向を考えて使用して貼り、できあがった作品の自分や友達の良さを探そうとする。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bはさみやのりを正しく使い美しく貼ることができる。 A切る向きを考えてはさみを使ったり、自画像の形を考えてのりを付け、美しく貼ることができる。 【観察・発言】</p>	<p>B自分や友だちの表現を見て、そのよさや美しさを感じ取っている。 A自分や友だちの表現を見て、それらのよさや美しさの違いを味っている。 【観察・発言】</p>	

題 材 名 及 び 目 標

グルグルかくかく (2時間)

○水彩絵の具の使い方、混色の方法などを確認し、筆のみを使用して色々な線を描く。筆の太さ、つける絵の具の量等を調節し、色々な太さや表情の線を描くことを楽しむ。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>水彩絵の具の正しい使い方を知り、水の量や筆の太さ、絵の具をつける量などを考えて線を描く。色のバランスを考えて配色しながら描く。(1時間)</p>	<p>B線を描くことに興味を持ち身体全体を使って楽しみながら描く。 A線の形や色に興味を持ち身体全体を使って楽しみながら描く 【観察・発言・作品】</p>	<p>B線の太さや色のバランスを考えて描く。 A画面全体のバランスを考えて線の太さや長さ、形、色を考えて描く。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B水彩絵の具の使い方(水の量、パレットの使い方)を確認して正しく使用しながら描く。 A水彩絵の具の使い方を確認して、色の濃淡や混色を正しく行いながら描く。 【観察・発言・作品】</p>	<p>何色かの絵の具を限定して、パレットの部屋を決めて描くよう促す。筆につける絵の具の量を図示して、自分の描きたい太さの線を描けるようにする。</p>
<p>線を描くうちに浮かんだイメージをサインペンやクレヨンを使って描き加える。友達と作品を見せ合い、おもしろかったこと、わかったことなどを話し合う。(1時間)</p>	<p>B自分の線から広がるお話しを表現するために楽しみながら描き加える。 A自分の線から広がるお話しを表現するために線とのバランスを考えながら描き加える。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分のイメージを表現するために色々なものを描き加える。 A画面のバランスや美しさを考えながら描き加える。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B身のまわりの画材を選んで描く。 A画面の様子にあった画材を選んで描く。 【観察・作品】</p>	<p>B自分や友達のお話しを聞いたり伝えたりする。 A自分や友達のお話しを美しいところやおもしろいところなどをお話しと共に伝え合う。 【観察・発言】</p>

題 材 名 及 び 目 標

くっつけくっつけ (2時間)

粘土の固まりで土台をつくり、それに様々な形の粘土をついたり足したりして、どんな形にしたいか、どんなものが見えてくるかを考えながらつくる

主な学習活動	評 価 規 律			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>粘土の固まりを全身を使ってこね、そこから生まれる偶然の形を楽しみながら土台としての塊の形をつくる (1時間)</p>	<p>B粘土の固まりを全身を使ってこね、その感触や変わっていく形を楽しむ。 A粘土の固まりを全身を使ってこね、そこからあらわれる形を楽しみながら、土台をつくらうとする。 【観察・発言】</p>	<p>B粘土の形からどんなものをつくらうかを考える。 A粘土の形を生かして自分のつくりたい形を考える。 【観察・発言・作品】</p>		
<p>接合方法を工夫しながらひも状のものや小さな塊などを土台にくっつけて粘土の塊からイメージした形をつくる。(1時間)</p>	<p>B自分のイメージした形を色々な形をくっつけながら表現しようとする。 A他の形をくっつけたら、土台の塊からひねり出しながら表現しようとする。 【観察・発言】</p>		<p>B小さな形をつくり、くっつけ方を考えながら飾り付ける。 A土台の作り方を参考にしながら他の形をつくり、接着面の広さを考えながら形づくる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B粘土をくっつけてどんな形ができたかをふりかえる。 A自分や友達の良い作品の良さや工夫をふりかえり話し合う。 【観察・発言・作品】</p>



題材名及び目標

風パワー全開(4時間)

風の力で動く車の仕組みと身近な素材を使用したタイヤをつくる。身近素材を組み合わせそれにあつた接着、接合方法を考えながらつくる。科学接着剤、ホットボンドの使い方を知り、正しく安全使用することができる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>風を使って走る車の仕組みやタイヤの作り方を理解し、自分がどんな車を作るかを構想しワークシートに設計図を描く (1時間)</p>	<p>B 風で動く車に関心をもち走るようすを思いうかべながら楽しく考える。 A 風で動く車の仕組みやタイヤの形からどんな車にするかを考える。 【観察・発言】</p>	<p>B 風で動く仕組みを考えどんなふうにつくるかを考えワークシートにまとめる。 A 動く仕組みから、タイヤや車体をどんな身近素材を用いることができるかを考えながらワークシートに設計図を描く。 【観察・ワークシート】</p>		
<p>身近素材を準備し風で動く車を作る。素材に合わせた接着剤の選択や接着方法を知り、確実に固定しながらつくる。 (2時間)</p>	<p>B 自分の風で動く車を作るために楽しみながら素材を集め、つくる。 A 身近素材の組み合わせ方や接着に仕方に興味を持ち楽しくつくる。 【観察・発言・作品】</p>		<p>B のり、木工ボンド、科学接着剤の特性を知り、自分の車にはどれが適当かを考えながら使用しつくる A それぞれの接着方法を理解し、自分の使用する素材に適したものを選び接着面の状況も考慮に入れながら接着し、つくる。 【観察・発言・作品】</p>	
<p>完成した車を使って遊びながら、自分や友達の良いところを話し合う。 (1時間)</p>	<p>B みんなで車を走らせることを楽しんでいる。 A 自分や友達の良いところを見つけながら楽しく走らせる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>接着剤、接着方法を説明し、乾燥するまでの固定方法なども実際に提示する。洗濯ばさみ、セロテープなどの準備。</p>		<p>B 自分の車の形や走る様子を友達に伝えることができる。 A 自他の作品の良いところを見つけ話し合うことができる。 【観察・発言】</p>

〔2学期〕

題材名及び目標

その時の気持ちを泰大せつに（水彩画）（6時間）

物語を読んで、表したい場面を考え、いくつかスケッチして自分の思いが一番表現できるものを選び、水彩絵の具、線画材を使用して楽しく描く。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
物語を読んで心に残った場面や登場人物の様子などを自由にスケッチし、その中から一番描きたいものを選んで、くわしく描く。（2時間）	B 楽しくお話しを読み色々な場面を描こうとする。 A 楽しくお話を聞き、場面や登場人物の様子を想像し、描こうとする。 【観察・発言・作品】	B 物語の中の好きな場面や登場人物の様子などを表そうとする。 A 登場人物や場面の様子を画用紙の中にどのように表すかをスケッチしながら考える。 【観察・発言・作品】	B 水彩絵の具の使い方（水の量、パレットの使い方）を確認して正しく使用しながら描く。 A 水彩絵の具の使い方（水の量、パレットの使い方）を確認して、色の濃淡や混色を正しく行いながら描く 【観察・発言・作品】	
水彩絵の具や筆を正しく使い、自分の思った色を混色してつくりながら描画材の組み合わせ方などを工夫して描く。（3.5時間）	B 絵の具や線画材を使って自分のイメージを楽しく描こうとする。 A 絵の具や線画材を自分のイメージを表すためにどのように使うかを考えながら描こうとする。 【観察・発言・作品】		B 身のまわりの画材を選んで描く。 A 画面の様子にあった画材を選んで描く。 【観察・発言・作品】	
作品を見せ合いながら、思いを語り合い、作品を鑑賞する。（0.5時間）	B 自分や友達作品を楽しく見ようとする。 A 自分や友達作品の場面や表現の素晴らしさを味わおうとする。 【観察・発言】	何色かの絵の具を限定して、パレットの部屋を決めて描くよう促す。筆につける絵の具の量を図示して、描きたい場所に合わせた筆の太さや絵の具の量を指示する。		B 自分や友達作品の良さを見つける。 A 自分や友達作品の美しいところやおもしろいところなどをお話しと共に伝え合う。 【観察・発言】

題材名及び目標				
季節の中で(2時間)				
海辺で見つけることの素材と砂、波を組み合わせ、友達と協力しながら楽しく表す。 (遠足や校外学習などで自然物とふれ合う時間に設定して、集団で行う。)				
主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
海岸で友達と一緒に水や砂の感触を味わいながら砂遊びを楽しむ。 海岸で見つけられる自然素材を探し、砂や石と組み合わせながら、友達と一緒に楽しく表現する。 (2時間)	B 海岸や海岸で見つかる自然素材をもとに造形活動を楽しもうとしている。 A 海岸や海岸で見つかる自然素材の特性を生かして造形活動を楽しもうとしている。 【観察・発言】	B 自然素材から感じたことを大切にしてい、友だちと一緒に、素材よさや美しさの表し方を考える。 A 自然素材から感じたことを大切にしてい、友達と一緒に話し合いながら素材を生かした表現を考えている。 【観察・発言】	B 集めた素材の組み合わせや海岸の特徴を生かしてつくろうとしている。 A これまでの造形遊びの経験を生かし、集めた素材の組み合わせや海岸の特徴を考えながらつくろうとしている。 【観察・発言】	B 海岸や素材の美しさや面白さを話し合おうとしている。 A 海岸や素材の美しさや面白さを共感し、それをもとに話し合おうとしている。 【観察・発言】

題材名及び目標				
ダンボールのへんしん(4時間)				
ダンボールをちぎってできた形や断面の様子をよく観察し、そこから想像を広げる。思いついたものをダンボールを組み合わせたり、他の画材や素材を使用して平面に表す。(ダンボールや粘着テープの使い方の確認。)				
主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
ダンボールをちぎっていろいろな形をつくる。 断面の様子を観察する。(1時間)	B ダンボールをちぎり色々な形を見つけ、材料の面白さを生かそうとしている。 A ダンボールをちぎり色々な形を見つけ、材料の面白さを生かして組み合わせようとしている。 【観察・発言・作品】	B 材料の特徴から、どんなものをつくりたいか考える。 A 材料を組み合わせたりほかのものと組み合わせるとどんなものができるかを考える。 【観察・発言・作品】	B ダンボールを組み合わせたり、他の素材と組み合わせるのに適した接着方法を選ぶことができる。 A 自分の表したい形にするために、どのような組み合わせができるかを試し、適した方法を選んでつくる 【観察・発言・作品】	B いろいろな表し方をした友だちの作品の面白さやよさを感じている。 A 自分や友達のよさ、表し方の工夫に気づき話し合っている。
ダンボールの形からイメージを広げ組み合わせながら台紙に貼る。 模様を描いたり身辺素材を組み合わせ平面に表す。 (3時間)	ダンボールの形を色々な方向から見ることを促し、どんな形に見えるかを一緒に考える。 見えてきた形を表現するには何が必要かを一緒に考える。			

題材名及び目標

心キラリ（水彩画）〈4時間〉

生活の中で心に残った場面を、自分の思いが相手に伝わるように画面構成をする。水彩絵の具を使用し、水の量や混色の割合を確かめながら描く。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>身のまわりで起こった楽しいことや伝えたいことなどを鉛筆、サインペンを使って表現する。（1時間）</p>	<p>B身のまわりで起こったことや伝えたいことを楽しく絵で表現しようとする。</p> <p>A身のまわりで起こったことや伝えたいことを水彩絵の具やサインペンを効果的に使って絵で表現しようとする。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分の伝えたいことを表現するためには何を中心に描くかを考える。</p> <p>A自分の伝えたいことを表現するためには何を中心にしたり、どんな背景にすればよいかを考える。</p> <p>【観察・作品】</p>	<p>Bサインペンを使って描線を描くことができる。</p> <p>A鉛筆とサインペンを使用する効果のちがいを考えながら描線を描くことができる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	
<p>水彩絵の具を正しく使い、水の量や混色の方法などを確認しながら描く。完成し、展示した作品をお互いに鑑賞し、伝えなかったことや工夫したところなどを話し合う。（3時間）</p>	<p>絵の具を何色かに限定して、パレットの部屋を決めて描くよう促す。</p> <p>筆につける絵の具の量を図示して、描きたい場所に合わせた筆の太さや絵の具の量を指示する。</p>		<p>B水彩絵の具の使い方（水の量、パレットの使い方）を確認して正しく使用しながら描く。</p> <p>A水彩絵の具の使い方を確認して、色の濃淡や混色を正しく行って描く。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B自分や友達の良いところを見つける。</p> <p>A自分や友達の良いところや工夫したところや伝えなかったことなどを話し合う。</p> <p>【観察・発言】</p>

三年生

題 材 名 及 び 目 標

スルスルスットン（4時間）

風の中で上下する動きと場面の変化を組み合わせ、動きのある絵をつくる。
 素材や道具、接着方法を選び、計画的につくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>風を使って動く仕組みを理解し、自分がどんな作品を作るかを構想し、ワークシートに構想図を描く （1時間）</p>	<p>B 風で動く仕組みに関心を持ち変化するようすを思いうかべながら楽しくつくる。 A 風で動く仕組みや変化する場面を楽しみながらつくる。 【観察・発言】</p>	<p>B 風で動く仕組みを考えどんなふうにつくるかを考えワークシートにまとめる。 A 動く仕組みから、どんな場面の変化がおもしろいかを考えながらワークシートに設計図を描く。 【観察・ワークシート】</p>	<p>実際の仕組みやいくつかのパターンを提示して具体的にイメージできるように促す。</p>	
<p>風の中で上下する仕組みを生かして、動きのある絵をつくる。 （2時間）</p>		<p>B 仕組みの動きを試し楽しい変化を考える。 A 仕組みの動きを試し、より楽しいものへと新たな発想を加え計画を見直そうとしている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 素材や用具など選んだり、工夫して使おうとしている。 A 自分の表現したいものに合わせて素材や用具を選び、接着方法などを工夫している。 【観察・発言・作品】</p>	
<p>友だちの作品の動きを楽しみながら、それぞれの作品のよさを味わう。 （1時間）</p>				<p>B 自分や友達作品を楽しんでいる。 A できたものを友だちと動かしながら、美しさや面白さの感じに共感したりしている。 【観察・発言】</p>

題 材 名 及 び 目 標

きせつのなかで（リースをつくろう）（4時間）

秋の自然素材を集め、その中のツルを中心に組み合わせ、家族にプレゼントするリースをつくる。
しばる、結ぶという接合方法をしり、試しながら工夫してつくる。

（木の枝や木の葉など、学校周辺で集めることのできる自然素材を用いた表現活動を行う。）

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>校区内の空き地に生えているツルをとりに行き、木の実や草花、木の枝などリースに使えるものも一緒に集める。 （1時間）</p>	<p>B 自然の素材に関心をもち楽しく集めたり組み合わせたりすることができる。 A 自然の素材に関心をもち楽しく集めたり新しい接合方法を試しながら組み合わせることができる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B ツルの形や長さ、集めた自然素材からどんなリースができるか考える。 A ツルの形や長さ、集めた自然素材の組み合わせ方、接合の方法を考える。 【観察・発言・作品】</p>		
<p>ひもを使った結び方を知り、ツルどおしを組み合わせたり、他の自然素材を組み合わせながらリースをつくる。 （3時間）</p>	<p>完成したリースを提示し、ツルの束ね方、自然素材の組み合わせ方などを具体的に示す。 ひもを使った結ぶ、しばる等いくつかの方法の具体例を示す。</p>	<p>B ツルや自然素材のまとめ方、ひもを使った接合等を試しながらつくる。 A ツルやひもの特性を生かし、様々な方法を試しながらつくる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 自分や友達のリースを見て誰にあげるのかどこに飾るのか等を話し合う。 A 自分や友達のリースの良さや工夫した点などを話し合い交流する。 【観察・発言・作品】</p>	

題材名及び目標

紙はん画（7時間）

表したいものに合わせて様々な素材を探し、その特性を試しながら版をつくる。
インクの付け方、刷り方を知り、工夫して試しながら刷る。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
紙版画の制作方法を知り、どんなものを表したいかを考え下絵を描く。表現したいものに組み合わせる身近素材を考え、集める計画を立てる。（1時間）	B 白黒で表すことに興味を持ち、楽しんで下絵を描く。 A 白黒で表すことに興味を持ち、下絵を描きながら、どのような身近素材を組み合わせるか計画する。 【観察・発言】	B 白黒で表す紙版画の特性を知り、どんなものを表現したいかを考える。 A 白黒で表す紙版画の特性を知り、身近素材との組み合わせを考えながらどんなものを表現したいかを考える。 【観察・発言・作品】	B 下絵を基に各部分のパーツを製作する方法を知り切り出すことができる。 A 下絵を基に各部分のパーツを製作する方法を知り、正確に切り出すことができる。 B 切り出したパーツと身近素材を組み合わせ、版をつくることができる。 A 切り出したパーツと身近素材を組み合わせ、画面上に動きがあらわれるよう試しながら版をつくることができる。 【観察・発言・作品】	
下絵から、各部のパーツを画用紙に写し切り取る。台紙に切り取ったパーツや集めた身近素材並べ、表したい動きなどを考えながら貼り合わせる。（3時間）	B 台紙の制作方法に興味を持ち、楽しんでつくることができる A 台紙の制作方法に興味を持ち、素材との組み合わせ方や動きの表現などを楽しみながら行うことができる。 【観察・発言・作品】			
ローラーやばれんの使い方を知り、版にインクをのせ試しながら刷る。気に入った作品を台紙に貼って完成させる。（3時間）	B 版画の印刷方法に興味を持ち、印刷する。 A 版画の印刷方法に興味を持ち、刷り上がりの変化を楽しんでいる。 【観察・発言・作品】		B 印刷の仕方を知り、美しく刷ることができる。 A 印刷の仕方を知り、インクやローラーで変化する版画の効果を試しながら作品を刷る。 【観察・発言・作品】	B 自分や友達の良いところを話し合う。 A 完成した作品を見て他の表現との違いや版画の良さを話し合う。 【観察・発言】

題 材 名 及 び 目 標

切って切ってトントントン（6時間）

のこぎりの使い方を知り、角材を色々な長さに切り、積んだり並べたりする。

金づち、釘の使い方を知り、気に入った形になったものからつなげていく。

色や飾りをつけながら、丈夫になるよう工夫する。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>正しく安全なのこぎりの使い方を知り、木を色々な長さに切って楽しむ。（1時間）</p>	<p>Bのこぎりで木を切ったり、金づちと釘を使ってつないだりする楽しさを味わい、材料に親しんでいる</p>		<p>Bのこぎりの正しい使い方を知り、色々な長さに切ることができる。</p> <p>Aのこぎりの正しい使い方を知り、色々な長さや角度に切ることができる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	
<p>正しく安全な金づちと釘の使い方を知り、木工ボンドと併用して切った木を思いのままに、つないだり、積んだりする。あらわれた形に合わせた色を水彩絵の具を使って塗る。（4時間）</p>	<p>Aのこぎりで木を切ったり、金づちと釘を使ってつないだりする楽しさを味わい、効果的に用いて表す。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B材料の組み合わせや思いついたつなぎ方を考えている。</p> <p>A材料の組み合わせや、思いついたつなぎ方を考え、それに合った模様や色も考えている。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B金づちや釘の正しく安全な使い方を知り、それを用いて木をつなぐことができる。</p> <p>A金づちや釘の正しく安全な使い方を知りそれを用いて木をつなぐ。釘の長さや木工ボンドとの併用も工夫して確実につなげることができる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	
<p>できあがった作品を廊下に並べ友達とおして展示会をする。（1時間）</p>				<p>B自分や友達の良い作品の良さを話し合う。</p> <p>A自分や友達の良い作品の良さや工夫した点を見つけ伝え合う。</p> <p>【観察・発言】</p>

題材名及び目標

これでかけるよ（4時間）

いろいろな身近素材を集め、画用紙の上に並べながら、どんな絵をつくることができるか考える。

素材に合わせた接着の方法等を考え、工夫して表す。

水彩絵の具や線画材を使用して描き加え、表したい絵にする。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>集めた材料を画用紙の上に置いて、材料の形、色、材質感などを生かして並べ、並べかえたりしながら、絵を表す。 絵の具、サインペンなどを使って表したい絵にしている。（3.5時間）</p>	<p>B材料を選んだり、置きかえたりしながら楽しく取り組もうとしている。 A色や形を考えて材料を選んだり、置きかえたりしながら楽しく取り組もうとしている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B材料の感じを生かして発想し、夢のある絵にしようとしている。 A材料の色や形を生かして発想し、自分の夢をどのように表すかを考えて画面を構成している。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B材料にふさわしい貼り方を見つけ、工夫しようとしている。 Aこれまでに経験した接合・接着方法を思い出し一番効果的な方法を使っている。 【観察・発言・作品】</p>	
<p>友だち同士で作品を見せ合いながら工夫したところ、知ってほしいことなど伝え合う。（0.5時間）</p>			<p>Bどのように材料を活用したかを楽しく見せ合ったりしている。 A材料の組み合わせ方、接着方法などを紹介し合い、作品を見せ合っている。 【観察・発言・作品】</p>	

題 材 名 及 び 目 標

みんなで作ろう夢の町〈7時間〉

どんな町をつくるかグループで話し合い、協力して素材を集めたり、計画を立てる。カッターナイフや接着剤を正しく使い、協力して楽しい町をつくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>どんな町をつくる と楽しいか、どんな な材料を使って、 どのようにつくる かなど、グループ で話し合い、それ ぞれがつくるもの など計画を立て る。 (1時間)</p>	<p>B 夢のある町づくりに 関心をもち、自分は どんなものをつくり たいかを話し合う。 A 夢のある町づくりに 関心をもち、自分は どんなものをつくり たいかを考え、楽し くみんなのできるよ う話し合っている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 自分のつくりたい ものの素材や方法 を考え、どのよう に町に並べるか計 画を立てる。 A それぞれの思いや 発想を出し合い、 計画を構想しよう としている。 【観察・発言・作品】</p>		
<p>計画にそって、分 担したり、つくり 方を工夫する。 カッターナイフや 接着剤の使用方法 を確認し、どのよ うに使用するかを 考えてつくる。 (5時間)</p>			<p>B カッターナイフの 使い方、接着剤の 使い方を確認し、 正しく使いながら つくる。 A 材料やつくり方な どから道具や方法 を選び、それに適 した作り方をして いる。 【観察・発言・作品】</p>	
<p>完成し展示した町 をお互いに鑑賞し 自分の作品をふり かえり、お互いの 良さを伝え合う。 (1時間)</p>				<p>B みんなでつくった ゆめの町の良さを 話し合っている。 A みんなでつくった ゆめの町を見て、 建物などの面白さ や工夫していると ころ等を話し合う。 【観察・発言・作品】</p>

【第4学年 図画工作科】

【1学期】

題材名及び目標

4年生のぼくわたし（6時間）

4年生になった自分の顔を水彩絵の具を使用して描く。完成した絵を切り抜き、学級全員で学級目標の台紙に貼り掲示する。水彩絵の具の使い方の確認。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>自分の顔の中の各部分のバランスを考えながらおおまかに位置を決めそれぞれの部位の形をよく見て鉛筆で描く。（2時間）</p>	<p>B 自分の顔の部分の形や色に興味を持ち、見えたままに描くことを楽しむ。</p> <p>A 自分の顔の部分の形をよく見て再現しようとしたり、各部分の色を試し紙につくり、水彩絵の具で再現しようとする。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B 画用紙の中に自分の顔を適度な大きさで描こうとする。</p> <p>A 紙の向きやくわしく描きたい部分を考え、画面構成をする。</p> <p>【観察・作品】</p>	<p>B 鉛筆を使って、自分の顔をバランスよく描くことができる。</p> <p>A 顔全体のバランスを考えながら各部分を細かく観察して描くことができる。</p>	<p>B 自分の顔の形や色に興味を持ちよく見て描いている。</p> <p>A 自分の顔の形やバランス、色の陰影に興味を持ち、よく見て描いている。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>
<p>絵の具の使い方、混色の方法を確認し、自分の顔の色を試しながらつくり彩色する。この時、近くの色は乾いてから塗る、失敗した場合は完全に乾いてから厚塗りするなどを確認する。（4時間）</p>		<p>大まかな顔の形の中に、目、鼻、口がどのくらいのバランスになるかを示す。水彩絵の具の使い方を示し、水とパレットの丁寧にするよう促す。</p>	<p>B 水彩絵の具を正しい使い方着色することができる。</p> <p>A 水の量や混色の方法を考え、陰影をつけて着色することができる。</p> <p>【観察・作品】</p>	

四年生

題 材 名 及 び 目 標

ぬのから生まれた〈4時間〉

色々な布を集め、それぞれの特徴や質感を楽しむ。布でくるんだり、包んだりぶら下げたりするなどの活動を楽しみながら思いついた物をつくる。ひもやアルミ針金などを使用して、巻き付ける、しばる等の接合方法を知り、試しながらつくる。

四年生

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>いろいろな布を集め、それぞれの素材の特徴の違いに気づいたり、感じたりする。 (1時間)</p>	<p>Bいろいろな布の色や柄、感触などの違いを感じ、材料の面白さに気づいている。 Aいろいろな布の色や柄、感触などの違いを感じ、様々な形に変化する布の性質を楽しみながら表現しようとする。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B布を結んだり、裂いたり、他のものを詰めたりして、つくりたいものを思いついている。 A布を操作してできる様々な形から、どんなものができるかを考え、どんな方法が使えるか計画を立てている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B思いついたことをもとに、材料の面白さやよさを生かすつくり方を工夫して表している。 A結んだり、しばったり、ものをつめたりなど、布の特性を生かしてつくっている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bいろいろな表し方をした友だちの作品の、面白さやよさを感じている。 A友達作品を見たりさわったりしながら、面白さやよさ、工夫しているところを見つけ伝え合っている。 【観察・発言・作品】</p>
<p>それぞれの布から思いついた活動を楽しみながら、つくりたいものを思いつく。 思いついたことをもとに、つくり方を工夫して表す。 (2.5時間)</p>				
<p>作品を並べて紹介をし、友だちの作品の面白さやよさを鑑賞し合う。 (0.5時間)</p>				

題 材 名 及 び 目 標

ざいりょう物語（4時間）

校庭で見つけることのできる自然物や身近素材を組み合わせ、見えてくる物やできる物を考える。素材に適した切断方法や接着方法を選び試しながら楽しんでつくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
校庭で活動に使えそうな材料を集め、遊んだり、組み合わせたりする中で自分の思いを広げ、つくりたいものを考える。（1時間）	B 身近素材を集め、楽しくつくりたいものを思いついてつくっている。 A 身近素材を集めたり組み合わせたりしながら思いついたものを工夫しながら楽しくつくっている。 【観察・発言・作品】	B 素材の特徴を生かしながら、自分なりの発想でつくろうとしている。 A 材料の特長を生かし、自分の使うことのできる道具でどのように変化させることができるかを考えながら発想し、つくろうとしている。 【観察・発言・作品】		
いろいろな材料に応じて、今まで経験した用具を選び、正しく使用しながら工夫してつくる。（2時間）			B 材料の特徴を考え、道具を正しく使って組み立てたり、加工したり、模様をつけたりしている。 A 材料の特徴を考え、それを生かしながら、自分の経験した道具や技法を正しく使ってつくっている。 【観察・発言・作品】	B 自分や友だちの作品の材料の生かし方に気づき、そのよさを共感的に話そうとしている。 A 自分や友達素材の生かし方に気づき、その加工法の良さなどを伝え合っている。 【観察・発言・作品】
作品を展示して鑑賞し、材料の生かし方やつくり方のよさについて話し合う。（1時間）				

題材名及び目標

コロコロガラート（8時間）

- ・ビー玉の落ちる迷路の仕組みを知り、どのようにしたら楽しい転がり方になるかを考え、計画的につくる。
- ・カッターナイフや接着剤の使い方を確認し、箱や紙の柱のつくりかたを知り、楽しく作品をつくる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>・カッターナイフや接着剤の使い方を知り、それを用いてつくる。</p> <p>・紙の折り方や柱の作り方を理解し、簡単なレールをつくる（2時間）</p>	<p>B参考作品を見たりして、ビー玉が転がり落ちる迷路づくりに興味をもち、楽しくつくろうとしている。</p> <p>Aビー玉が転がり落ちる迷路づくり、紙の折り方や柱の作り方に興味を持ち楽しくつくろうとしている。</p>		<p>カッターで軽く折り線を入れたり、接着した部分を洗濯ばさみや輪ゴムで固定するなど一つ一つの作業が確実にできるよう促す。</p>	
<p>・ビー玉が転がり落ちる仕組みを理解し、どのようにしたら楽しい転がり方をするかを構想する。</p> <p>・迷路の仕組みや作り方の基本を理解し、楽しく遊べる仕組みを工夫してつくる。（5時間）</p>	<p>【観察・発言・作品】</p> <p>Bどのように転がると楽しいかを思い付き、計画を立て、楽しくつくる。</p> <p>A紙を使ったレール上のビー玉の転がり方や周りの仕掛けなどを楽しく考え、計画に沿ってつくる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B箱や柱の作り方を知り、カッターや接着剤を適切に使用してつくっている。</p> <p>A道具を適切に使い、楽しく遊べるようなさまざまな工夫を取り入れつくっている。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>		
<p>友だちと作品を交換したりして遊び、作品の特徴や工夫した点を確認合ったりする。（1時間）</p>				<p>Bできた作品で互いに遊び、作品のよさや工夫した点を確認合ったりしている。</p> <p>Aできた作品で遊びながら工夫している点や柱や箱などのしっかりできている部分を認め、伝え合っている。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>

〔2学期〕

題 材 名 及 び 目 標

ゆめを広げて（水彩画）（5時間）

身近な自然や身のまわりの物から空想した情景を自由に描く。その場面がよく伝わるように計画を立て、素材や画材を選んで描く。主な学習活動

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
教科書の作品をもとに身近な自然やものから空想した世界について話し合い、どんな絵を描くか計画を立てる。（1時間）	B 願いや空想したことなどを、絵にする楽しさを味わっている A 現実にあるものから想像した思いや願いをこれまで経験した技法を用いて楽しみながら表現している 【観察・発言・作品】	B 自分とかかわりのあるものをもとに表したいことを思いつき、ふくらませようとしている。 A 現実にあるものの形や色、性質を生かしながら空想の世界を表現しようと画面構成することができる。 【観察・発言・作品】		
水彩絵の具を正しく使用し、想像した世界を効果的に表現できる材料や方法をこれまで経験した画材や技法から選んで空想の世界を表現する。（3.5時間）			B 水彩絵の具を正しく使い、空想の世界を表すのに適した技法や画材を選び、表し方を工夫し絵に表している。 A 水彩絵の具を正しく使い、これまで経験した画材や技法の中から自分の表現に適したものを選び、試しながら表現に生かしている。 【観察・発言・作品】	
どんな夢をどのような表し方で表現したかをお互いに話し合い、よさを認め合う。（0.5時間）				B 絵を見せながら、自分の夢の世界を紹介し合う。 A 絵を見せながら、自分の夢の世界を紹介して、自他の作品のよい点や工夫した点を話し合う。 【観察・発言・作品】

題 材 名 及 び 目 標

ワンダーランドへようこそ 〈6時間～大好きワクワクワールドを含む〉

ワクワクするような場所や建物を身のまわりや行ったことのある中から見つけ、紹介することができる。
校内や校庭に魔法の扉をつくり、どこに行ってみたいかを考え、行ってみたい場所や扉をダンボールにポスターカラーを使用して描き、扉を開けると不思議な世界が見えるようにつくることことができる。
扉を置きたい場所に設置し、全校に紹介して楽しむ。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>大好きワクワク ワールド ワクワクするよ うな場所や建物を身 のまわりや行った ことのある中から 見つけ、紹介する。 (1時間)</p>				<p>B教科書を参考に身のまわりの建物や行ったことのある楽しい場所や不思議な場所を紹介する。 A見つけた場所や建物の特徴に気づき、それらの様子から想像した内容や遊びについて話し合っている。</p> <p>【観察・発言】</p>
<p>校内や校庭に魔法の扉をつくり、どこに行ってみたいかを考え、行ってみたい場所や扉をダンボールにポスターカラーを使用して描き、扉を開けると不思議な世界が見えるようにつくる。(5時間)</p>	<p>Bどこにどんなものを設置するかを考え、楽しい発想で取り組もうとしている。 Aどんなものをつくらせてまわりを楽しませるかを考え、場所や置き方を楽しく計画してつくる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>B魔法の扉から見たものを考え、どこに置いたら楽しいかを構想する。 A魔法の扉の大きさや内容を設置する場所に合わせて考え計画を立てる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>Bポスターカラーの使い方を知り、ダンボールを用いて場所の特徴に合った扉や、景色のイメージを工夫してつくっている。 Aポスターカラーやダンボールを効果的に使用して、設置する場所の特徴に合った扉や、景色のイメージを工夫してつくっている。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>Bいろいろな場所に置いたり、友だちと確かめたりして、その様子を楽しんでいる。 Aいろいろな場所に設置し、お互いに楽しんだり、工夫したところやおもしろいところを話し合う。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>
<p>扉を置きたい場所に設置し、全校に紹介して楽しむ。 作品をデジカメで撮影後解体する。 (活動後)</p>				<p>Aいろいろな場所に設置し、お互いに楽しんだり、工夫したところやおもしろいところを話し合う。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>

題材名及び目標

忘れられない日〈6時間〉

心に残っている出来事を自分の思いが現れるように人や物の位置、背景や色の組み合わせなどを工夫して描く。水彩絵の具の混色での濃淡を意識して、色を試しながらつくって描くことができる。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>心に残ってる出来事の中で一番表したい場面を、どのように表せばいいのかをスケッチして考える。 (2時間)</p>	<p>B心に残っている場面を水彩絵の具を使って楽しく描く。 A心に残っている場面をそれがより伝わるように構図を考えたり、色をつくったりしながら楽しく描く 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bスケッチをしながら、何を描けば自分の気持ちが伝わるのかを考え、画面構成する。 Aスケッチをしながら何をどこに描けば自分の気持ちが伝わるのか。どのような色づかいをするかなどを考えて画面構成する。 【観察・発言・作品】</p>	<p>Bスケッチの中から自分の表したいものを選び下絵を描く。 Aスケッチの中から自分の表したいものを選び、画面構成を考えながら下絵を描く。</p>	
<p>スケッチの中から自分の思いがあらわれるものを選んで組み合わせ下絵を描く。水彩絵の具を混色したり色の濃淡を考えながら、表したい色をつくり、描く。(4時間)</p>		<p>B水彩絵の具を正しく使用して色をつくったり水の量を調節したりして色をつける。 A水彩絵の具を使用して、色の濃淡やぼかしなどを意識して自分の思いが伝わるように色をつける。 【観察・作品】</p>	<p>B友達の色づかいの良さに気づき伝え合う。 A友達の色づかいの良さや画面構成の良さに気づき伝える。 【観察・発言】</p>	
<p>作品を鑑賞し、自分や友達の作品の良さ(色の表し方など)を見つけ交流し合う。 (活動後)</p>				

題 材 名 及 び 目 標

木から生まれた世界〈6時間〉

木版で表現しやすい題材を考え、自分が好きな白と黒の割合を考えながら下絵をつくる。
彫刻刀（三角刀、丸刀が中心）の正しい使い方を知り、線彫りを中心に木版で表わす。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>木版画のつくりかた知り、白と黒の画面で何をどのようにあらわすかを考え、下絵を描いたり、活動の計画を立てる。 (1時間)</p>	<p>B 木版画に興味を持ち彫刻刀を使って版づくりを楽しもうとする。</p> <p>A 木版画に興味を持ち彫刻刀の特性や白と黒で表す画面の効果を考えながら版づくりを楽しもうとする 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 白と黒で表すこと、単純な線で表すことなどを考慮に入れて、表したいことを画面構成する。</p> <p>A 白と黒で表すこと、単純な線で表すこと、できあがりの白と黒の割合などを考慮に入れて、表したいことを画面構成する。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 下絵を版木に写すことができる。</p> <p>A できあがりの白と黒のバランスを考慮に入れて下絵を版木に写すことができる。</p>	
<p>彫刻刀の正しく安全な使い方を知り、丸刀、三角刀を中心に線彫りで版をつくる。 ローラー、ばれんの使い方を確認し、刷りの効果を確かめながら印刷する。(5時間)</p>		<p>彫刻刀の使い方が不安定な子供には、版面板の裏側を使って練習させる。 ・ 彫刻刀の持ち方 ・ 押えの手の位置 ・ 版画台の使い方</p>	<p>B 彫刻刀の正しく安全な使い方を知り丸刀、三角刀をつかって下絵の線を正確に彫る。</p> <p>A 彫刻刀の正しく安全な使い方を知り、丸刀、三角刀、切り出し刀などを使って、白の部分もつくりながら彫る。 【観察・発言・作品】</p>	
<p>完成し、展示した作品をお互いに鑑賞すると共に、自分の作品をふりかえり、お互いの良さを伝え合う。 (活動後)</p>				<p>B 自分や友達作品を鑑賞し、白と黒の画面の良さを話し合う。</p> <p>A 自分や友達作品を鑑賞し彫刻刀の使い方や刷り方などの良さを話し合う。 【観察・発言・作品】</p>

四年生

題材名及び目標

ハッピーカード(2時間)

飛び出す仕組みに興味を持ち、それを生かし、送る相手のことを考えてクリスマスカードをデザインする。カッターや接着剤を使用して美しく仕上げることが意識してつくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
飛び出すカードの仕組みを知り、試作品をつくって試しながらどんなデザインにするかを考える。(1時間)	<p>B 飛び出すカードの仕組みを知り、意欲的にカードづくりに取り組んでいる。</p> <p>A 飛び出すカードの仕組みを知り、その面白さが相手にも伝わるように工夫して、カードづくりに取り組んでいる。</p> <p>【観察・作品・発言】</p>	<p>B 伝えたいメッセージをどのようにしたら伝えられるか、仕組みと関連させて考えている。</p> <p>A 送る相手がどのようにしたら喜ぶかも考えて構想している。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>		
カッターナイフや接着剤の使い方を確認し、正しく安全に使用しながら飛び出すカードを作る。色のバランスや飾り付けを考え、プレゼントする人が喜ぶカードをつくる。(1時間)		<p>カッターナイフの安全性を知らせ、資源ゴミになる紙を用いてカッターナイフで切る練習をさせる。</p>	<p>B カッターや接着剤の使い方を確認し、正しく使いながら、クリスマスらしい楽しい仕組みを考えつくる。</p> <p>A 伝えたいことが相手によく分かるように形や色、文字の内容などのデザインを工夫してつくる。</p> <p>【観察・作品】</p>	
つくったカードを実際に使い、受け取った人にその効果や印象を聞いたりする。(活動後)				<p>B つくったカードを実際に使い、受け取った人にその効果や印象を聞いたりしている。</p> <p>A つくったカードを実際に使い、受け取った人にその効果や印象を聞き、自分の意図が伝わったかどうかふりかえっている。</p> <p>【発言・ワークシート】</p>

【3学期】

題材名及び目標

ひもづくり（3時間）

ひもづくりの技法で筒型の土台をつくり、粘土べら等の道具をつかって穴を開けたり、切り取ったりしながら想像を広げ立体に表すことができる。

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>土粘土をひも状に伸ばし、それを重ねてつくるひもづくりの技法を知り、それをを用いて筒状の土台をつくる。接合部にはどべをつかって接着する。（1時間）</p>	<p>B 土粘土の感触を味わいながら、ひもづくりの方法に興味を持ち、思いのままに表現する。 A 土粘土の感触を味わいながら、ひもづくりの方法に興味を持ち、いろいろな向きや形を試しながらつくることを楽しんでいる。 【観察・発言・作品】</p>		<p>B ひもづくりの技法を知り、試しながらつくることができる。 A ひもづくりの技法を知り、ひもの太さや輪の大きさ、形を変えながら筒状の土台をつくる。 【観察・発言・作品】</p>	
<p>ひもづくりでつくった筒状の土台に粘土べらを使って穴を開けたり、切り取ったりしてできた形から想像を広げ、ほかの形と組み合わせながらかたちづくりを楽しむ。（1時間）</p>	<p>B ひもづくりでつくった筒状の土台をいろいろな方から見たり、加工したりしながら見えてくる形を考える。 A ひもづくりでつくった筒状の土台を操作することで広がるイメージを粘土のみを使ってどのように表現するかを考える。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 粘土べらを使って土台に穴を開けたり切り取ったりして、ほかの形をどべを使って接着してつくる。 A 粘土べらを使って土台に穴を開けたり、切り取ったりした形を組み替えたり、つなぎ合わせたものに、ほかの形を加えながらつくる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 友達の表現の良さを探しふりかえる。 A 同じ技法を用いてもつくる人間によって様々な表現があり、それぞれに良さがあることに気づき、活動をふりかえる。 【観察・発言・ワークシート】</p>	
<p>お互いの作品を鑑賞し同じひもづくりでも個人個人によって表現が異なることを知り、それぞれの良さを感じる。作品をデジカメで撮影後、粘土の塊に戻す。（1時間）</p>				

題材名及び目標

キラキラ光る絵（4時間）

金・銀紙を使って表したい物を発想し、そこからどのような絵ができるかを考えて画面構成をする。
光る素材が生きるような色や形を考え、それに適した画材を選び、楽しく描く。

主な学習活動	評価規準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>金紙や銀紙を使って表したいものを考え、どのように表すか計画を立てて下絵を描く。 (1時間)</p>	<p>B 金紙や銀紙を操作しながら、思いつくものをつくることを楽しんでいる。</p> <p>A 金紙や銀紙を操作して思いつくものを身近素材や画材を効果的に使ってつくることを楽しんでいる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 金紙や銀紙を操作しながら何を表現できるかを考える。</p> <p>A 金紙や銀紙を操作しながら何を表現できるかを考え、身近素材や画材を使ってどのように表すかを計画を立てる。 【観察・発言・作品】</p>		
<p>金紙や銀紙を表したい形に切ったりちぎったりして台紙に貼り、身近素材や水彩絵の具などの画材を使って飾り、表したいものをつくる。 (2時間)</p>		<p>B 金紙や銀紙をイメージする形に切ったりちぎったりして、ほかの素材や画材と組み合わせることができる。</p> <p>A 金色や銀色が画面の中で効果的にあらわれるように工夫して身近素材や画材で飾り付けることができる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 友達作品の金や銀から広がるイメージを理解し楽しむ。</p> <p>A 友達や自分の作品の金や銀から広がるイメージを比較しながら理解し、自分の活動をふりかえる。 【観察・発言・ワークシート】</p>	
<p>できあがった作品を鑑賞し、自分や友達が金や銀から広げたイメージを楽しむ。(1時間)</p>				

題 材 名 及 び 目 標

へん身パツ！〈6時間〉

ダンボール等の身近素材を使って変身したい物をつくることができる。変身した姿をデジカメで撮影し、友達といっしょに鑑賞し、おもしろいところや工夫したところを話し合うことができる。

主な学習活動	評 価 規 準					
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞		
<p>どんなものになりたいかを考え、教科書の作例を見て、どんなものをつかって変身するか設計図をつくる6時間の活動計画を立てる。(1時間)</p>	<p>B どんなものに変身したいかを考え、変身道具を計画的につくり、変身することを楽しんでいる。</p> <p>A どんなものに変身したいかを考え、効果的な方法を考え、計画的につくり、変身することを楽しんでいる。</p> <p>【観察・ワークシート】</p>	<p>B 変身したいものを考えどんな大きさの紙にどのように描くかを考える。</p> <p>A 変身したいものをつくれれば自分がかっこよく(かわいく)変身できるかを考える。</p> <p>【観察・作品・ワークシート】</p>	<p>創造的な技能</p>	<p>鑑 賞</p>		
<p>自分の変身したいもの似合わせた大きさのダンボールを準備し、顔などを出す部分をダンボールカッターで切り抜く。ポスターカラーの使い方を確認し、それを用いて変身したいものの絵を描く。(4時間)</p>					<p>観光地の看板などを紹介し、おもしろい看板をつくることを知らせる。写真やマンガなどをアイデアとして使用することを促す。</p>	<p>B ダンボールやポスターカラーなどの素材や道具を適切に使って変身するものをつくる。</p> <p>A ダンボールやポスターカラーの特性を生かし、適切に使って変身するものをつくる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>
<p>変身した自分をデジカメで撮影し合い、写真からお互いのアイデアの良さや工夫したところおもしろいところなどを話し合う。(1時間)</p>					<p>B 自分や友達の変身した様子を鑑賞し、変身の面白さやアイデアの良さを話し合う。</p> <p>A 自分や友達の変身した様子を鑑賞し、変身道具の画面構成やポスターカラーの使い方の良さを見つけ、面白さやアイデアの良さと共に伝えたり、自分の活動をふりかえる。</p> <p>【発言・観察・ワークシート】</p>	

【第5学年 図画工作科】
【1学期】

題 材 名 及 び 目 標

よく見てみると〈1時間〉

身のまわりにある不思議な見え方

をするものに気づき、その面白さを楽しんだり、なぜ不思議な見え方をするのかを考える。

トローリかたまれ〈4時間〉

つくりたいものに合わせて、使わないTシャツや靴下など固めるための布などの材料を集め、布を液体粘土にひたしたり、色を混ぜたり、厚紙、ダンボールなど他の材料と組み合わせながらつくりたいかたちをつくることができる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
よく見てみると教科書の作品などを見て、その面白さやなぜ不思議に見えるのかを発表し合う。不思議な見え方をするものを探したり、つくった経験を話し合う。(1時間)	B教科書を見ながら、その作品面白さを楽しんでいる。 A教科書を見ながら、作品の面白さやどのように工夫しているのかなどを楽しんでいる。 【観察・発言】			B教科書の作品のおもしろさや自分で発見したこと等を話し合う。 A教科書の作品のおもしろさや不思議さを考え、自分なりの見方や、自分が表現するならどんなふうにするかを話し合う。 【観察・発言・ふりかえり】
つくりたいものに合わせて、使わないTシャツや靴下など固めるための布などの材料を集める。(活動前) 布を液体粘土にひたしたり、色を混ぜたり、厚紙、ダンボールなど他の材料と組み合わせながらつくりたいかたちをつくる。(3時間)	B液体粘土の感触を楽しみ、それに浸すことで変化する布のおもしろさを感じ、そこから表すものを楽しんで考える。 A液体粘土の感触を楽しみ、それに浸すことで変化する布のおもしろさを感じ、そこから表すものを楽しんで考える。 【観察・発言・作品】	B液体粘土や布を操作しながら発想したものをどのようにつくったり着色したりして表すかを考える。 A液体粘土や布から発想したものを、絵の具やその他の素材、技法を生かしてどのように表現するかを考える。 【観察・発言・作品】	B液体粘土の特徴を生かして、組み立て方や着色を工夫している。 A液体粘土の特長を生かして形をつくり、身近素材や絵の具を組み合わせながら工夫して表現することができる。 【観察・発言・作品】	B自分の作品を紹介したり、友だちの作品のよさを評価したりしている。 A作品の中に布や液体粘土がどのように生かされているかを見つけ話し合う。 【観察・発言・ふりかえり】
できた作品をお互いに鑑賞し合い、良いところを話し合う。(1時間)				

題材名及び目標

曲げてねじって〈3時間〉

たたら板とのべ棒の使い方を理解し、それらを使用して粘土の板をつくり、曲げたりねじったりする行為を楽しみながら、あらわれた形から想像を広げ表現する。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>たたら板や延べ棒の使い方、ひもづくりの方法やどべの作り方を知り、どのようなものをつくるかを考える。(1時間)</p>	<p>B粘土の板を生かし、立体的な焼き物をつくることに興味や関心を持つ。</p> <p>A道具に興味を持ち、自分の活動にどのように生かすかを考えながら活動する。</p>	<p>B粘土に働きかけながら発想を広げ、自分の表現したいことを構想している。</p> <p>A粘土に働きかけながら、思いのままに発想を広げ、自分の表現したいことについて構想を深めている。</p> <p>【観察・発言】</p>		
<p>板づくりの方法で大まかな形をつくり、きりいどを使って穴を空けたり、ひも状の粘土をどべを使用して接着したりして、おもしろい形をつくる。(2時間)</p>	<p>B手や道具をつかって粘土をいろいろな形に変化させたり、形を見つけたりしながら、表現することを楽しんでいる。</p> <p>A手や道具をつかって粘土をいろいろな形に変化させたり、形を見つけたりしながら表現することを進んで楽しんでいる。</p> <p>【観察・発言・作品】</p>	<p>形にこだわらず、粘土を操作することに楽しみを持てるように促す。</p> <p>その結果あらわれる形がどんなふうに見えるかをいろいろな角度から観察するよう促す。</p>	<p>Bいろいろな形のつくりかた、切り取り方、組み合わせ方を試みながら工夫して表している。</p> <p>A道具を正しく効果的に使い、いろいろな形のつくりかた、切り取り方、組み合わせ方を試みながら工夫して表している。</p>	<p>それぞれの道具の使い方を実際に提示し、手を使ったときとの違いを実感させ、道具をつかって活動することの楽しさを知らせる。</p>
<p>乾燥・焼成</p>				<p>B自分や友だちの表現を見て、そのよさや美しさを感じ取っている。</p> <p>A自分や友だちの表現を見て、それらのよさや美しさの違いを味わっている。</p> <p>【観察・発言】</p>
<p>作品を鑑賞し、自分や友達の良い点や工夫した点を味わう。(完成後)</p>				

題材名及び目標

こんな時に感じると思うこと（5時間）

生活の中で夢中になったことや一番好きなことを水彩絵の具やサインペンなどを用いて表現する。

主な学習活動

評価規準

関心・意欲・態度

発想・構想の能力

創造的な技能

鑑賞

生活を振り返って夢中になったときや、心に感じた場面を思い起こしてスケッチをし、思いが伝わるように、画面構成をする。（1時間）

B生活を振り返って、夢中になったときのことや楽しかったときのことなどを話し合っている。

A生活を振り返って、夢中になったときのことや楽しかったときのことなど場所や様子も交えて具体的に話し合っている

【観察・発言】

B表したいことをスケッチして、一番自分のイメージに合うものを選ぶ。

A表したいことをスケッチしてその中から自分のイメージに合うものをいくつか選び、良いところを組み合わせながら画面構成する。

【観察・発言・作品】

描線をサインペンで描き、水彩絵の具を正しく使用して混色、濃淡などを工夫して色をつける。（3時間）

Bサインペンや水彩絵の具の特性を考えながら描くことができる。

Aサインペンや水彩絵の具の特性を考え、絵の具の濃淡や混色を工夫して自分の思いを表している。

【観察・発言・作品】

作品を見せ合いながら、思いを語り合い、自他の作品を鑑賞する。（1時間）

サインペンで描線を描くことで水彩絵の具には影響されないことを伝える。全体を淡彩で彩色してから描くよう促す。

B作品を見せ合いながら表現の違いやよさについて話し合っている。

A作品を見せ合いながら、作者の思い、表現の違いやよさについて話し合っている。

【観察・発言】

題 材 名 及 び 目 標

動くよ動くよ絵が動く（4時間）

アニメーションボックスの仕組みを知り、カッターナイフと接着剤、サインペンやマーカーなどを使用して楽しくつくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>アニメーションボックスの仕組みを知り、ワークシートにどんな場面にするかや学習の計画を立てる。 （1時間）</p>	<p>B絵が変わっていく仕組みに興味をもっている。 A絵が変わっていく仕組みに興味を持ち、自分なりの表現をしようとする。 【観察・ワークシート】</p>	<p>B変化の面白さを生かした動きが出るように、アイデアを練っている。 A変化の面白さを生かした動きが出るように、コマの割り方などを考えている。 【観察・ワークシート】</p>		
<p>次々に変わる楽しく動く場面の流れを構成し、下がきをする。 サインペンやマーカーを使って着色する。 絵を落としながら確認し、必要に応じて修正していく。 （2時間）</p>	<p>B次々に変わる動きを楽しみながらつくっている。 A動きの確認をしながらよりよいものになるよう工夫してつくっている。 【観察・発言・作品】</p>	<p>絵の上手さより動きの面白さを求めていることを伝え、パラパラまんが等の同様な方法を紹介する。</p>	<p>Bカードがスムーズに落ちるように確認しながらつくっている。 Aボックスの動きを確認しながら、よりなめらかでおもしろいものになるよう工夫してつくっている。 【観察・作品】</p>	<p>Bお互いの作品を鑑賞しながら、アニメの面白さを味わっている。 A動きの良さや絵の工夫など友達の良いさを具体的に表している。 【発言・ワークシート】</p>
<p>完成したアニメーションボックスをお互いに見せ合う。 （1時間）</p>				

〔2学期〕

題 材 名 及 び 目 標

自然からのおくりもの～流木をつかって〈7時間〉

流木などの自然素材を用い、その形を生かして、思いつくものをつくる。

のこぎり、小刀、ホットボンドなどの正しく安全な使い方を知り、素材に合わせて選びながらつくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>様々な素材の特徴を生かしてつくられた作品を鑑賞し作品づくりへの見通しを持つ。 (1時間)</p>	<p>B様々な作品を鑑賞し自分もつくってみたいという思いを持つことができる。 A素材をどのように生かしながらつくられているかを鑑賞し、自分がつくりたい物への思いを持つ。 【観察・発言】</p>			<p>B作品のおもしろいところや好きなどところを見つけることができる。 A作品のおもしろいところや好きなどところに着目し、素材が生かされているところや工夫などに着目している。 【観察・発言】</p>
<p>素材を見たり触ったりしながら、どんなものをつくるか計画する。 ・素材の見立て ・素材や道具 (1時間)</p>	<p>B素材の特性を考えてつくりたいものを構想して、計画カードに表している。 A素材の特性を考え組み合わせ方等を構想しながら、計画カードに表している。 【観察・計画カード】</p>	<p>B小刀、のこぎり、ホットボンドなどの正しく安全な使い方を知り、それを生かしてつくる。 A小刀、のこぎり、ホットボンドなどの正しく安全な使い方を知り、素材の形などを考え、適当な方法を考えながらつくる。</p>		
<p>流木や小枝を使用し、小刀やのこぎり、ホットボンドの使い方を楽しく練習する。 (1時間)</p>		<p>B素材の組み合わせを楽しみながらつくっている。 A素材の形や様子を考え、色々な組み合わせを試しながら、つくっている。 【観察・行動・作品】</p>		
<p>流木、落ち葉、木の実などの素材の良さを生かして組み合わせでつくる。 道具を工夫しながらつくる。 (3時間)</p>				<p>B素材の特性を生かしている作品の良さを見つけることができる。 Aどんな風に素材が生かされているかを自分の活動をもとに見つけ、伝え合っている。 【観察・発言】</p>
<p>できた作品を友達と鑑賞する。 (1時間)</p>				

五年生

題材名及び目標

光とかけ（7時間）

光とかけが表す面白さを感じながら厚紙とセロファンなどを使用して人形や背景などをつくり、学級全体で影絵を制作する。

主な学習活動

評 価 規 準

関心・意欲・態度

発想・構想の能力

創造的な技能

鑑賞

光とかけのバランスを考えながら、学習計画を立てたり、人形や背景のデザインをする。（2時間）

B 光とかけのバランスや美しさを感じ、友達と協力して影絵をつくろうとする。

A 光とかけのバランスの美しさを感じ、人形と背景の効果を試しながら、友達と協力してよりよいものをつくろうとする。

【観察・作品
・ワークシート】

B 光とかけの部分のバランスを考え形を構想し、デザインする。
A 光とかけのバランスを考え試しながら形を構想し、デザインする。

【発言
・ワークシート】

デザインナイフの正しく安全な使い方を知り、それを用いて厚紙を切り抜いて影絵をつくる。セロファンの色などを考えて、美しい人形や背景を試しながらつくる。（4時間）

B 用具の安全な使用方法や切り出し方接着・接合方法を工夫しながらつくっている。

A 用具の安全な使用方法や切り出し方、接着・接合を工夫しながらつくり、効果を試しながら改良を加えている。

【観察・発言・作品】

人形と背景を組み合わせ、協力して影絵を上演し、お互いに鑑賞する。（1時間）

B 完成した作品を見て全体の素晴らしさを感じている

A 完成した作品を見て個々の活動の工夫や素晴らしさを感じる。

【発言・作品・
ワークシート】

五年生

題 材 名 及 び 目 標

ほって刷って〈8時間〉

一版多色版画のつくりかたを知り、配色を考えながら画面構成する。

彫刻刀の安全で正しい使い方を知り、版木を彫る。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>前学年までの経験や教科書を参考にして、版による表し方を理解し、製作過程の見通しをもち、自分の方法を選択する。 (0.5時間)</p>	<p>B これまでの経験をもとに、版で表す活動を楽しんでいる。 A これまでの経験をもとに、表現の方法を選択し、版で表す活動を楽しんでいる。 【観察・発言・作品】</p>		<p>彫刻等の基本的な使い方を不要な木材を用いて練習させ、彫る活動に自信を持って取り組めるようにする。</p>	
<p>色のバランスや構図、彫って表現することを考え下絵を構想する。 (1.5時間)</p>	<p>コピーの反転等で簡単な下絵からできあがり予想させ、画面構成するよう促す。</p>	<p>B 写り方を予想したり、色のバランスを考えながら画面を構成している。 A 写り方を予想したり、色のバランスや彫り進め方を考えながら画面を構成している。 【観察・下絵】</p>	<p>B 正しく彫刻刀を使用し、計画的に彫り進めることができる。 A 正しく彫刻刀を使用し、計画的に彫り進めると共にかすれやぼかしを意識した彫り方を試したりする。 【観察・作品(版木)】</p>	
<p>下絵を参考に完成までの見通しをもって製作する。試し刷りをしながら、掘り進め、完成させる。 (5時間)</p>	<p>前学年までの経験(一版一色～多色刷り)から彫刻の技術、時間等を考え、版画の技法を選択させる。</p>		<p>A 道具を正しく使い、かすれやぼかしを意識して印刷することができる。 【観察・作品】</p>	
<p>お互いに作品を鑑賞し合い、構図や色のバランス、彫りの表現などのいいところや工夫したところを話し合う。 (1時間)</p>				<p>B 自分や友だちの表現に触れ、そのよさを感じ取っている。 A 自分や友だちの表現に触れ、それらのよさや工夫の違いを味わい、認め合っている。 【観察・発言・評価カード】</p>

〈3学期〉

題 材 名 及 び 目 標

ゲートをぬけてゴールイン〈6時間〉

ダンボールや発泡スチロール、アルミ針金などを組み合わせてボールが通る楽しいゲートをつくり、それを並べてみんなでゲームを楽しむ。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>アルミ針金とペンチの使い方を知り、それを利用したゲートの設計図や学習の計画をする。 (1時間)</p>	<p>B持ち寄った材料の特徴に関心をもって、その特色を確かめている。</p> <p>Aアルミ針金を使ったゲートに興味を持ち楽しくつくろうと計画を立てている。</p> <p>【観察・ワークシート】</p>	<p>Bゲームの内容にあわせて、好きな形を発想し、デザインしている。</p> <p>A素材の特長を生かしてゲートの通り方や仕掛けを考えてデザインしている。</p> <p>【作品・ワークシート】</p>		
<p>身近素材とアルミ針金を組み合わせ、既習の接着・接合方法を確認しながら楽しいゲートをつくる。</p> <p>割り箸と身近素材を組み合わせで自分用のクラブをつくる。 (4時間)</p>	<p>アルミ針金だけを使って、手で曲げながらできるおもしろい形を利用してゲートをつくる方法を紹介する。</p>		<p>B材料の特徴を生かした組み合わせ方や加工、接着などを工夫している。</p> <p>A材料の特徴を生かした組み合わせ方や加工、接着などを工夫し、つくりながら更におもしろいものになるよう改良を加えている。</p> <p>【観察・作品・ワークシート】</p>	
<p>みんなのゲートを広い場所に配置し、遊びながら、友達作品の良さや面白さを感じる。 (1時間)</p>				<p>Bゲームを楽しみながら、作品のよさや面白さを味わっている。</p> <p>Aゲームを楽しみながら、作品のよさや面白さ、友だちの表そうとしたアイデアを味わっている。</p> <p>【観察・ワークシート】</p>

題材名及び目標

心広がる場面〈5時間〉

物語を読んで、心に残った場面や表したい風景を水彩絵の具やサインペンなどを使用して表現する。
表現したい内容に合わせて、コラージュなどの技法も選択する。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
物語を読んで心に残った場面や登場人物をスケッチする。 どのような画面を構成するか考え、1枚に描くかコラージュするかを選択する。(1時間)	B 物語を読んで強く心を打たれた場面から想像を広げたり、構想したりする楽しさを味わっている。 A 物語を読んで強く心を打たれた場面から想像を広げたり、構想したりする楽しさを味わいこれまでの技法から自分の表現にあったものを選択して楽しく描く。 【観察・発言・作品】	B 物語から発想した場面をどのように描くかを考える。 A 物語から発想した場面をスケッチを組み合わせながら考え、どんな技法で表すか構想する。 【観察・発言・作品】		
これまで学習した画材や技法の中から、今回の自分の表現に適した方法を選択し、水彩絵の具と組み合わせて表現する。(4時間)			B 表したい場面に合わせて、構成や絵の具の効果的な使い方を工夫している。 A 表したい場面に合わせて、構成や絵の具の効果的な使い方、既習の画材や技法を組み合わせ、工夫して表現している。 【観察・作品】	
完成し、展示した作品をお互いに鑑賞すると共に、自分の作品をふりかえり、お互いの良さを伝え合う。(活動後)				B 作品を見せ合って、表したかった場面などについて、共感しながら鑑賞している。 A 作品を見せ合い、表したかった面を表現するために工夫したところや画面の美しさやおもしろさを認め合う。 【観察・発言・ふりかえり】

【第6学年 図画工作科】

【1学期】

題材名及び目標

のばしてまるめてくっつけて〈2時間〉

粘土を板にして曲げたり組み合わせたりすることに意欲をもち、現れた形から何かを見立て、つくりたい形に合わせた道具を用いて表現する。

友だちのやり方を見ながら工夫している点に気づき、自分の作品に生かす。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
粘土を板や筒にして、曲げたり、ねじったり、切り取ったり、組み合わせたりする。 (0.5時間)		B粘土に働きかけながら発想を広げ、自分の表現したいことを構想している。 A粘土に働きかけながら、思いのままに発想を広げ、自分の表現したいことについて構想を深めている。 【観察・発言】		
できた形や空間から、見えてくるものやつくるものを思い付き、活動の見通しをもつ。友だちのやり方も参考にしながら、たたら板やのばし棒、きり糸等の道具の使い方や手順を考えて作品をつくる。(1時間)	B手や道具をつかって粘土をいろいろな形に変化させたり、形を見つけたりしながら、表現することを楽しんでいる。 A手や道具をつかって粘土をいろいろな形に変化させたり、形を見つけたりしながら、表現することを進んで楽しんでいる【観察・発言・作品】	形にこだわらず、粘土を操作することに楽しみを持てるように促す。 その結果あらわれる形がどんなふうに見えるかをいろいろな角度から観察するよう促す。	Bいろいろな形のつくりかた、切り取り方、組み合わせ方を試みながら工夫して表している。 A道具を正しく効果的に使い、いろいろな形のつくりかた、切り取り方、組み合わせ方を試みながら工夫して表している。 【観察・作品】	B友だちの活動のおもしろいところを自分の作品に生かそうとしている。 A友だちの工夫を認めて、自分の作品に生かしている。 【観察・発言・作品】
お互いの作品を鑑賞し合い、おもしろいところやすごい発想などを話し合う。(0.5時間)			それぞれの道具の使い方を実際に提示し、手を使ったときとの違いを実感させ、道具をつかって活動することの楽しさを知らせる。	B自分や友だちの表現を見て、そのよさや美しさを感じ取っている。 A自分や友だちの表現を見て、それらのよさや美しさの違いを味っている。 【観察・発言】

題 材 名 及 び 目 標

自分の土器をつくろう（7時間）

既習の土粘土の活動や歴史の学習から土器に興味を持ち、形やつくりかたを考え、それに適した用具や技法を使って形を表す。

どんな文様にするか考え、それに適した素材や技法を試しながら考え、表面を装飾する。

友だちのやり方を見ながら工夫している点に気づき、自分の作品に生かす。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>歴史の学習を参考に既習の粘土の活動の経験を生かして自分の土器をデザインする。板づくりやひもづくり文様の付け方など、制作の計画を立てる。（2時間）</p>	<p>B 手や道具をつかって粘土を自分のデザインに合わせて楽しくつくる。 A 手や道具を効果的に使い、自分のデザインを形にすることを楽しんでいる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 図工や歴史の学習での経験を生かし、自分のつくりたい土器の形や模様をデザインする。 A 知識や経験を生かし、つくりかた、文様を技法や道具を考えながらデザインする。 【観察・発言・ワークシート】</p>		<p>B 歴史の教科書などの写真や図をデザインの参考にする。 A 自分の作品に使えるような写真や図を探して資料にしている。 【観察・資料・ワークシート】</p>
<p>焼き物の道具を使い板づくり、ひもづくりで土器のかたちづくりをするひもや棒などを使って表面に文様をつける。（4時間）</p>	<p>板づくり、ひもづくりの基本的なかたちづくりの方法や道具の使い方を紹介し、何度も試しながら作り上げていけるため基本的に失敗は無いことを感じさせる。</p>	<p>B かたちづくりや文様付けをしながら生まれる発想を活動に生かす。 A 形作りや文様付けの中で生まれた発想を試しながら活動に生かし、自分の土器のデザインを深めていく。 【観察・作品】</p>	<p>B いたづくり、ひもづくりの方法を理解し道具を用いて形づくりをする。 A いたづくり、ひもづくりの方法を理解し適切に道具を用いながら計画的に形づくりをする。 【観察・作品】 B ひもや棒を使って表面に文様をつけることができる。 A ひもや棒を組み合わせて自分なりの文様を考え表面につける。 【観察・発言】</p>	<p>B 友達の活動のおもしろいところを取り入れ自分の活動に生かす。 A 友達の活動を観察し自分の作品に生かすことができるような方法を見つけ参考にする。 【観察・作品】</p>
<p>乾燥・焼成</p>		<p>土粘土の板を用意しておき、文様の付け方を考えたり、試したりできるようにする。</p>		
<p>お互いの作品を鑑賞し合い、かたちづくりの方法や文様の付け方などの工夫したところや良いところなどをふりかえり、話し合う。（1時間）</p>				<p>B 自分や友だちの表現を見て、そのよさや美しさを感じ取っている。 A 自分や友だちの表現を見て、それらのよさや美しさの違いを味わっている。 【観察・発言】</p>

題材名及び目標

くねくねアート（5時間）～表し方の広がり（1時間）を含む

飾ると動くものに関心をもち、飾った情景を想像しながら、つくりたい形を構想し、用具を適切に使用して、針金の特性を生かすように工夫してつくる。

モビールの動きの面白さを楽しむ。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>表し方の広がり～現代の美術が多様な素材を扱い、表現方法や対象も広がっていることに気づき、作品について、自分の体験や作者の意図などを考え、自分なりの感想を持つ。（1時間）</p>	<p>B 作品の興味深いところを探して見ようとしている。 A 作品を自分の生活体験や表現と関連づけて見ようとしている 【観察・発言】</p>	<p>B 作品の面白さから、作者の考えを解釈しようとしている。 A 実際に作品が置かれている状況などを想像しながら、作者の意図などを作品から解釈しようとしている。 【観察・発言】</p>		<p>B 作品から受けた印象をワークシートに記入している。 A 作品から受けた印象を友達と話し合いながらまとめ、ワークシートに記入している。 【観察・ワークシート】</p>
<p>曲げる、つなぐなどして針金の性質を知る。 どのような動き、形にするかをアイデアスケッチなどで考える。（1時間）</p>	<p>B 針金の立体がつくり出す形をたのしみながら、つくることに関心をもち活動している。 A 飾ったときを想像したり、針金の立体をつくり出す形を楽しみながら、それを生かしたり組み合わせることに強い関心をもち活動している。 【観察・発言】</p>	<p>B 針金の線を生かした形を考えている。 A 針金の線を生かして、動きの面白さが見えるような形を考えている。 【ワークシート（構想図）】</p>	<p>B 針金の接合や加工に合わせて、用具を適切に使用している。 A 針金の接合や加工に合わせて用具を適切に使用すると共に、針金の先の処理などにも注意している。 【観察・作品】</p>	<p>B 変化していく動きの面白さを味わっている。 A 変化していく動きの面白さを味わいながら、制作に生かしている。 【観察・発言・作品】</p>
<p>つくる順番や用具の使い方などを工夫して、バランスを確かめながら計画的につくる。（2.5時間）</p>		<p>針金をつなげたり、ねじったりする行為を楽しませながら、生まれる形の面白さに興味を持たせる。</p>	<p>B アルミ線の性質を活用し、工夫して立体に表している。 A アルミ線の性質を十分に活用し、いろいろな技法を試しながら、工夫して立体に表している。 【観察・作品】</p>	
<p>作品を中央廊下に飾り、自分や友達の作品、全体の様子を鑑賞する。（0.5時間）</p>		<p>作品見本から面白さを感じるよう促す。</p>	<p>正しく安全な針金やペンチの使い方を指導することで、思うように針金の形を変化させることができることを気づくことができるようにする。</p>	<p>B 自分や友だちの作品のよさを味わっている。 A 進んで自分や友だちの作品のよさを味わおうと働きかけている。 【観察・発言】</p>

六年生

題 材 名 及 び 目 標

ものくろあーと～水墨画に挑戦（4時間）（日本のアート（1時間）を含む）

（日本のアート）

日本の伝統的な美術のよさや、現代的な意義について理解し、外国との美術を通じた文化交流の歴史を知る。

（ものくろあーと）

墨を使ってのいろいろな表し方に関心を高め、画面の組み立て方や配色を、かきながら考えたり、試みたりする中で墨や筆の扱い方を工夫し、その効果を確認しながらかく。

友だちの作品を見て、そのよさや美しさを感じ取る。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>日本のアート 図工や社会の教科書の図版を鑑賞する。 日本の昔の作品と今の作品とのつながりについて、気づいたことを発表する。（0.5時間）</p>	<p>B 水墨画や浮世絵など日本の伝統的な美術作品に関心を持つ。 A 日本の伝統的な作品に関心をもち、その技法を調べたり、時代や国を超えた美術の広がりに関心をもち、興味を持つ。 【観察・発言】</p>			<p>B 日本の伝統的な作品の美しさや素晴らしさを知る。 A 日本の伝統的な作品の美しさや素晴らしさを知り、自分の表現に生かそうとする。 【観察・ワークシート】</p>
<p>教科書の作品を参考にして、少ない色の表現を知る。少ない色で表してみたいテーマを決め、構想を練る。（1時間）</p>	<p>B 墨によるいろいろな表し方に関心をもち、墨で描く快さを楽しんでいる。 A 墨によるいろいろな表し方に関心を高め、墨で描く快さを進んで楽しんでいる。 【観察・発言・作品】</p>	<p>B 画面の組み立て方や配色を考えたり、試みようとしていたりしている。 A 画面の組み立て方や配色を、思いのままに考えたり、試みようとしていたりしている。 【観察・発言・下絵】</p>	<p>水墨画を描くことを楽しむことを主眼に置いていることを確かめ、墨と水だけで現れる色やぼかし具合を楽しみながら描けるよう促す。</p>	
<p>墨で明暗や濃淡の効果を生かして、画面を構成する。筆の方向やぼかしなどを試しながら描く。（2時間）</p>			<p>B 墨や筆の使い方の効果を確認しながら描いている。 A 墨や筆の使い方を自分なりに工夫し、その効果を確認、生かしながら描いている。 【観察・作品】</p>	
<p>友だちの作品を鑑賞する。（0.5時間）</p>				<p>B 友だちの作品を見て、よさや美しさを感じ取っている。 A 友だちの作品を見て、よさや美しさの違いを味わい、認め合っている。 【観察・発言】</p>

〔2学期〕

題 材 名 及 び 目 標

自然からのおくりもの～思いを寄せ合って（8時間）

流木などの自然素材の形から想像できるものを楽しくつくる。

友達と共通のテーマを持ち、素材の特性を生かして、適切に道具を使用し、つくりたい作品をつくる。

のこぎりや小刀、ホットボンドなどを素材に合わせて工夫して使用し、つくる。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>前年につくった作品やテーマ性のある作品を鑑賞し、活動への見通しを持つ。 どんなテーマでつくるかを話し合う (2時間)</p>	<p>B 様々な作品を鑑賞し自分もつくってみたいという思いを持つことができる。 A 素材をどのように生かしながらつくられているかを鑑賞し、自分がつくりたい物への思いを持つ。 【観察・発言】</p>			<p>B 作品のおもしろいところや好きなどところを見つけることができる。 A 作品のおもしろいところや好きなどところに着目し、素材が生かされているところや工夫な 【観察・発言】</p>
<p>素材を見たり触ったりしながら、どんなものをつくるか計画する。 ・素材の見立て ・素材や道具 (1時間)</p>	<p>B 素材の特性を考えてつくりたいものを構想し、計画カードに表している。 A 素材の特性を考え組み合わせ方等を構想しながら、計画カードに表している。 【観察・計画カード】</p>			
<p>流木、落ち葉、木の葉などの素材の良さを生かして組み合わせる。 道具を工夫しながらつくる。 作品を並べて見てつくり足したり、直したりする。 (4時間)</p>	<p>のこぎりや小刀、ホットボンドなど、前年度の学習で経験した正しく安全な使用方法を確認する。 流木や木の枝などを切る場合の固定方法を工夫しながら活動する。</p>	<p>B 素材の組み合わせを楽しみながらついている。 A 素材の形や様子を考え、色々な組み合わせを試しながら、ついている。 【観察・行動・作品】</p>		
<p>作品を鑑賞し合い互いの良さを見つける。(1時間)</p>				<p>B 素材の特性を生かしている作品の良さを見つけることができる。 A どんな風に素材が生かされているかを自分の活動をもとに見つけ、伝え合っている。 【観察・発言】</p>

題材名及び目標

わたしたちの町（水彩画）（6時間）

身のまわりの地域を、構図を考えたり、自分なりの表し方を試しながら表すことをたのしむ。
 地域の様子の中から表したいことを見つけ、色や形、構図のおもしろさや美しさなど、表し方を考える。
 これまでの経験を生かして、使いたい描画材料を選び、表し方を工夫する。
 友だちの表し方や表したいテーマに関心を持って見る。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
生活を振り返って見て、気に入った場所を思い起こし、描く場所を決める。（1時間）	B 身のまわりの地域に目を向けることに関心を持ち、とらえたよさを絵に表すことを楽しんでいる。 A 身のまわりの地域に目を向けることに関心を高め、とらえたよさを絵に表すことを進んで楽しんでいる。 【観察・発言・作品】	子どもの選択した場所に一緒に行き、構図や対象物の大きさなど描きやすいような画面構成を考える。 B 気に入った場所の様子から表したいことを見つけ、色や形、構図のおもしろさや美しさなどを感じ取りながら、表し方を考えている。 A 気に入った場所の様子から新たな視点で表したいことを見つけ出し、色や形、構図のおもしろさや美しさなどを感じ取りながら、自分なりの表し方を考えている。 【観察・発言・作品】	B これまでの経験を生かして、使いたい描画材料を選び表し方を工夫している。 A これまでの経験を生かして、使いたい描画材料を選び、効果的な表し方を工夫している。 【観察・発言・作品】	B 自分の表したい、思い出のある場所を探す。 A 自分の表したい場所を探し、自分の表現方法と合わせて判断している。 【観察・ワークシート】
自分の思いがよく伝わるように画面構成し、スケッチする。（1.5時間）				
絵の具や筆の使い方、描画材の組み合わせなど、表現の方法を工夫して描く。（3時間）				
作品を見せ合いながら、思いを語り合い、自他の作品を鑑賞する。（0.5時間）				B 友だちの表し方や表そうとしたテーマに関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取っている。 A 友だちの表し方や表そうとしたテーマに関心を持ち、それらのよさや美しさの違いを味わっている。 【観察・発言・作品】

その子なりの表現力を把握し、適した画材や技法、紙の大きさを指導する。
 薄い色で全体を着色した後、濃い色でくわしく描くよう指導する。

六年生

題材名及び目標

色を選んで木版画をつくろう（8時間）

作例を鑑賞しながら、自分のやってみたい表し方を見つける。

白黒の対比、色の置き方を考えながら、下絵をかく。

製作の手順を見通して、彫りや刷りの効果を確認めながら、工夫して表す。

作品を見せ合って、表したかったことを話し合う。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>前学年までの経験や教科書を参考にして、版による表し方を理解し、製作過程の見通しをもち、自分の方法を選択する。 （0.5時間）</p>	<p>B これまでの経験をもとに、版で表す活動を楽しんでいる。 A これまでの経験をもとに、表現の方法を選択し、版で表す活動を楽しんでいる。 【観察・発言・作品】</p>			
<p>色のバランスや構図、彫って表現することを考え下絵を構想する。 （1.5時間）</p>	<p>B 写り方を予想したり、色のバランスを考えながら画面を構成している。 A 写り方を予想したり、色のバランスや彫り進め方を考えながら画面を構成している。 【観察・下絵】</p>	<p>B 正しく彫刻刀を使用し、計画的に彫り進めることができる。 A 正しく彫刻刀を使用し、計画的に彫り進めると共にかすれやぼかしを意識した彫り方を試したりする。 【観察・作品（版木）】 B 道具を正しく使い、印刷することができる。 A 道具を正しく使い、かすれやぼかしを意識して印刷することができる。 【観察・作品】</p>	<p>B 自分や友だちの表現に触れ、そのよさを感じ取っている。 A 自分や友だちの表現に触れ、それらのよさや工夫の違いを味わい、認め合っている。 【観察・発言・評価カード】</p>	
<p>下絵を参考に完成までの見通しをもって製作する。試し刷りをしながら、掘り進め、完成させる。 （5時間）</p>	<p>コピーの反転等で簡単な下絵からできあがり予想させ、画面構成するよう促す。</p>	<p>前学年までの経験（一版一色～多色刷り）から彫刻の技術、時間等を考え、版画の技法を選択させる。</p>		
<p>お互いに作品を鑑賞し合い、構図や色のバランス、彫りの表現などのいいところや工夫したところを話し合う。 （1時間）</p>				

彫刻等の基本的な使い方を不要な木材を用いて練習させ、彫る活動に自信を持って取り組めるようにする。

六年生

〔3学期〕

題材名及び目標

思い出の校舎アート（10時間）～広がれアート（1時間）夢をあつめて（1時間）を含む
 自分の好きな校舎をキャンパスに卒業などの記念になるものをつくる。
 展示する場所や材料の特徴を生かして、つくるものの大きさや形、手順を決める。
 できあがった作品を展示して、記念になるものをつくりだした喜びを味わう。

主な学習活動	評 価 規 準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑 賞
<p>「広がれアート」 自分の通った校舎の好きなところ、不思議に思ったところを生かし、6年間の図工で経験した技法や素材を使って好きなものをつくる計画を立てる。（2時間）</p>	<p>B校舎のおもしろいところ、不思議なところを伝えるための作品を6年間の図工で経験した素材や技法を選んで表現しようとする。 A校舎に対して感じてきたことを伝えるために経験した素材や技法を選び、効果的な表現を計画的に進めようとする。 【観察・ワークシート】</p>	<p>B校舎のおもしろいところ、不思議なところを生かした表現を構想することができる。 A小学校生活で感じた校舎への思いを伝えたい対象を考えながら構想し、活動の計画を立てることができる。 【観察・ワークシート】</p>		
<p>伝えたい自分の思いをどのように表現するかを考えながら素材や技法を選ぶ。 場所やつくるもの素材や技法を生かし、自分の表現したいことを自由に表現する。（7時間）</p>		<p>Bこれまで経験した素材や技法を思い出し正しく安全に使うことができる。 Aこれまで経験した素材や技法を効果的に使うことができる。 B6年間で経験した技法や素材を生かして、計画的に表現する。 A6年間で経験した技法や素材を自分の構想を表現するために組み合わせ計画的に活動する。 【観察・作品】</p>		
<p>「夢をあつめて」 完成し、展示した作品をお互いに鑑賞すると共に、他学年の感想を基に自分の作品をふりかえり、お互いの良さを伝え合う。（1時間）</p>			<p>Bお互いの作品を鑑賞し、伝えたかったことを話し合い理解する。 Aお互いの作品を鑑賞し、その意図を素材や技法、表現から考え話し合っ理解し合う。 【観察・発言・ふりかえり】</p>	

【第1学年 美術科】

〔1学期〕

題材名及び目標				
心の形 心の色<3時間>…絵画・心象表現 ・中学校生活に対する期待と不安を、形・色で表現することができる ・相互評価の過程で、自他の表現の良さに気づくことができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・迷走曲線を重ねて、その中から期待と不安の形を見だし、色彩計画を立てる ・ケント紙に形をトレースし、ポスターカラーで着色する (2時間) ・小グループの中で、自分の表現へのこだわり等を交流する (1時間)	Bのキーワード ◆ 形や色に対するこだわりを持つことができる	◆ 自分なりの期待と不安の形や色を考えることができる	◆ 自分のこだわりの色を混色でつくること ができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを 感じ取ることができる
	Aのキーワード ◆ よりよいものを求めよう とすることができる ◆ 表出的な表現に意欲的に 取り組むことができる	◆ 形を発見していく中で、 アイディアを膨らませて、 色彩計画を考えること ができる	◆ 水分量を調節しながら、 ポスターカラー(絵の具)を 使ってむらなく着色すること ができる	◆ 作品の鑑賞を通して、 お互いの良さを認め合うこと ができる

題材名及び目標				
エッチングネームプレート<2時間>…金属工芸(腐食)・生活造形 ・自分の名前を、銅版の腐食による表面処理で表現することができる ・金属の腐食や、化学反応による着色の楽しさを味わうことができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・自分の名前を中心にネームプレートのデザインを考える ・グラウンド液でデザイン通りに防腐処理を 施す(1時間) ・第2塩化鉄液で腐食をする ・610HAPで着色する (1時間)	Bのキーワード ◆ 安全に制作することができる	◆ 制作の手順を理解し、 デザインを考えること ができる	◆ 水性グラウンド液を用いて、 防腐処理をすることができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良 さを感じ取ることができる
	Aのキーワード ◆ よりよいものを求めよう とすることができる ◆ 自分の想いを、 金属で形にすることの喜び を感じることができる	◆ 文字の配置や、イラストなど を効果的に配置すること ができる	◆ デザインの効果を考えなが ら、腐食することができる ◆ 仕上がりのイメージ通りに 着色、研磨をすることができる	◆ 作品の鑑賞を通して、 お互いの良さを認め合うこと ができる ◆ 金属工芸品の美しさを感じ 取ることができる

題材名及び目標

イメージの箱<8時間>…デザイン・工芸・心象表現

- ・ 文字のレタリングを素材としながら、PP透明シートによるレイヤーの効果を生かすことができる
- ・ スチレンボードを用いて額縁部分を箱状にし、文字の意味性や色などのイメージを表現することができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>・ レタリングの基礎を理解する。(1時間)</p> <p>・ 題材の内容を理解し、自分の氏名から1文字を選んで、明朝体でレタリングをし、PP透明シートに着色する (2時間)</p>	<p>Bのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 集中して制作に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作の手順を理解し、デザインを考えることができる ◆ 文字にあった配色を考えることができる ◆ レイヤーの効果を考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 形や色彩、素材がもたらす性質を理解し、表現することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
<p>・ 額縁部分をスチレンボードで箱状にし、レイヤーの効果を考えながら、2枚目のPP透明シートに着色する (2時間)</p> <p>・ 文字のイメージやレイヤーの効果に合わせて、額縁部分デザインする (2時間)</p> <p>・ 組み合わせて完成した作品の相互評価活動をする (1時間)</p>	<p>Aのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ よりよいものを求めようとする可以尝试 ◆ つくる喜びを味わいながら意欲的に自らの制作活動を追究することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 配色や立体構成のイメージを広げ、独創的なミックスメディア表現の構想を立てることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 素材を生かし、独自のアイデアを生かし、美しく、かつ個性的な表現することができる ◆ 形や色彩、素材がもたらす性質だけでなく感情を、表現することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 独、想像力を働かせて、作者の意図や表現の工夫などを感じ取ることができるようにする。 ◆ 作品の鑑賞を通して、お互いの良さを認め合うことができる

題材名及び目標

スケッチの魅力<4時間>…絵画・心象表現

・淡彩画の技法を用いてペットボトルの形や色のよさや美しさ、特徴などを捉え、自らの想いを作品に反映させることができるようにする。

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆を用いて、濃淡の調子をつくり、球と円柱に陰影をつける ペットボトルをじっくりと観察し、その形のよさや美しさを、特徴を発見しながら、形を大まかに捉える より写実的な表現にしていくためにポイントなどをグループで交流しアドバイスし合う（2時間） 	Bのキーワード ◆ ペットボトルの形や色彩の特徴と、真剣に向き合い、スケッチに親しむことができる	◆ 作品完成までの手順を理解し、計画を立てることができる	◆ クロッキーや淡彩画の技法を理解し、それを作品に取り入れることができる	◆ 他者の想いや表現を味わうことができる
	<ul style="list-style-type: none"> 淡彩画の描き方を理解する ペットボトルをじっくりと観察し、その形のよさや美しさ、特徴を発見しながら、着色する（2時間） 	Aのキーワード ◆ ペットボトルを深く観察し、よさや美しさ、特徴などを感じ取り、感じた想いを表現しようとする ◆ つくる喜びを味わいながら意欲的に自らの制作活動を追究することができる	◆ ものの見方・感じ方を深め、表現方法工夫して、発想を豊かにすることができる	◆ ペットボトルの形や色のよさや美しさ、特徴などをクロッキーやデッサン、淡彩画の技法で捉え、自らの想いを作品に反映させることができる

題材名及び目標

美術新聞をつくらう<2時間>…鑑賞

・自分のお薦めの作家・画家についての美術新聞をつくらうことができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> 教科書や資料集から、自分の調べたい作家を探す 図書室や美術室の資料、インターネットなどを利用し、調べてまとめる（2時間） 	Bのキーワード ◆ 自分のお薦めの作家・画家の新聞を作成することができる	◆ 紙面の構成を工夫することができる	◆ レイアウト、レタリングを見やすく仕上げることができる	◆ 自分のお薦めの作家・画家の作品に、自分なりの感想を持つことができる
		Aのキーワード ◆ よりよいものを求めようすることができる ◆ 主体的に自らの制作活動を追究することができる	◆ 自分が伝えたい内容を読む側にわかりやすく工夫することができる	◆ 紙面に統一感を持たせ、デザインをより効果的に美しく仕上げることができる

題材名及び目標

願いを表す手<4時間>…彫刻(塑像)・心象表現

・自分の願いをテーマとして、ポーズを工夫して、塑像で表現することができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> 様々な「手」のポーズイングから、その表情を読み取り、テーマを設定する (1時間) 	<p>Bのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ テーマ(願い)にたいするこだわりを持つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 作品完成までの手順を理解し、テーマを表すポーズを考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分のこだわりのポーズを、粘土でつくることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを表現するために、心算に荒縄を巻く ・粘土を粗付けし、細部を仕上げる (3時間) 	<p>Aのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ よりよいものを求めようとするができる ◆ 塑像による表現に意欲的に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 手の表情に、より感情を込め、ポーズを考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 細部にわたって、塑像で感情を表現することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 作品の鑑賞を通して、お互いの良さを認め合うことができる

題材名及び目標

みんなの想いをつなぐ〜しりとリアニメーション

・メタモルフォーゼの技法を用いて、学級全員のモチーフをリレー形式でつなげることができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> 様々なアニメーション作品を鑑賞し、動画の原理を理解する (1時間) 	<p>Bのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ テーマ(願い)にたいするこだわりを持つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 作品完成までの手順を理解し、計画を立てることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中割の技法で動画を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 他者の想いや表現を味わうことができる
<ul style="list-style-type: none"> ・課題を把握し、モチーフを交流する ・中割の技法で原画、動画を作成する (4時間) 	<p>Aのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ よりよいものを求めようとするができる ◆ 自分の考えやイメージを動画で伝え合う表現の楽しさに関心を持ち、生き生きと表現 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主題をより効果的に表現するために、「動き」のイメージを膨らませながらアイデアを練ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自己のアイデアを生かす表現技法を選択し、動きを明確に知覚できる仕組みを手順よく制作することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 成した作品を鑑賞し、自他のよさや美しさを感じるとともに、共感的な相互理解を深めることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・撮影、ポストプロダクション (1時間) 				
<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞・交流会 (1時間) 				

題材名及び目標

多様な表現に触れる～道展卸路移動展<2時間>…鑑賞

・北海道在住の作家の作品に数多く触れることで、美術的な「表現」に対する見方・考え方を深めるとともに、自己の表現に生かそうとすることができる。

・作品の鑑賞を通して、作者と対話しようとするすることができる。

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・ 展覧会の作品を鑑賞して、自分がみんなにお勧めしたい作品を決定する ・ 決定した作品についての、世界観・表現技法等についてのレポートを作成する ・ レポートをもとに、小グループでギャラリートークを取り入れ交流鑑賞活動を行う ・ 活動についての振り返りをする（20時間） 	Bのキーワード ◆ 真剣に作品を鑑賞しようとするができる	◆ 自分のお薦めの作家・画家の作品についてのレポートをまとめることができる		◆ 自分のお薦めの作家・画家の作品に、自分なりの感想を持つことができる
	Aのキーワード ◆ よりよいものを求めようとするができる ◆ 主体的に自らの制作活動を追究することができる	◆ 自分のお薦めの作家・画家の作品についてのレポートを多面的にまとめることができる		◆ 自分の伝えたい内容を、自分の言葉で的確に伝え、ギャラリートークをすることができる

【3学期】

題材名及び目標				
版表現1～ドライポイント<6時間>…絵画(版表現)・心象表現 ・デベイズマンを使い自分の中でイメージを転換できるように意識を向けることができる ・ドライポイントの特性を知り自分の技術を生かしながら制作することができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・シュールリアリズムの作家の資料作品を鑑賞する ・デベイズマンの技法を理解する (1時間)	Bのキーワード ◆ 凸版画と凹版画の違いについて理解し、版表現に親しむことができる	◆ 作品完成までの手順を理解し、計画を立てることができる ◆ シュールリアリズムについて理解しアイデアを膨らませることができる	◆ ニードルを用いて塩ビ版を下絵通りに彫ることができる	◆ 他者の想いや表現を味わうことができる
・モチーフを決定し下絵を作成する ・下絵に合わせて塩ビ版をニードルで削る (3時間)				
・刷り (1時間)	Aのキーワード ◆ よりよいものを求めようとする ◆ 主体的に自らの制作活動を追究することができる	◆ デベイズマンを使い自分の中でイメージを転換し、テーマを持つことができる	◆ 表現方法にあった道具を使い彫ることができる ◆ テーマを効果的に表現する印刷をすることができる	◆ 成した作品を鑑賞し、自他のよさや美しさを感じるとともに、共感的な相互理解を深めることができる
・相互鑑賞会 (1時間)				

題材名及び目標				
日本の伝統工芸1～薬研彫りで表す<8時間>…木材工芸・生活造形 ・木彫の技法の中でも高度な「薬研彫り」を体現することによって、日本の伝統工芸に対する意識を高めることができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・薬研彫りについての基礎知識を学習する ・三角形・花形をモチーフに下絵を練る (2時間)	Bのキーワード ◆ 集中して制作に取り組むことができる ◆ よりよいものを求めようとする ◆ つくる喜びを味わいながら意欲的に行うことができる	◆ 制作の手順を理解し、デザインを考えることができる ◆ 三角形・花形をモチーフに効果的なデザインを工夫することができる	◆ 木材の性質を理解し、表現することができる ◆ 木材の表情を生かしながら、薬研彫りの美しさを素効果的に表現することができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる ◆ 作品の鑑賞を通して、お互いの良さを認め合うことができる
・彫り (5時間)				
・塗装・磨き (1時間)				

【第2学年 美術科】

〔1学期〕

題材名及び目標				
ビクトグラムデザイン<3時間>				
・視覚伝達デザインの一環として、美しさと機能性を兼ねたビクトグラムをデザインすることができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・ISO の非常口マークの最終候補の日本案とソ連案を比較し、どちらが優れているか考え、良いビクトグラムの条件を理解する (1時間) 	Bのキーワード ◆ 視覚伝達デザインの役割を理解し、関心を持つことができる	◆ 作品完成までの手順を理解し、目的や条件を考えて、発想することができる	◆ イメージにあった色彩で着色することができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・デザインを考えて着色する (4時間) 	Aのキーワード ◆ よりよいものを求めようとすることができる ◆ 視覚伝達デザインの表現に意欲的に取り組むことができる	◆ 目的や条件だけでなく、機能性や美しさを考えて、発想することができる	◆ マスキングの技法を使い、丁寧に着色することができる ◆ イメージに応じて色彩の感情表現や色彩構成をすることができる	◆ 身のまわりのデザインの用と美の関係に気づき、美的な視点で日常をとらえることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・小グループの中で、自分の表現へのこだわり等を交流する (1時間) 				

題材名及び目標

題材名及び目標				
ファインダーの中の世界<4時間>				
・真撮影の基礎を理解し、組写真として表現することができる				
・日常的に見慣れたものや光景を新たな視点で見つめ直し、テーマを決めて撮影することができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・カメラと撮影の基礎 ・写真とテーマについて (1時間) 	Bのキーワード ◆ 写真によるいろいろな表現に関心を持つことができる	◆ 伝えたい内容を効果的に表現することを考え、全体を構成することができる	◆ 機材の特性を知り、自分のテーマにあった撮影をすることができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決めて撮影 ・カットとレイアウト (2時間) 	Aのキーワード ◆ よりよいものを求めようとする ◆ 意欲的に制作に取り組むことができる	◆ 日常的に接しているものや光景を新たな視点で見つめ直し写真として切り取ることができる	◆ 自分のテーマにあった表現方法を考え、効果的なレイアウトをすることができる	◆ 作品から、技術だけでなく、感性やその心情を感じ取ることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・合評会 (1時間) 				

題材名及び目標

抽象彫刻入門<8時間>

- ・自分の想いを探りながら立体的な思考により、抽象作品として表現することができる
- ・石膏と水と紙バックでブロックをつくり、イメージをもって制作することができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・制作のテーマを設定する (1時間) ・石膏ブロックをつくる (1時間) 	<p>Bのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自己の心的なイメージを抽象的に表現しようとすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 完成までの制作の手順を理解し、計画を意識することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 思い描いた形に近づくよう、彫り進めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作途中の作品から、課題を見つけ取り組むことができる
<ul style="list-style-type: none"> ・エスキースをつくり、展開図で表す2時間 ・彫り (3時間) ・相互評価活動をする (1時間) 	<p>Aのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 制作を通して自分の思いを練り上げ、自分にしかつけない彫刻にしようとする可以尝试 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の作品のイメージを膨らませる努力をしながら、制作することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ イメージに近づけるために、道具の扱いを工夫しながら彫り進めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 作家作品や仲間の作品に対し価値を見つけ出すことができる



題材名及び目標

ステンドグラスと切り絵の世界<6時間>

・イメージを膨らませながら、塩ビ板にのり付けされている黒紙をカッターで切り離し、カラーシートを効果的に貼り付けることができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・切り絵・ステンドグラスの特徴を理解する ・テーマを設定して下絵を構想する (1時間) 	Bのキーワード ◆ 切り絵・ステンドグラスについて関心を持ち、テーマを持つことができる	◆ 資料作品から読み取ったことを、自己の作品に生かすことができる	◆ カッターを安全に使い、下絵通りに黒紙を切ることができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・下絵をカーボン紙を用いて、黒紙に転写する ・カッターを使って、切り絵の要領で輪郭を切る ・カラーシートで着色する (4時間) 	Aのキーワード ◆ テーマを効果的に表現するために、主体的に制作に取り組み、試行錯誤を重ねることができる	◆ 対象の単純化や省略、強調を考え、画面構成を工夫することができる	◆ 光と影の表す美しさの特徴や色彩の効果や色合いを考え、丁寧に制作することができる	◆ 作者の心情や意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解して作品の見方を深めることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価活動をする (1時間) 				

題材名及び目標

オリジナル印をつくろう～篆刻の世界<8時間>

・主体的に取り組み、自分を見つめ、自分を表す印の制作をすることができる
 ・豊かに発想し、構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現することができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・落款や紐の基礎事項を知る ・印面と紐のデザインを考える (1時間) 	Bのキーワード ◆ 落款を制作することへの関心を持ち、楽しく篆刻や彫刻活動に取り組むことができる	◆ 個性的なデザインや使いやすさ、美しい形を豊かに発想することができる	◆ 印面の機能を果たし、紐にも工夫のめられる表現をすることができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・印面を彫る (3時間) ・紐を彫る (3時間) 	Aのキーワード ◆ 自分らしくよりよい表現を目指し、試行錯誤をし創意工夫することができる	◆ 石材の効果的な生かし方、使う楽しさなどを工夫して構想を練ることができる	◆ 石や印刀、金切りのこ、やすり等を効果的に生かして美しく創造的に表現することができる	◆ 自他の作品から発想豊かで、石の材料を生かした表現を見だし、よさや美しさなどを感じ取り、味わったりすることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価活動をする (1時間) 				

題材名及び目標

オリジナルカップホルダー（金属工芸～鋳造）＜4時間＞

- ・紙コップで鋳型をつくり、低融点合金を鋳込んで、カップホルダーを制作することができる
- ・金属工芸の楽しさに触れると共に、鋳物工芸の原理を理解することができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・金属鋳造の原理を知る ・下絵の構想を練る（1時間） 	<p>Bのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 金属工芸に関心を持ち、楽しく制作に取り組むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 個性的なデザインや使いやすさ、美しい形を豊かに発想することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ カップホルダーの機能を果たし、形にも工夫のみられる表現をすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・紙コップとコルクボードで鋳型をつくる ・低融点合金を鋳込む ・湯道を切断する（2時間） 	<p>Aのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分らしくよりよい表現を目指し、試行錯誤し、創意工夫することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 透かしの効果的な生かし方、使う楽しさなどを工夫して構想を練ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 金属のよさ等を効果的に生かして美しく創造的に表現することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 金属を生かした表現を見だし、よさや美しさなどを感じ取り、味わったりすることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・研磨し、取っ手をハンダ付けする（1時間） 				

題材名及び目標

やさしさのかたち～ユニバーサルデザイン＜4時間＞

- ・バリアフリーの視点で、高齢者や障害者にとって使いやすいデザインを考えることができる
- ・用途や使う人のニーズに合わせた形や色の工夫に気づき、自らもそれに配慮したデザインをすることができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が見つけたユニバーサルデザインを交流する ・様々なやさしさの形を理解する（1時間） 	<p>Bのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ ユニバーサルデザインに関心を持ち、そうしたデザインについて知ろうとすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 疑似体験をもとに、用途や機能を工夫することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 発想をもとに、見た人に伝わりやすいアイデアスケッチを描くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 人の立場によって、使いやすさが異なることに気づくことができる
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障害者の疑似体験をし、ユニバーサルデザインとしてつくられたものと比較、検討する（1時間） 	<p>Aのキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 使う人にとってのニーズに配慮し、機能面や形などのよさを追究することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高齢者や障害者の気持ちを考え、形や色、材質を考慮したアイデアを考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 表現意図にあった表現の工夫をし、見る人にわかりやすい資料を作成することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ デザインにおける機能性の大切さを感じ取り、相手の立場に立ったデザインについて理解を深めることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・やさしさの形を自分なりに考えアイデアスケッチし、レポートにまとめる（2時間） 				
<ul style="list-style-type: none"> ・発表交流会（1時間） 				

【3学期】

題材名及び目標				
日本の美術～尾形光琳・伊藤若冲・円山応挙・鳥居清長・喜多川歌麿・小田野直武<2時間>…鑑賞 ・江戸時代中期に熟成した日本絵画の造形の特色を代表的絵師の作品を通して理解し、それぞれの個性的な展開を味わうことができる ・作品の背景にある自然観や作者の思いを感じ取るとともに、日本的な造形表現の特色に気づくことができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・鉛筆を用いて、2つの技法で6段階の濃淡の調子をつくり、球と円柱に陰影をつける ・淡彩画の描き方を理解する ・ペットボトルをじっくりと観察し、その形のよさや美しさ、特徴を発見しながら、着色する	Bのキーワード ◆江戸中期の絵画にみられる秘本的な表現の特色や個性的な展開に興味を持つことができる			◆江戸中期の代表的絵師達の個性的な造形方法の違いを見分けることができる
	Aのキーワード ◆鑑賞活動を通して日本美術の変遷や固有の特色などに関心を持ち、西洋的表現の取り入れ方に注目することができる			◆文化や伝統として受け継がれてきた日本独自の美意識や創造的精神などについて理解することができる

題材名及び目標

題材名及び目標				
日本画の世界<6時間>…絵画・心象表現 ・岩絵の具、水干絵の具、膠などの扱いを理解すると共に、こだわりを持って絵の具をつくること ・日本の「余白の文化」について理解を深めることができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・資料作品や色見本を鑑賞し日本独自の色彩や余白の文化について理解する ・余白を意識しつつ、表したい世界観を練り下絵を描く（1時間）	Bのキーワード ◆日本独自の色彩や余白の画面構成に関心を持つことができる	◆自己のテーマにあった画面構成を考へることができる	◆岩絵の具、水干絵の具、膠などの扱いを理解し、制作することができる	◆自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
・岩絵の具、水干絵の具についての扱いを理解する ・着色する（4時間）	Aのキーワード ◆西洋画と日本画の表現技法の共通点や相違点を知り、自分の作品に生かそうとすることができる	◆余白を効果的に取り入れた画面構成を考へることができる	◆自分でつくった絵の具にこだわりを持ち、心情を大切にしながら制作に取り組むことができる	◆作品から、技術だけでなく、感性やその心情を感じ取ることができる
・相互評価活動をする（1時間）				

【第3学年 美術科】

〔1学期〕

題材名及び目標				
日本の伝統工芸2（螺鈿の魅力）＜7時間＞				
・日本の伝統工芸に関心を持ち、木製の盆に、漆と螺鈿細工を施す				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・塗装工芸についての表現技法を理解する ・イメージを広げて下絵を考える（1時間） 	Bのキーワード ◆ 塗装工芸についての関心を持つことができる	◆ 完成までの手順を知り、制作の計画を立てることができる ◆ 個性的なデザインを考えることができる	◆ テーマに沿った螺鈿細工をすることができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・漆を塗る ・貝をカッターで切り、漆で貼っていく ・漆を塗り、研ぐ（5時間） 	Aのキーワード ◆ よりよいものを求めようとすることができる ◆ 自分らしくよりよい表現を目指し、試行錯誤し創意工夫することができる	◆ 余白を意識しながらテーマに沿ったモチーフや構成を工夫することができる	◆ 貝殻と漆のコントラストの美しさを生かし、丁寧に仕上げるることができる	◆ 自他の作品から発想豊かで、漆や螺鈿を生かした表現を見だし、よさや美しさなどを感じ取り、味わったりすることができる
<ul style="list-style-type: none"> ・相互評価活動をする（1時間） 				

題材名及び目標				
日本の美術と西洋の美術＜2時間＞				
・発表や模写といった様々な活動をしながら作品を鑑賞させ、そこからそれぞれの彫刻の造形的特徴や価値観の違いといった美的価値に気づくことができる				
・仏像の美的価値から、自らの新たな美的価値を見つけ出し、自らの感想や考えと他者の美的価値と交流し合うことによって、次の鑑賞や制作といった美的創造活動につなげることができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<ul style="list-style-type: none"> ・仏像をスケッチすることにより、如来、菩薩、明王、天部の特徴を理解する。1時間 	Bのキーワード ◆ 彫刻による人体表現に関心を持つことができる			◆ 仏像に関する美術的、様式的な意味を理解することができる
<ul style="list-style-type: none"> ・仏像彫刻と西洋彫刻の、それぞれのよさに気付く ・交流活動で自分の考えをしっかりと発表するとともに、友達発表もしっかり聞く（1時間） 	Aのキーワード ◆ 日本の仏像彫刻と西洋の彫刻の造形的な特徴を知ることができる			◆ 日本の仏像彫刻と西洋の彫刻のそれぞれの価値観を理解し作品を鑑賞することができる

題材名及び目標

季節を包む<8時間>

- ・身近な描画材を用いて、お気に入りの季節を絵画的に表現することができる
- ・接着剤を使用しないで組みあがる紙箱をパッケージとして、絵画表現を包むことができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
<p>・ケント紙に紙箱の展開図を描き、カッターで切り離す (1時間)</p>	<p>Bのキーワード</p> <p>◆ お気に入りの季節の特徴と、真剣に向き合い、こだわりを持つことができる</p>	<p>◆ 作品完成までの手順を理解し、計画を立てることができる</p>	<p>◆ テーマに相応しいモチーフを表現することができる</p> <p>◆ パッケージとして紙箱を機能させることができる</p>	<p>◆ 他者の想いや表現を味わうことができる</p>
<p>・紙箱の内側に、お気に入りの季節をテーマに下絵を描く</p> <p>・色鉛筆等で着色する (4時間)</p>	<p>Aのキーワード</p> <p>◆ お気に入りの季節のにおいや気温などのよさや美しさ、特徴などを感じ取り、感じた想いを表現しようとする</p> <p>◆ つくる喜びを味わいながら意欲的に自らの制作活動を追究することができる</p>	<p>◆ ものの見方・感じ方を深め、表現方法工夫して、発想を豊かにすることができる</p>	<p>◆ お気に入りの季節のよさや美しさ、特徴などを表現技法を工夫して、自らの想いを作品に反映させることができる</p> <p>◆ 紙箱によるパッケージを、より効果的に活用することができる</p>	<p>◆ 対象をよく見て感じ取ったことを、適切に明確に他者に伝えることができる</p>
<p>・紙箱の外側に、内側のイメージを生かすデザインを考え着色する (2時間)</p>				
<p>・相互評価活動をする (1時間)</p>				



題材名及び目標

思春期の私～自画像<6時間>…絵画・心象表現

・鉛筆デッサンによる自画像制作を通して心の中の自分と対峙し、謙虚なき持ちで自分自身を見つめ直すことができる

主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・習作として、目のデッサンをする (1時間)	Bのキーワード ◆ 自画像の表現に関心を持ち、自分自身を深く見つめ直すことができる	◆ 自分自身の内面的な価値を感じ取り、主題を発想し、構想を練ることができる	◆ 自分の主題にあった表現技法で制作することができる	◆ 自他の作品を鑑賞し、その良さを感じ取ることができる
・頭部のバランス、面で捉えるなどのポイントを理解する ・鏡を見ながら、自画像を描く (4時間)				
・相互評価活動をする (1時間)	Aのキーワード ◆ 自分自身を客観的に見つめ、内面的なテーマをふまえ、自分らしさを表すために工夫することができる	◆ テーマを深く掘り下げ、心豊かな感じ方や表現の工夫を考へることができる	◆ 多様な表現方法などの生かし方を工夫し、自分自身を見つめ、感じ取ったことや心の世界を素直に表現することができる	◆ 作品から、技術だけでなく、感性やその心情を感じ取ることができる

題材名及び目標

版表現2～シルクスクリーン<7時間>…版表現(絵画)・心象表現

・シルクスクリーンによる孔版制作によって、版表現の新たな楽しさを感じることができる

・面分割・明度分割などの視点をもって制作に取り組むことができる

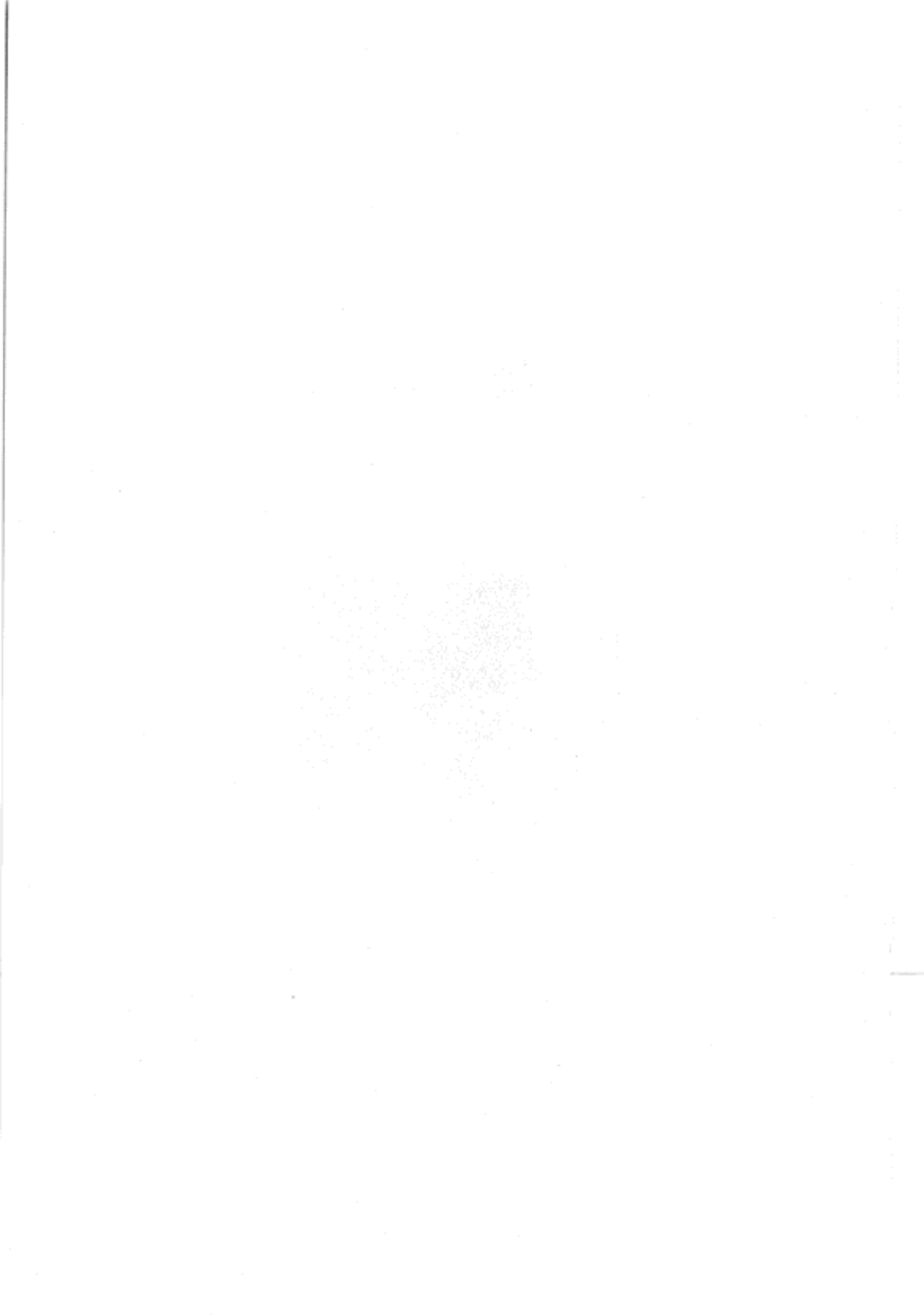
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・孔版面について理解する ・面分割・明度分割について理解する (1時間)	Bのキーワード ◆ 孔版による表現に関心を持ち、制作に取り組むことができる	◆ 作品完成までの手順を理解し、テーマを設定し計画を立てることができる	◆ 版毎の色の組み合わせや、バランスを考へながら刷ることができる	◆ 孔版ならではの表現の良さを感じ取り、制作に生かそうとすることができる
・テーマを設定し、下絵を作成する (1時間)				
・版の作成 (2時間)	Aのキーワード ◆ 面、明度分割による表現の楽しさを知り、主体的に制作に取り組むことができる	◆ 面や明度分割を理解し、テーマにあった画面構成を工夫することができる	◆ テーマにあった表現技法を工夫して、孔版の良さを生かした作品制作ができる	作品から、技術だけでなく、よさや美しさなどを味わうとともに、感性やその心情を感じ取ることができる
・印刷 (2時間)				
・相互評価活動をする (1時間)				

題材名及び目標				
アイヌ文様を彫る<7時間>…木材工芸・デザイン・生活造形 ・卒業作品として木製の印章ケースに、北海道の土着の文化であるアイヌ文様を施すことによって、自己のアイデンティティを意識することができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・アイヌ文様について鑑賞し、その種類や特徴を理解する (1時間) ・テーマを設定し、下絵のアイデアを練る (1時間)	Bのキーワード ◆ アイヌ文様に関心を持ち、制作に取り組むことができる	◆ アイヌ文様を用いて、デザインを練ることができる	◆ アイヌ文様をテーマとして掘り進め、着色することができる	◆ 孔版ならではの表現の良さを感じ取り、制作に生かそうとすることができる
・カーボン紙で転写する ・彫る (4時間) ・相互評価活動をする (1時間)	Aのキーワード ◆ 卒業制作品という意識を高め、集中して制作に取り組むことができる	◆ 自己のテーマに沿って、アイヌ文様と他のモチーフを組み合わせながら、アイデアを膨らませることができる	◆ 彫刻刀やカッターなどの用具を効果的に使用し、丁寧に作品を仕上げることができる	◆ 作品から、技術だけでなく、よさや美しさなどを味わうとともに、感性やその心情を感じ取ることができる

題材名及び目標				
環境と造形 (イサム・ノグチと新宮晋) <2時間>…鑑賞 ・義務教育の最終授業として環境に目を向けさせ、そこに美術科どのようにかかわり、人間に働きかけているのかをかんがえることができる				
主な学習活動	評価基準			
	関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞
・イサム・ノグチや新宮晋のプロジェクトについて理解する (1時間) ・人間と自然環境・公共空間との関わりについて、小グループで話し合う ・造形が自分たちの生活にどのように潤いや豊かさをもたらすのか理解する (1時間)	Bのキーワード ◆ 環境と造形に関心を持ち、造形物の役割について考ようことができる			◆ 環境と造形についての自分の価値観を、自分の言葉でまとめることができる
	Aのキーワード ◆ 美術の表現の柔軟な発想や遊び心、問題提起の精神、空間の豊かさについて考ようことができる			◆ 公共空間が持つ豊かさや意味、その必要性について考え、そこに設置される造形物の創造的精神や有効性を味わい理解することができる

实践事例





「見て見て～ひまわりを描こう！」

指導者 井上げいこ

1 子どもの実態

事前にとったアンケートによると、図工が好きな子どもは23名、嫌いな子どもは1名（欠席1名）であった。『図工が好き』と回答した23名のうち『図工は好きだが、絵を描くのは苦手。』と書いていた子どもが何名かいた。好きな理由は『粘土作品を作るのが好きだから』『ものをつくるのが好きだから』とさまざまであった。アンケート結果からほとんどの子どもが絵を描くことよりも、ものづくりを好んで行なっていることがわかった。また普段の学習の様子からもその傾向がうかがえる。

本学級の子どもたちは、元気がよく活発である。多くのことに積極的に取り組む意欲的な子どもが多い。ものづくりが大好きで、休み時間や空き時間などを利用して、折り紙や小物づくりを楽しんでいる。夏休みの作品を見ても、興味や関心、好みなどの違いの広がりが見られ、個性的な発想や表現を楽しむことが見られる。

ただ、絵を描くことに対しては、何人かの子どもが苦手意識を持っていることがうかがえる。また、絵を描くことは好きなのだが、頭で考えすぎてなかなか冒険できない子どもも何人かいる。『絵を描くことが苦手な子ども』や『冒険できない子ども』に対しては、思いのままに描きたいという『思い』を実現させるために、多面的に子どもの作品を認め、制作に期待感が持てるよう配慮し、子ども一人ひとりが楽しく作品をつくることのできるよう適切な助言をしていきたいと考えた。

2 題材について

『ひまわりを見る・絵の具を混ぜる・筆で描く』などの過程の中で、絵の具の特性を生かしながら、作品をつくることを学んでもらいたい。絵の具の特性には、水の量による色の濃淡、混色により多種多様な色を生むことなどがあげられる。各様の変化や可能性が考えられるという点は、絵の具の特性であり、魅力であり、幅広い適応性を備えた材料で、教師の指導計画の工夫によっては数々の展開を図ることのできる描画材料であると考えた。『ひまわり』のように明るく元気な子どもたちに『ひまわり』の制作を通して、絵の具の魅力を伝えたいと考え、この題材を設定した。同時に基本的な筆の使い方、水を加える量などの支援をしながら、子どもたちに絵を描く楽しさを学ばせたいとも考えた。また、今回の活動に意欲的に取り組ませることで、次回への制作意欲へともつなげていきたいと考えた。

子どもが描くことの楽しさと魅力が感じられる題材を設定して、思いのままに活動や表現を展開する学習の場を作り出し、子どもの良さや可能性を生かすことを大切にしたい指導に努めたいと考えた。そのためには、子ども一人ひとりの考え、すなわち『思い』を生かすような場を構成する必要があると考えた。展開にあたっては子ども一人ひとりが構成段階で“ひまわりを描きたい”という『思い』をふくらませ、“ひまわり”とじっくり関わり、感じたり、考えたりすることができるような場を構成し、支援していきたい。低学年の発達段階では、見たとおりに描こうということよりも、自分が思ったように描く段階であると言われている。この特徴を今回の活動では大切に、子どもに適切な助言を行なうことで、子どもたち一人ひとりが意欲的に制作に取り組むだろうと考えた。

作品交流をより多く行ない、互いの作品をよく「みる」ことにより、互いの作品の良さに気づき、互いの作品を「かんじる」ことにつなげていきたい。そして、子ども一人ひとりが『思い』を膨らませ、描くことの楽しさを味わうことで、自分の作品をどのように描いていきたいのか、どのような工夫をこらしていきたいのかという「かんがえる・くふうする」という力を伸ばしていけるよう心掛け授業を進めた。

3 題材の目標

- ・ 造形への関心・意欲・態度
⇒描くことに興味を持たせ、絵の具を使った“ひまわり”制作に意欲的に取り組ませる。
- ・ かんがえる・くふうする
⇒中心になるものの迫力や色、大きさ、まわりの色など構想を練らせる。
- ・ かく・つくる
⇒心に強く感じたことが伝わるように、大きさや色などを工夫させる。
- ・ みる・かんじる
⇒自分の作品のことを伝えるさせ、また、友達作品にも関心を持たせる。

4 題材の流れ（本時7/10）

時	関	発	創	鑑	本時の目標	学習活動	評価規準	支援が必要な子どもへの手立て
1 ・ 2	○	○			ひまわりをよく観察しよう。	ひまわりを観察し、描きたい構図を決め下描き。	題材をよく観察し、意欲的に表そうとしている。	中心になるひまわりを大きく描くよう助言。
3	○	○			水の量と絵の具の量に注意して描こう。	背景を描く。	色などを工夫して、表そうとしている。	筆の使い方、水の量など必要に応じて助言。
4		○	○		茎の太さや色に気をつけて描こう。	任意で絵の具を3色選び、茎と葉っぱを描く。	筆の使い方や水の量に気をつけて、心に強く感じたことを大きさや色などを工夫して絵に表そうとしている。	友達の作品を視点を定めて見ることができるよう助言。
5		○	○	はなびらを1枚ずつ描こう。	任意で絵の具を4色選び、花びらを1枚ずつ描く。			
6		○	○	種を細い筆を使って描こう。	任意で絵の具を3色選び、種の部分を細筆で描く。			
7 本 時	○	○		○	友達との作品交流を自分の作品に生かし、工夫しながら作品づくりを進めよう。	二つ目のひまわりを描く。	友達の作品のよいところを自分の作品に生かし工夫することで、表したい感じが出るように、形や色を考え制作に取り組んでいる。	友達の作品を視点を定めて見ることができるよう助言。友達のよいところを自分の作品に生かせるよう、誰のどの部分と同じように描いてみたいのか、子どもの思いを実現するための手立てを助言。
8 ・ 9	○	○			↓	↓		
10	○			○	友達と関わり作品のよさを知ろう。	仕上げ・鑑賞		

5 本時の目標

- ・ 造形への関心・意欲・態度～ひまわりとしっかり向き合って、意欲的に制作に取り組もうとしている。
- ・ かんがえる・くふうする～自分の『思い』が伝わるように、色などを工夫して絵に表そうとしている。
- ・ みる・かんじる～友達作品の良さを認めることができる。作品のよさを見つけ、自分に生かしていく。

6 本時の展開

	子どもの学習内容	教師の働きかけ	留意点
つかむ	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○作品交流をする。</p> <p>○○ちゃんの作品は色がきれい。</p> <p>○○くんの作品は、種の描き方を工夫している。</p>	<p>○前時の学習を振り返らせる。</p> <p>○作品の良さについて子どもたちの発言を引き出す</p> <p>(みる・かんじる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品のよいところを見つけ、鑑賞した子どもの発言を認め、評価していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フラッシュカード掲示 ・ 使用する道具の準備状況も確認する。
とりくむ	<p>○本時の課題を知る。</p> <p>大きな『ひまわり』に 色を めろう！</p> <p>○使用する絵の具を自分で選び、パレットの小部屋に出す。</p> <p>何色を使おうかな。</p> <p>筆はどの太さの筆を使おうかな。</p> <p>○着色を始める。</p> <p>色々な大きさの種を描こう！</p> <p>うまくできないなあ・・・。</p> <p>ちがう色を作ってみよう。</p>	<p>○本時の課題を伝える。</p> <p>○パレットに必要な絵の具を出すよう指示する。</p> <p>何から描こうかな。</p> <p>○○ちゃんのように描いてみようかな。</p> <p>○筆の使い方、加える水の量に注意させ、活動を進めさせる。(机間指導)</p> <p>種から先に描こう。細筆で種だらけにしてみよう！</p> <p>はなびらは難しいなあ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもから出てくる思いを大切に、実現に向けて助言し、励ましていく。 (造形への関心・意欲・態度) <ul style="list-style-type: none"> ・ 着色作業など机間指導で ・ 活動中のつぶやきや発言から (かんがえる・くふうする) <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達作品の良いところを自分の作品に生かしているか。自分なりに感じたことをもとに、表し方を考えているか。 ・ 作業など机間指導で。
まとめる	<p>○本時の活動の感想を発表する。</p> <p>上手にできたよ。</p> <p>うまく色が出せなかった。</p> <p>楽しく描けたよ。</p>	<p>○本時の活動の感想を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日は楽しく描けたかな。 ・ 自分の思うように描けたかな。 <p>(みる・かんじる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品のよいところを見つけ、子どもの発言を認め、評価していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ うまく描けない子どもに対しては、筆の使い方などを支援し、その子のペースに合った活動を展開させる。 ・ 自分の思うように描けなかった子どもに対しては、次時の作品交流で助言し、表現意欲が掻き立てられるよう配慮したい。

7 活動を終えて

見たとおり、そのままかくことは低学年の子どもたちにとってはとても難しい。心を通して感じたようにかくものである。ただ、感じたとおりとんでも、これも難しい。「かいてみたけど、どうも自分の感じたこととはちょっと違う。」というように表された形と自分の気持ちのずれを子どもが感じたとき、子どもの心に響くヒントを与えると、それを受け入れ、かき直したりする。

中心になるものの迫力や色の輝きなどを考え、大きさを変えてみたり、まわりの色との組み合わせ方を変えてみたり、題材を観察した時の様子を思い浮かべたりして、自分の思いにそうように表そうと工夫することが大切である。他人に見せるのが目的ではなく、自分の心の中に感じたことをどれだけ表せるか。その心で感じたことの表

活動の様子（1）



現が他の人にも伝わっていくのだと思う。

しかし、自分のかいた作品を他人に見せることはちょっと恥ずかしい。

でも、発表するということは自分が感じたことを語り、絵をかいてきた過程の中で生まれてきたりした気持ちを伝えることである。だから、発表の時、子どもたちは話しながらさらに気持ちがふくらんでいき、それがみんなに伝わることで輝いていく。

今回の学習でも自分の作品を“見てもらいたい”“伝えたい”という気持ちを膨らませる子どもがこれまでの作品よりもたくさんいた。子どもたちが楽しく題材を向き合っていた様子がうかがえ、非常に嬉しかった。

今回の授業はひまわりを育てることから始まった。子どもたちが、それぞれ日常生活の中で体験したことから、表したいことを思いのままに表現していった。さまざまな制作活動の中で、一人一人の子どもがどこに心を動かしていたかが伝わりあう。

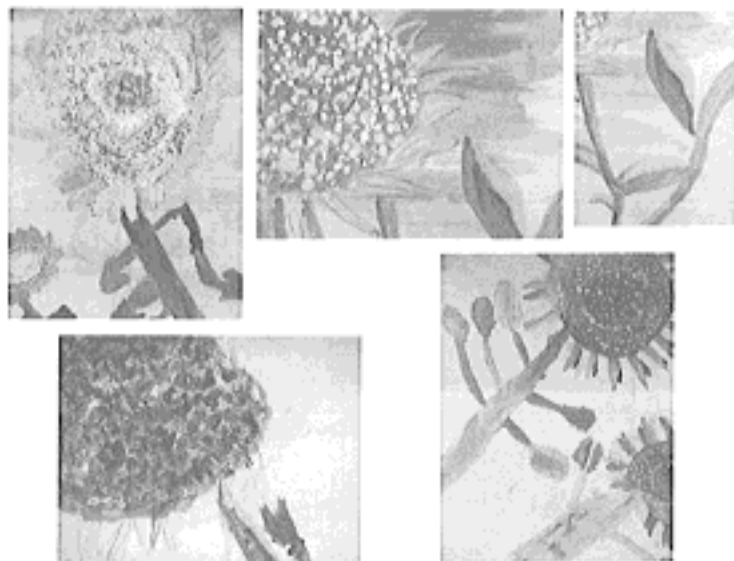
しかし、共通の体験から絵をかく場合には、安易に真似や、同じ表現になってしまわないように注意したい。一人一人のその時の気持ちが伝わるような、表現ができれば素晴らしい。

一つの活動の中で自分と友達が感じていたことのずれ違いがわかったり、友達の思いを感じ取ったりできると、ひまわりを育てた体験自体もさらに深まりをもつのではないだろうか。

活動の様子（2）



児童の作品



かくことの本分野における「楽しさ」とは、「イメージ通りにかける」ことにあると考える。そのために、学年の発達段階に応じた指導が必要であり、子どもにとって苦痛とならないよう、スモールステップで行なっていくのが望ましい。

この授業を行なうまで、低学年は「楽しく、思いのまま」にかかせるのがよいのか否かということにかなり悩まされた。しかし、子どもたちの完成作品はどれも個性があり、一人一人素晴らしい作品に仕上がったのではないと思う。

指導により、個性が抑制されるのではなく、しっかりした指導の上にその子本来のよき個性が表れ、そこをしっかり伸ばしていくことが指導者として大切なのだということを強く感じた。そしてそれを気付かせてくれた子どもたち一人一人に心から感謝したい。

「自然からのおくりもの ～流木を使って～」

指導者 国井 彩子

1 子供の実態

本学級の児童は素直な子が多い。全体的に仲もよく、学級全体で力を合わせて取り組む活動が好きである。また、色々な場面で友達の良いところを見つけられる子も多い。その一方、自分に自信が持てず、何か新しい活動をする時に、確認を求める子も多い。しかし、ほめられたり、認められたりすると、良い事に向かって前向きに取り組むことができるようになる子がほとんどである。

前題材の「校舎」の絵画で遠近感と立体感が表れるように絵を描いた。初めは、自分の表したいように表せないことで、集中して描くことができない子も多かった。ところが、描き方のポイントが分かり、それが徐々に表せるようになってくると、表情も良くなり、描くことを楽しめるようになってきた。子ども達は、自分の表したいように表せた時、とても喜んだり、満足したりするのである。

また、子ども達は立体に表すことが好きである。しかし、材料を目の前にしても、すぐには、どのようにつくればいいのかすぐに発想できない子も多い。これは、その材料でどのような作品を作れそうかがひらめかないためである。「こんな作り方ができるよ。」といくつかの具体的な手法や技法を提示してやれば、自分に合った方法を選んで制作に取り掛かり、どんどん制作に没頭していく。つまり、初めから子ども達が「作ってみたい。」という思いを持ち、しかもどのようにすれば自分の思い通りの作品を作れるかが見通しを持てるような題材選びが重要と言える。そして、もともとは作ることが大好きな子ども達が「やっぱり作るのって楽しい。」「もっと色々な物を作りたい。」という思いを感じられるようにしたい。

2 題材について

本題材では、流木を中心に身の回りの自然素材（落ち葉、木の实、小石など）を組み合わせてながら作品を作っていく。まず、様々な自然素材にじっくりと向き合うことが必要となる。そのために、その素材の持っている性質や形などの特性を感じ取り、「これは、〇〇に見えるな。」「こんな形の素材がほしいな。」というように素材を見立て、その特徴をうまく生かした制作が行えるようにしていきたい。

そこで、1時間目では、なるべくたくさんの素材を生かした参考作品を見せて、子ども達の興味を喚起し、「自分もこんな風に作りたい！」という思いを強く持てるようにしたい。また、表したいことを見つけるために、計画の段階で図や下書きをしながら構想をする。すでに集めた素材を前にしながら、その材料や用具に触れ、表したいことを見つけられるようにも配慮する。さらには、子どもが使ってみよう材料や用具などを選んで、立てた計画図と手にした素材を見比べて、配置やバランスを見直しながら制作を進めていけるようにしたい。

道具に関しては、流木の加工でのこぎりや小刀を使い、接着ではホットボンドなどの便利な道具を使うことになる。しかし、せっかく作りたい思いがあっても、道具をうまく使えないと、子ども達の思いはしぼんでしまう。そこで、道具の使い方についても、楽しんで練習できる時間を設定したり、ヒントコーナーなどを設けたり、活動中にも確認できるようにしたい。

この学習活動を通して、自然素材を活用して作品作りをする楽しさやおもしろさを感じてほしい。そして、今後、自然素材を見た時に、「これで何か作れそうだな。」「これを使って作りたいな。」という思いを自然に持てるようになればと願っている。そして、何より自分の作りたいものを作ることができた自信を、今後の作品制作の意欲につなげてほしい。



3 題材の目標

- ・作り出す喜びを味わいながら、楽しんで活動することができるようにする。
(造形への関心・意欲・態度)
- ・素材の特性を生かして、素材を選んだり、表し方を考えたり、適切な道具を選んだりすることができるようにする。
(かんがえる・くふうする)
- ・素材や道具の特性を生かしながら作品を作ることができるようにする。
(かく・つくる)
- ・素材の特性を生かす良さを知り、友達の作品の良さを見つけることができるようにする。
(みる・かんじる)

4 題材の流れ(本時 5/6) ☆は各家庭での放課後の活動である。

時間	児童の活動の様子	○教師の関わり (◎評価規準と方法)
☆	○素材集めをする。	○流木などの素材集めをするよう呼びかける。 ◎色々な自然の素材を集めてきている。 (関心・意欲・態度～素材)
1	○様々な素材の特徴を生かして作った作品を鑑賞し、作品作りへの意欲と見通しを持つ。	○自然素材を使って作った作品を数多く見せることで、作品作りと素材収集への意欲を喚起する。 ◎様々な作品を鑑賞し、自分も作ってみたいという思いを持つことができる。 (関心・意欲・態度～観察)
☆	○素材集めをする。	○児童の集めづらい流木やつるなどをたくさん集めておく。 ◎自分の作りたいものの見通しに合った素材を集めてきている。 (関心・意欲・態度～素材)
2	○集めた素材を見ながら、どんなものを作るか計画を立てる。 ・素材の見立て ・必要な素材や道具	○児童と共に素材を見立てたり、必要な材料への助言を与えたりする。 ◎素材の特性を考えて作りたいものを考えている。 (かんがえる・くふうする～観察・計画カード)
3	○流木や小枝を使って、道具の使い方を楽しみながら練習する。 ・小刀でけずろう。 ・のこぎりで切ってみよう。 ・ホットボンドを使ってみよう。	○道具の正しい、安全な使い方を教える。 ◎小刀、のこぎり、接着の仕方を知り、加工することができる。 (かく・つくる～観察・行動・作品)
☆	○素材集めをする。	◎自分の作りたいものの計画に合った素材を集めてきている。 (関心・意欲・態度～素材)
4 5 6	○素材を生かして、道具を工夫しながら作りたいものを作る。 ・素材を見立てる。 (流木、落ち葉、木の实など) ・素材をうまく組み合わせて作りたいものを作る。 ○できた作品を友達と見せ合う。	○ヒントコーナーを設けたり、児童同士の学び合いの場を設けたりしながら、素材や道具の特性を生かした作品制作ができるように配慮する。 ◎素材や道具の特性を生かして、組み合わせを試したり、制作したりしている。 (かく・つくる～観察・行動・作品) ◎自分の作りたい作品になるように、色々な素材や道具を選んで、制作活動を進めている。 (かんがえる・くふうする～観察・作品) ◎素材の特性を生かして作っている作品の良さを見つけあう。 (みる・かんじる～観察・カード)

5 本時の目標

- ・素材や道具の特性を生かして作品を作ることができる。(かく・つくる)

6 本時の展開 (5/6)

学習活動	○教師のかかわり (◎評価規律と方法)
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>～課題～ 素材の持ち味を生かして、工夫した作品を作ろう</p> </div>	
<p>①前時に作った友達作品を見ながら、課題と制作の進め方を再確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材の確認 ・道具の扱い方の確認 ・制作の確認 <p>②流木に他の自然素材を組み合わせて作っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画カードを見たり、素材を見たりしながら、素材を組み合わせていく。 ・流木や小枝は小刀やのこぎりで加工する。 ・より美しく見える接着方法を考えて、素材を組み合わせる。 <p>③本時の振り返りをし、次の活動に見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足りない素材があれば、集める計画を立てる。 	<p>○課題に向けて安全にスムーズに制作できるように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の制作で困ったことを聞き、友達同士アドバイスし合ったり、対処法を教えたりする。 ・素材の特性を生かして作っている友達作品や道具の使い方の良さを気づけるよう促す。 <p>○作品や制作の進め方の良さを賞賛し、活動の意欲を喚起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、計画を見直しながら制作できるよう助言する。 <p>◎ 素材の特性を生かして、組み合わせを試したり、制作したりしている。 (かく・つくる～観察・行動・作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小刀やのこぎりの扱いは前時に扱っておくが、必要に応じて助言する。 ・道具の使い方などの参考になるヒントコーナーを設けておく。 <p>◎ 道具の特性を生かして、素材を加工することができている。 (かく・つくる～観察・行動・作品)</p> <p>○ 本時の活動を賞賛し、次時の活動を予告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材の特性を生かして作り進めることができた作品を紹介する。 ・アドバイスを受けた作品の出来映えを確認する場を設ける。 ・次時に道具や材料の不備がないように助言する。

7 活動を終えて

本題材に入るにあたって、約1ヶ月前に、流木や小枝、木の実や貝がらなどの素材集めをするように呼びかけた。しかし、具体的な制作のイメージが持てない段階であったため、わざわざ出かけて集めて来る子はごく一部であった。

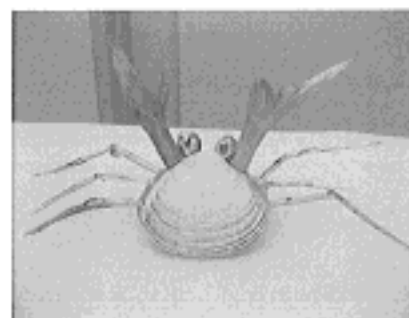
1時間目に様々な自然素材の特徴を生かして作った多くの作品を鑑賞した。「これ、動物に見える。」「これは、「都会の夜」っていう作品名が合うな。」と、作品を楽しんで鑑賞した。すると、「こんな風に作りたい。」「自分で流木拾いに行きたい。」「これじゃあ、全然材料が足りない。」と、制作意欲と素材収集意欲が高まった。数日後には、素材を集めている箱が流木などであふれ返った。

2時間目の計画では、たくさん集まった素材を手にして、「これ、鳥に見える。使いたい。」「この流木いい！これで作りたい。」「これは、波。」「ほくは、カブトムシ作る。」と、目を輝かせて、素材を机の前に並べる子が多かった。そして、そこから広がったイメージを元に、計画を立てた。作品鑑賞をしてふくらんだ思いを生き生きと図や言葉で書き表す子が多かった。

3時間目は、作品制作の前のこぎりや小刀などを使う練習をした。物作りでない、単なる練習であったのに、子ども達は道具を使うこと自体を楽しんでいた。「早く作りたい。」と、さらに創作意欲を増す子もいたほどである。

4～6時間目は、1時間ずつ、間に日をおいて3時間行った。毎時間のはじめは、自分が制作で困ったことに友達からアドバイスをもらうようにした。また、制作の途中で素材不足に気づいた子は、また拾ってきたり、素材ボックスから探したりして制作を進めた。道具の使い方を練習した成果があり、加工の仕方困っている子は少なかった。はじめは、教師の示した作品例に似た作品を作ることを計画した子も、たくさんの自然素材や友達の様々なアイデア作品に触れる中で、自分なりのアイデア作品を作ることができた。また、一度切った流木が短いことに気づいてホットボンドをうまく使って、もとの長さに戻した子もいた。兵隊の足を作るのに、同じ形が見つからなくて困っていた子は、友達のアドバイスを受けて、もう一つの足を自分で加工して作った。どの子も試行錯誤を繰り返しながら、作ることそのものを楽しんでいるようであった。

今回の題材では、①たくさんの自然素材 ②道具の使い方の練習 ③交流の場 などが機能し、満足する作品を作り上げることができた子が多かった。「作るのって楽しい。」「もっと兵隊を増やしたい。」「次は、人を作りたい。」など、作り出すことを喜び、今後の活動への意欲につながられた子もいた。しかし、中には素材の良さを十分生かし切れない子もいたので、自然素材を使った制作を繰り返し体験させてみたい。また、子ども達は自分の思いを形にする楽しさを感じられたようなので、友達と思いを寄せ合って制作する楽しさも感じられるような構想も今後工夫していきたい。



本作品を作った児童は、2学期の生活のふり返りカードの「2学期に一番心に残ったこと」という項目に、本題材の“流木を使って”を選び、「思ったよりうまくできたからうれしかった。」と記述した。

「動くよ動く絵が動く」 ～世界に1つだけのアニメーション～

指導者 亀岡 朗子

1 児童観

当学級は「かくこと」「つくること」を好む児童が多く、機能的なデザインを施した工作や工夫を凝らした掲示物が教室中に溢れている。また休み時間も絵を描いて過ごす児童が多く、最近では4コママンガの制作に興味を持つ児童が増えてきている。そのことは同時に、統一されたキャラクター設定のもと、時間の経過や人物の動作を捉えた描写が5年生の段階において可能だという見解を持つことができる。

しかし、今まさに思春期に入り美意識が備わってきた段階で、図画工作科の授業においては「自己表現」すること、特に絵で表すことに自信が持てず、描き始めの一步がなかなか踏み出せない様子が数名の児童に見られる。また、「とりあえず完成させる」ことを自己の目標にしてしまいがちで、つくりながら「みる」、また完成させた作品を「みる」という活動を自主的に行うことが出来ない児童もいる。「できた!」という満足感や達成感や、「いいね!」という自己評価や他者評価は【みる・かんじる】活動が前提にある。児童が自主的に【みる】→振り返る→【かんじる】活動を行えるように、題材や展開を綿密に設定していく必要がある。

2 題材について

本題材は、「ゾートロープ」と呼ばれる筒型の装置の内側に少しずつ変化させながら描いた10枚の絵を同じ間隔で配置し、筒を回転させながら絵と絵との間のスリット（切り込み）から内側の絵を覗くことによって「残像現象」を体験し、自身で描いた絵が動く楽しさを味わうことができる題材である。参考作品を「みて」、動きを「かんじる」ことによって、児童はなぜ絵が動くのか「かんがえる」。そして、そこから動く絵の仕組みを導き出し、「くふう」しながらつくる活動につなげていく。

また、作りだした成果がスムーズに動くのか確認することによって更なる「みる」につなげていく。児童間での「できた!」「いいね!」のコミュニケーションが自然発生し、「つくる喜び」「感動する心」をつなげていくためにも有効な題材であるといえる。

絵の変化によって動きが感じられるようにするためには「位置の移動」「形の変化」「数の変化」「背景の移動」「大小の変化」などの要素が必要とされる。そこで、これらの要素を1つに限定して表現し作例をできるだけ簡潔な形で制作しておき、児童が常時鑑賞できるようにする。これによって「絵の動き」をいつでも体験できるようにし、【かんがえる・くふうする】につなげていく。

また、活動の中で感じたことや思いついたアイデアなどを言葉で記述したり、イメージデッサンをかき留めておくことを繰り返すことによって、児童はよりよい作品の完成に思いをはせていく。そこで、計画を立てたり活動内容の振り返りができるワークシートを活用し、児童が自分なりの成長を確認していくことによって造形への意欲、関心、態度につなげていく。

3 題材目標

- ・ 絵が変わって動いていく楽しさを味わおうとする態度を育てる。 (造形への意欲・関心・態度)
- ・ 自分が表現したい「変化の要素」に視点を持ちながら参考作品や友だちの作品をみて、その経験を生かそうとすることができるようにする。 (かんがえる・くふうする)
- ・ 次々と落ちながら変化していく絵を、スムーズな動きが感じられるようにつくることができるようにする。 (かく・つくる)
- ・ お互いの作品のよさを味わい、表現の違いなどを話し合うことができるようにする。 (みる・かんじる)

4 題材の流れ (本時 3/4)

児童の活動の様子	教師のかかわり・指導のポイント
<p>○①～⑤の「動く絵」を、楽しみながらみる。</p> <p>○なぜ絵が動いて見えるのか、10枚の絵がどのように変化しているのかなど、「動く絵」の仕組みを考え、自分で気付いたことや友だちと交流して気づいたことをワークシートに記入する。</p> <p>○表現媒材となるOHPシートの活用方法を知る。</p> <p>○スムーズな動きが感じられるように1枚目から10枚目までの絵の違いを考えながら、「動く絵」の構想をワークシートにイメージデザインしたり、物語の展開を記述したりする。</p>	<p>○「①位置の移動」「②形の変化」「③数の変化」「④背景の移動」「⑤大小の変化」それぞれの動きが感じられる10枚の絵とゾートロープを班ごとに用意し、児童一人一人が「動く絵」をじっくりみて、楽しむことができるようにする。</p> <p>○児童がみてわかりやすく、面白い動きをする参考作品を提示することで「自分の絵も動かしてみたい!」という気持ちを喚起する。</p> <p>○班を編成し5種類の「動く絵」を班の中でまわしながらみることで気付きを共有し、伝え合えるようにする。</p> <p>○順番が1つ前の絵の上にOHPシートを重ね、動きを表現するための見当をつける技法を紹介し、参考作品の10枚のOHPシートに描かれた絵を順番に重ねさせたりしながら確認する。</p> <p>○構想を絵で描き表したり、言葉で記述したりできるワークシートを用意し、表現したい思いや発想したことをいつでも確認できるようにする。</p> <p>○限られた枚数の中で動きを表すにはどうしたらよいか問いかけ、参考作品をみることを促したり、個に応じて支援する。</p>
<p>本時・4/4</p> <p>○友だちと作品を見せ合う中で、自分が表現しようとしている「変化の要素」に視点を持ち、そのよさや違いを伝え合う。</p> <p>○スムーズな動きが感じられる作品にするために、「みて」「確かめて」「つくる」を繰り返す。</p> <p>○参考作品や友だちの作品のよさなどが、自分の作品に生かせるか考える。</p> <p>○制作の途中で何度も絵の動きをみて、繰り返し確認しながらつくる。</p>	<p>○班の中で作品を見せ合う中で、自分が表現しようとしている「変化の要素」に視点を持ち、お互いのよさや違いを言葉で伝え合いながら制作を進めていけるように、①～⑤の「変化の要素」が同じ作品を制作した児童同士で班を編成する。</p> <p>○スムーズな動きをうまく表現できない児童には、同じ要素で制作している児童の作品を紹介する。</p>

5 本時の目標

- 自分が表現しようとしている「変化の要素」に視点を持ち、友だちの作品からよさや違いを感じ取ることができる。 (みる・かんじる)
- 自分が表現しようとしている「変化の要素」に視点を持ちながら友だちの作品などをみて、そのよさや違いを作品に生かそうとすることができる。 (かんがえる・くふうする)

6 本時の展開

主な学習活動	教師のかかわり
1. 「きょうのずこう」を確認し、活動内容や活動時間を把握することができる。	○活動内容と活動時間を記述した「きょうのずこう」を掲示し、見通しを持って制作を進められるようにする。
2. 「できるよ、すばらシート」を活用し、前時に残した課題の確認や、本時の活動目標を記入することができる。 ・○枚目まで描く ・色鉛筆で色を塗る など	○前時に記入した「できるよ、すばらシート」の確認を促し、本時の活動を有意義にするための目標を設定できるようにする。
3. 同じテーブルの作品を自由にみながら、友だちの作品のよさを味わい、友だちの作品の表現で参考にしたいことや、自分の作品の表現で困っていることなどを言葉で伝えたりすることができる。 「この動きがとてもスムーズだね」 「○○から△△に変化するアイデアがすごいね」 「どうしたら□□□を上手に描けるの？」	○「変化の要素」が同じ作品を制作している児童同士で班を編成し、5つそれぞれの「変化の要素」に視点をもってお互いの作品をみせ合い、よりスムーズに動いているように感じさせる表現について言葉で伝え合う活動をするように指示する。
4. 作品からスムーズな動きが感じられるように、友だちの作品をみた経験を生かすことができる。 「△△くんの絵がだんだん大きくなっていくように見えるのは、○枚目と□枚目の間にもう1枚絵があるからなんだね」	○班での交流で気付いたことやアドバイスを自分の作品に生かすことができず、制作が停滞している児童には、どのように表現したいのか問いかけながら、個に応じた具体的な助言をする。
5. 次々と落ちながら変化していく絵を、繰り返してみ、動きを確認しながらつくることができる。 「○枚目までつくったらもっと動いて見えるかな」 「○枚目と◆枚目の間にもう1コマいれたらもっとスムーズに動いて見えるかな」	○スムーズな動きが感じられるようにするために、自分が表現したい「変化の要素」に視点を持ちながら「動く絵」を繰り返してみることを促す。 ○スムーズな動きをうまく表現できない児童には、同じ要素で制作している児童の作品を紹介する。
6. 今日の活動をふり返り、自分の作品のどんなところがよくなったか自己評価したり、次回どんなところをよくしたいか課題を見つけ、「できるよ、すばらシート」に記入することができる。 「○枚目まで描いたら動いて見えるようになった」 「△△くんのを参考にしたら面白くなった」 「次回は□□がよくなるようにしたいな」	○本時をふり返ることで次回の活動への意欲を喚起できるように、活動において頑張った点や次回頑張りたい点を記入するように促す。

7 活動を終えて

教科書題材では「アニメーションボックス」という作例が紹介されており、本教材においても、当初はこのキット教材を用意していた。しかし、箱の制作や装飾などの「工作」要素をあえて無くして、児童の活動をアニメーション制作そのものに集中させるために、簡易なゾートロープ装置（スリットを入れた筒



型の黒画用紙を陶芸用の手回しろくろに載せたもの）を用意し、児童の描いた絵をこれで「みて」確認しながら「動く絵」をつくる活動を学習の中心に据えた。

児童はアニメーションの原理を説明によって理解でき、テレビのアニメ番組や映画が同じ原理によるものであることも理解していたが、それでもなお、児童は目の前で起きている「絵が動く」という現象に強い関心を示した。動画の原理に触れる直接体験は、アニメーションや映像に慣れ親しんだ児童であっても、新鮮なものであったようである。また自分の手によってアニメーションを作ることができるという点は、児童の表現意欲を刺激した。



アニメーションの制作は、連続的に漸次変化する10枚の絵を構想するところから始まった。そして児童はワークシートにアイデアやスケッチをかきこみながら、絵の動きが一つ

つの物語として完結するように構想を練っていった。動く絵の要素として、「位置の移動」「形の変化」「数の変化」「背景の移動」「大小の変化」を例示し、自分の描こうとする絵の動きがどのような変化によるものなのかを意識させた。



次に、児童は10枚の透明フィルムに下絵を油性ペンで書き写していく。透明フィルムの使用には、下絵のトレースだけではなく、前後の絵を重ねて見ることで、絵の変化や動きの様子を確認する目的

があった。この効果は非常に高く、フィルムを重ねて変化を確認しながら円滑な動きになるように制作することができた。

10枚の透明フィルムをおおむね完成させた児童は、これを帯状の紙に順次はりつけ、ゾートロープの内壁に装填して回転させて動きを確認した。児童は円滑な動きが得られるまで描き直し、さらに動きにあった彩色を施した。ゾートロープは学習班ごとに用意してあり、さらにどの方向からでも動画を確認することができるので、ひとりの児童の作品を皆で同時に見て感想を言い合ったり、課題を指摘しあったりする学習活動を展開することができた。

児童の学習を装置に装填する連続した絵の制作活動に集中させた結果、児童はアニメーションの原理を確かめながら、自分が思い描いた動きや色彩に近づける活動に時間の大半を充てることができ、修正を加えながら表現を洗練させていくことができた。当初設定した目標は概ね達成されたと考える。児童の興味は、単に絵を円滑に動かすという点ばかりにあるのではなく、絵の動きを一つの物語として完結させることにも向けられていた。10枚の絵によって生じる動きは時間にすると一瞬だが、その一瞬の絵の動きの中に、児童が描きたいモチーフや世界が表現されている。フィルムに描かれた絵を見ると、ゾートロープで動かして見る際にはさして効果として現れないような部分や、省略できるような部分にまで丹念な描き込みや彩色がほどこされている。児童の活動はアニメーションの原理を確認するという学習目的の達成ではなく、自分自身の動く絵の世界を「かんがえる」「くふうする」を繰り返しながら自らの手で表現することを指向していたと言えるだろう。

「つくって遊ぼう」

(低・ふたつでひとつ) (中・コロコロ迷路) (高・ゲートをぬけてゴールイン)

指導者 日野道子

1 子どもの実態

本校は全校児童8名の極小規模校のため、図工は全校で行っている。全学年で同じ題材に取り組む場合や、場所や材料が同じでも学年によって違う題材に取り組む場合がある。学年別の題材を扱っているときは指導の重点を時間差でずらしながら進めていく必要があるため、授業の組み立てという点で難しい部分もあるが、基本的に個に応じた指導を行うため全学年合同で図工を行うことは十分に可能である。

全学年合同授業の有効な点は、低学年が上級生の準備や片付け方を見て、それを真似していくこと、下級生が上級生の作品を見て「自分なら来年はこんなふうに作りたいな」と展望をもてることなどがある。しかも、本校の子ども達は学年に関係なく交流することができるので、活動中や鑑賞の時間でも「すごいね」「この色にしたら？」などと意見を言い合い、お互いに良い刺激になっているようだ。

一方、外遊びや家業(昆布漁)のお手伝いで入学まで造形遊びの経験が少ないこと、以前は低学年に合わせた題材を全学年で行っていたことが原因となり、学年相応の表現力が身につけていない児童もみられるという課題もある。

私は、全学年合同授業のよさを生かしながらも学年に応じた学習内容を組み立てていくことで、子ども達一人ひとりの創造力を高めることができ、子ども達相互でよい刺激を与え合い、互いの自信にもつなげている。

2 題材について

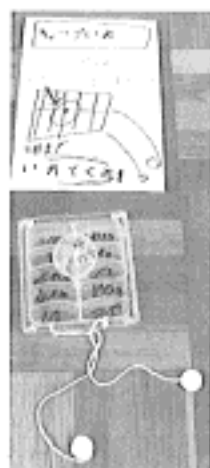
3つの異なる題材を並行して行う活動だが、使用する材料は同一で、身近材料(空箱、ダンボール、プラスチックゴミ、わた、モールなど)を用いた。接着には、木工用接着剤やセロテープ、ガムテープを用いた。

これらの材料を組み合わせ、低学年はけん玉のように遊べるおもちゃをつくり、中学年はビー玉を転がす立体的な迷路をつくり、高学年は様々なゲートを含む迷路をつくった。

学年によって構想力や創造力が異なるため、つくるものは各学年の学習内容に応じて分けたが、最後に作品で遊ぶときはみんな一緒に楽しめる。全学年合同授業のよさと学年に応じた内容の取り組みを兼ねることができると思い、本題材を設定した。また、本題材では、つくりながら思いついたことを作品に取り入れていくことが期待される。しかも、異なる題材から見つけたおもしろさを自分の作品に生かすこともできるかもしれないという、期待と楽しみも私にはあった。つくりながら子ども同士が関わることが、制作にどう影響するのかに着目して指導を進めた。



↑ 写真B



↑ 写真A



↑ 写真C

【写真A】1年男子の作品「キャップいれ」

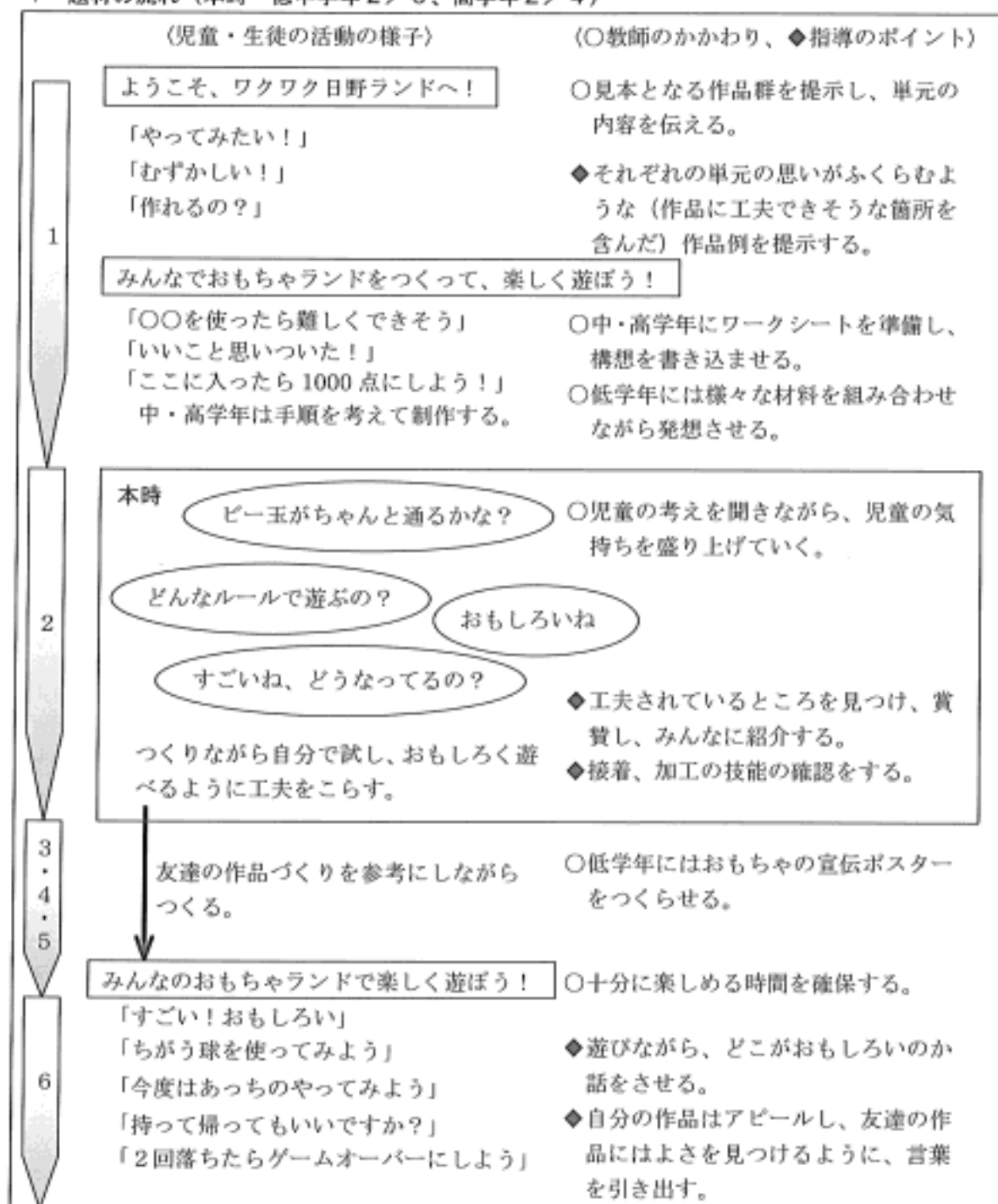
【写真B】4年女子の作品「コロコロ迷路」

【写真C】5年女子の作品「ゲート迷路」

3 題材の目標

- ・ わくわく・やってみたい（造形への意欲、関心、態度）
 - 導入を工夫して、楽しく遊べるおもちゃづくりのアイデアをふくらませる。
- ・ かんがえる・くふうする（発想・構想の能力）
 - ワークシートを活用し、つくりたいおもちゃの構想を練らせる。
- ・ かく・つくる（創造的な技能）
 - 素材や道具に着目させ、児童のつくりたいおもちゃに合った表現方法を工夫させる。
- ・ みる・かんじる（鑑賞の能力）
 - 友達といっしょに自分達の作品で楽しく遊ぶことで、作品のよさや工夫を共有させる。

4 題材の流れ（本時 低中学年2／6、高学年2／4）



5 本時の目標

- 【低学年】仕組みを工夫しながら、楽しいけん玉をつくり出そうとしている。(創造的な技能)
- 【中学年】楽しく遊べるような様々な工夫を取り入れてつくっている。(創造的な技能)
- 【高学年】材料の特徴を生かした組み合わせ方や加工、接着などを工夫している。(創造的な技能)

6 本時の展開

主な学習活動	○教師のかかわり、◎評価の規準と方法
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">(低) 材料をいろいろ組み合わせて、楽しいけん玉をつくろう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">(中) ビー玉を使って、楽しく遊べる立体迷路をつくろう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(高) 材料の使い方を工夫して、ゲートを利用した迷路をつくろう。</div>	<p>○学年ごとに学習課題を確認する。</p> <p>○用具置き場、材料置き場の使い方を説明する。 「それでは、はじめましょう！」</p> <p>「友達の手伝いしているところを真似してもみて もいいですよ」</p> <p>○子ども達がどんなことを考えながらつくっているのか、一人ひとりに質問しながら巡視する。</p> <p>「どうしてこの材料を使ってみたの？」 「むずかしすぎないかな？やってみた？」 「ビー玉はどこを通過してどこに行くの？」 「どこから作り始めようか？」 「カーブのところはダンボールをどっち向きに 使ったほうが良いと思う？」 「丈夫にするには、何が必要なのかな？」 「おもしろいこと思いついたね」 「ていねいにやってるね」</p> <p>○子ども達の工夫を賞賛し、他の子達に紹介する。</p> <p>◎ (観察、質問)</p> <p>【低】材料の形や質感を生かして組み合わせてお もちゃ作りを工夫している。</p> <p>【中】ビー玉が転がるおもしろさを考えて、迷路 を工夫している。</p> <p>【高】材料の特徴を生かして、加工したり接着し たりしている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の使う材料を集め、つくりたいものになるように作り方を考えてつくる。 ・友達の手伝いの様子をみて、いいところを真似する。 ・つくりながら、途中で遊べるかどうか試してみる。 ・材料の形や質感をゲームに生かして工夫する。 →おわんの形 →棒の形 →ダンボールの波型 →布ガムテープのやわらかさ →綿や梱包材の弾力性 など <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;">へこんでいる所に 入るようにしよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">こっちの方が曲げや すいな</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px; margin-top: 10px;">大きさを点数で 分けよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">この中を通る ようにしよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">壁を作りたいけど、どの紙を使った 方が丈夫かな…？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・後片付け ・道具や材料はもとの場所に返す。 ・テーブルの上、床のそうじをする。 ・図工カードに今日の学習のふりかえりを記入する。 	

7 活動を終えて

活動内容が3つに分かれているので、指導にあたる私は非常にせわしない感じだったのは否めない。しかし、子ども達は、一つの場所で違った活動をしていても、自分の取り組みに集中できていて、複式校ならではの自学体制が定着していると感じさせられた。

もちろん、違った活動内容をやっている友達の様子は気になるようで、子ども達は自分の活動がひと段落したら他の学年の様子を見て歩いていた。「今度、これ作ってみたいな。」「早く遊びたいな。」など子ども達の声が飛び交い、互いの創造意欲の向上にもつながっているのではないかと思えた。

高学年は、自分の作品の工夫したところを内緒にしておきたかったようだ。完成したら、みんなを驚かせてやろうと考えていたのだ。だから、作っている間自分からは公表しなかったが、作品自体は誰でも見ることのできる場所に設置されているので、高学年のダイナミックな作品の様子が気になる他の学年の子達は、休み時間などを利用して作品の仕組みを観察していた。

このように、子ども達同士で制作活動を見せ合い、言葉を掛け合い、真似し合うという姿が自然な形で行われていた。全学年で同じ題材に取り組む以上に、より工夫の幅が広がっていたようにも思えた。子ども達は学年ごとに異なる課題に取り組んでいても、互いに影響し合い、自分の作品づくりに置き換えて生かしていくことができるということがわかった。

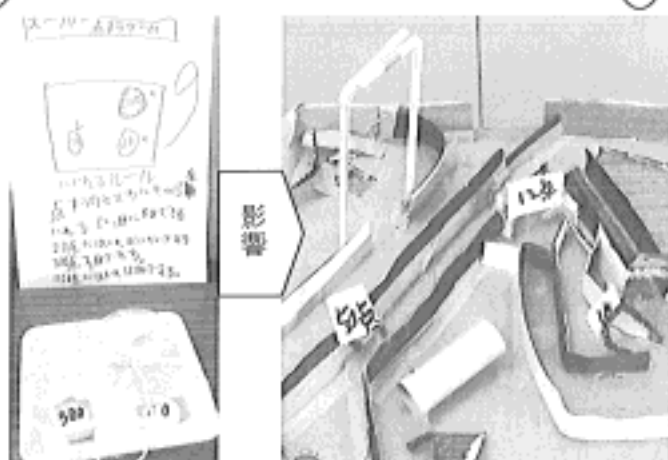
下級生が上級生の様子を見て真似をするのはおおかた予想できるが、上級生が下級生の作品からよさを見つけて自分の作品に生かしていけることも、今回子ども達がつくっている様子から発見できた。上級生だから優れているのではなく、みんな一人ひとりにそれぞれのよさがあって、年齢や性別に関係なく影響しあえるということを実証してくれた単元だった。図画工作のねらいともいえる、人間らしい感性が、全学年合同授業を通して育まれているのではないかと感じた。



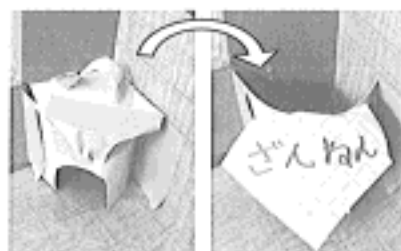
何作ってるの？

おもしろそう！

異学年の様子を見ながら、ひらめくことも。



↑低学年「けん玉」 ↑中学年「コロコロ迷路」
通過点に点数をつけて、得点を争う迷路にしている。低学年の作品のルールを参考にしていた。



高学年「ゲート迷路」↑



中学年「コロコロ迷路」↑

高学年の作品のおもしろいところを中学年の作品の中に取り入れた。門をくぐる所も特徴的だ。

I 生徒観

授業学級は、全体的に明るく、前向きな態度で美術の授業に取り組む生徒が多い。これまでの美術科の授業実践の全てで「言葉を介し他者とかかわり合う場面」を設定し、生徒間相互の「学び合い」を保障してきたことで、相互交流で「見方や考え方」を深めることが定着しつつある。学習前に実施したアニメーションに関する意識調査では、「アニメーション制作に興味がある」と答えた生徒は20%以下という低い数値を示したが、「バラバラマンガをつくったことがある」と答えた生徒も半数以上おり、アニメーションの原理について体験的に理解している生徒が多いと思われる。本題材においては共同制作の形をとる。個人の作品が全体を構築するためのパーツとなり、それが連続させていく中で、他者とかかわり合いが生まれユニットを形成して行く。そしてユニットが連結されて一つの映像作品となった時、個人だけではえることのできない創造の喜びを獲得させることができると考えた。

II 授業にあたって

本題材は、アニメーションの個人制作による視覚伝達を基本としながら、学級の生徒全員の想いを、メタモルフォーゼ（変形）による「しりとリ」アニメーションとして一つにつなぐ共同制作である。本来静止しているはずの作品に「生命感」や「躍動感」等を表現することが、美術の大きなテーマの一つであるが、アニメーションの制作を通して、「映像メディア表現」の基本単位である「動画」の原理を体験的に理解し、映像表現にかかわる直観力を高め、創造の喜びや豊かさを追究し、新たな自己を表現することを目指すものである。従来の「視覚伝達デザイン」と比べてもより「リアルな動き」や「発想や構想における動きの工夫」、「個性的な表現の豊かさ」等を追究できるものと考えている。

また、作品のフォーマットを共同制作とすることから、独創的や個性的なリアリティやディテールを追求するとともに、生徒間の相互人間理解や調和・統合的な集団の高まりを目指したい。

III 指導計画と評価の観点（7時間扱い）

時間	主な学習活動	評価規準
1	○オリエンテーション① ○資料作品の鑑賞 ○アニメーションの原理の理解 ○バラバラマンガ制作	○ 意欲、関心を高めながら、資料作品を鑑賞し、感想を言葉で表すことができる ○ アニメーションの原理を理解してバラバラマンガを制作することができる
2	○相互鑑賞会・相互評価	○ 他者の表現のよさを、言葉にして表すことができる
3 時	○オリエンテーション② ○資料作品の鑑賞 ○モチーフの決定	○ 意欲、関心を高めながら、資料作品を鑑賞し、感想を言葉で表すことができる
4	○原画の制作 ○前後の生徒と原画の交流	○ イメージを膨らませて、自己の原画が他者の原画に変化するアイデアを練ることができる

5	○動きのアイデアスケッチ ○動画の制作	○ ○「動き」を知覚できる仕組みを手順よく制作する
6	○中間評価 ○完成した作品を撮影し、デジタルデータに変換	○相互評価で明らかになった改善点を修正し、手順よく制作することができる 生徒が PC に保存したデータを動画作成用のアプリケーションで編集し、DVD に保存する
7	○編集された作品の鑑賞 ○自己評価とともに、相互評価も組み込みながら、本題材全体を振り返る	○互いの作品のよさを言葉にして伝え合うことで、共感的な相互理解を深めることができる 生徒の各家庭における、作品の上映、家族鑑賞会を実施し、家族の評価コメントを記入して、ポートフォリオを完成・提出

IV 本時の展開

(1) 本時の目標

○しりとリアニメーションの意義を把握し、意欲的に他者と関わり合いながら取り組むことができる。


【関心・意欲・態度】

○「動き」のイメージを膨らませて、自己の原画が他者の原画に変化するアイデアを練ることができる。

【発想・構想】

(3) 本時の展開

学 習 活 動	主な働きかけ・手立て・【評価方法】	備 考
1 既習事項を確認することができる。	○アニメーションの「動き」の要素を発表しよう。 ・上下、左右 ・拡大、縮小 ・数の増減 ・手前、奥（前後） ・回転 ・色彩の変化 ・形状の変化 ・視点の移動 等 【発表】	◇UD ファイルの配布
2 資料作品を鑑賞し、アニメーションによる表現に関心を高め、感想を言葉で表すことができる。	○今から、あるアニメーション作品を鑑賞します。 ○作品から受けるイメージや全体的な感想を書きましよう。(3分) 【UD ファイル・観察】 ○同じ作品をもう一度鑑賞しますが、今度はどのような「動き」の要素が取り入れられているか着目しましょう。【UD ファイル・発表・観察】(2分)	◇資料作品 VTR ◇TV モニタ ◇DVD プレーヤー
3 本時の学習課題の把握することができる。	○本題材の課題であることを提示	◇フラッシュカード
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「しりとリアニメーション」で「みんなの想い」をつなげよう しりとリアニメーションを制作しよう【下位課題】</p> </div>		

<p>4 しりとりアニメーションの原理を確認することができる。</p>	<p>○しりとりアニメーションの資料作品を提示</p> 	<p>◇資料作品スライド</p>
<p>5 モチーフを決定し、その形状の特徴を言葉にすることができる。</p> <p>6 前後の生徒と原画を交流し、形状の特徴などを言葉で伝え合うことができる。</p> <p>7 動きのアイデアスケッチをすることができる。</p>	<p>○それでは、自分のモチーフを決定して、交流用も含めて2枚書きましょう。</p> <p>○モチーフが決まった人は、取り上げやすい形状の特徴を伝えられれば、次の生徒がメタモルフォーゼしやすいため、形状の特徴を言葉にしてUDファイルと付箋に書きましょう。【UDファイル・】(5分)</p> <p>○しりつりの順序は、出席番号順に男子の1番⇒女子の1番⇒男子の2番というようにします。</p> <p>休んだ人の分は〇〇として下さい。</p> <p>○自分は、次の人のモチーフに変わる1コマ前までの動画を作成することになります。また、自分のモチーフの1コマ前までの動画を前の人に作成してもらうことになります。一人の作成枚数は12枚程度を目安とします。</p> <p>○それではまず女子が男子に自分のモチーフを紹介して、形状の特徴が書かれた付箋を渡して説明してください。【UDファイル・観察】(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形状変化に着目することを確認 ・形状変化のポイントを言葉で交流する <p>○次に男子が女子に・・・</p> <p style="text-align: center;">【UDファイル・観察】(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっきのペアとは違うパートナーになります <p>○前後の交流で、相手のモチーフとその特徴が分かったと思います。各自イメージを膨らませて、自己の原画が他者の原画に変化する過程のアイデアスケッチをしましょう。</p> <p>○アイデアスケッチが終わった人は、アイデアを生かす要素を言葉にして表してみましょう。</p> <p style="text-align: center;">【UDファイル・観察】</p>	<p>◇机間指導による停滞状況の解決への手立て・見通し</p> <p>◇付箋の配布</p> <p>◇欠席の人数によって、対応は変える。</p> <p>◇机間指導による停滞状況の解決への手立て・見通し</p> <p>◇L層同士や交流活動が不得意な生徒同士がペアになり交流が停滞している場合は、介入する。</p> <p>H・M層の交流が終了している場合は、援助させる。</p> <p>◇「動き」の要素の再確認</p>
<p>8 今日の活動を振り返りながら、次の時間に向けて目標を更新することができる。</p>	<p>○今日の活動を振り返っての反省と、次の時間に向けての目標を各自更新しましょう。</p> <p style="text-align: center;">【UDファイル・観察】</p> <p>○本時の活動の「価値のリード」を話して終了する</p>	<p>◇表現目標と行動目標の確認</p> <p>◇価値のリード</p>

V 活動を終えて

本題材の実践は、個人のアニメーション制作と学習集団による共同制作、完成作品の鑑賞の3つを柱とした。学習集団の風土等に左右される場面もしばしば見られたが、総合的に生徒個人にとっても、その所属集団にとっても有意義かつ興味深い題材となったのではないかと考えている。

フェナキスティスコープやゾートロープでは、映像装置の制作も制作過程に含まれ、本来の動画そのものの面白さの追究とは違う要素が動画の完成度を決定する側面があった。また大規模校であるほど、作品の保管と評価に苦勞した経験がある。CGによるアニメーション制作では、PCやソフトの操作スキル獲得に時間がかかり、CGで表現はできたが動画自体の工夫は稚拙なものになる傾向が見られていた。それらのような過去の実践の課題を克服できるような題材設定を考えた結果、本題材の実践となった。

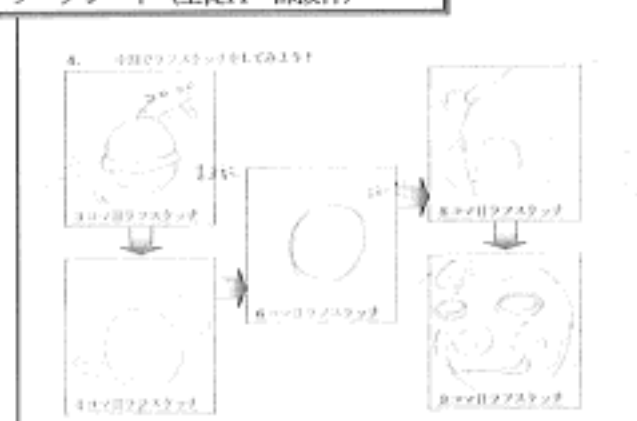
自らの作品が動く（動いて見える）ということは、正に美的感動を伴うものである。本題材における実践では、しりとり形式によるアニメーションの共同制作がテーマであったため、変形（メタモルフォーゼ）を制作の条件としたが、様々な要素を組み込む生徒も多数見られ、生徒たちが意欲的かつ能動的に取り組むことができていたと思われる。また、最低枚数を設定しながら、完成度を高めるためにその枚数を増やしていくことで、生徒間の進捗の問題が解消されたのではないかと考えている。

映像メディア表現の題材は、様々な展開が考えられる。絵画的表現が不得意であれば粘土の利用、表現媒材の扱いが難しい生徒にはテンプレート定規やハンコの利用という展開も考えられよう。アニメーションを扱った題材は、生徒一人一人の能力に応じた学習の展開という視点で、また複合教材の開発という視点からも非常に効果的な題材となっていく可能性を多分に秘めていると考えられるのである。

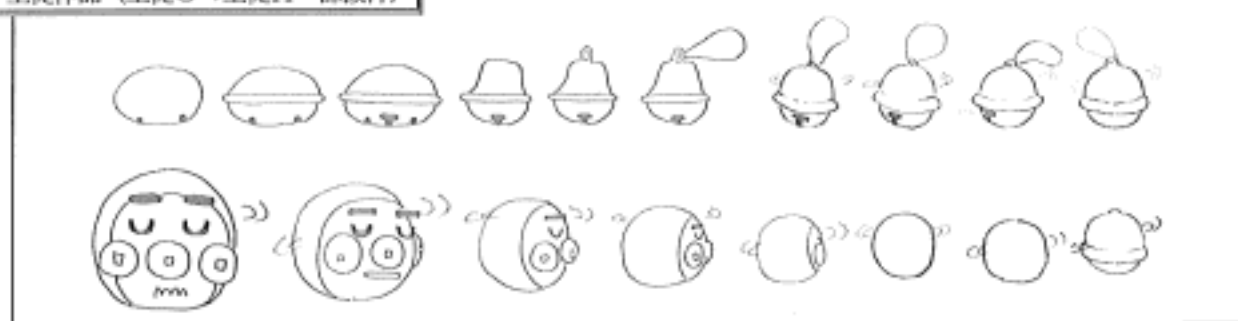
活動の様子



ワークシート（生徒H一部抜粋）



生徒作品（生徒G⇒生徒H一部抜粋）



「 絵文字をつかった名札 」

指導者 森川 沙織

1. 子どもの実態

生徒達は、中学校入学までの間、基本的な絵の具の使い方やものの描き方などを経験してきている。しかし、しっかりとした色彩についての学習や、使用目的に合わせた意図的なデザイン、誰かに見られることを考えて描く、といった制作には慣れていない。

そこで、上記のような経験の初歩的な活動として、本校の生徒達が、美術科で3年間通して使用する作品ケースに取り組みせたいと考えた。この活動を通して、色彩やデザインを考える楽しさを知り人に見られる作品をつくる意識を育て、れからの造形活動に前向きに取り組んでいくきっかけとしたいと考えている。

2 題材について

個人の作品ケースは、制作途中の作品やアイデアスケッチ、資料などを入れて美術室の棚に保管しておくものである。これは、生徒が3年間継続して使用するもの、並びに友達からも常に見られるものであるので、生徒にとっては「ひとに見られる」ものをつくるのが前提になる。これは、生徒にとっても目的がわかりやすく、自分がつくるものをしっかりと意識しながら制作活動ができる。

さらに、先輩がつくった過去の作品を常に見ることができるため、見本も豊富で、それらを参考にしながら取り組むことができる。

この活動の前段階で「色相環を使った混色方法と色の関係を理解する活動」と「簡単な塗り絵形式で行う色の効果の学習」を行っている。これらの経験から、生徒は「自分らしく」「効果的に」色を使う事ができると考えた。また、自分の名前をレタリングするための手法など学習する活動を通して、急いで完成させるのではなく、時間をかけて「丁寧に作品を仕上げる」という意識をつくることも大切にしたい。

3 題材の目標

○積極的にアイデアを描きとめ、作品に生かそうとしている。 (美術への関心、意欲、態度)

○自分の描きとめたアイデアを組み合わせ、自分らしい作品をつくるための構想を練る。
(かんがえる・くふうする)

○しっかりとした字体で、見やすく整ったレタリングをする。 (かく・つくる)

○自分やクラスメートの作品を鑑賞し、それぞれのよさをみつける。 (みる・かんじる)

4 題材の流れ

時 間	主 な 学 習 活 動
1	<ul style="list-style-type: none"> ・作品ケースと名札についての説明を聞き、題材の概要を把握する。 ・自分の名前をレタリングする。(明朝体かゴシック体を選択する) 《準備するもの～レタリング字典・定規・鉛筆》
2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・絵文字の説明を聞き、自分の名前の中のどの文字に生かせるかを考え、スケッチする。 ・その文字の意味や用法を考えながら、どんなものを組み合わせて絵の時を構成するか考える。 《準備するもの～絵文字の例・定規・鉛筆・ワークシート》
3	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングした自分の名前の中に、前時でデザインした絵文字を組み合わせて画用紙に描く。 《準備するもの～定規・鉛筆・画用紙》
4～6	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に学習した色相環を参考に色のバランスを考え、配色する。 ・自分の表現したいものを表すための効果的な塗り方を計画し、水彩絵の具を用いて着色する。 《準備するもの～水彩絵の具》
7	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した自分や友達の手文字やレタリングを鑑賞し、自己評価シートに感想を書き入れる。 《筆記用具・自己評価シート》

5 本時の目標

- ・どの文字を絵文字にするか考える。(かんがえる・くふうする)
- ・自分らしい絵文字をデザインする。(かく・つくる)

6 本時の展開

主 な 学 習 活 動	教 師 の か か わ り
○本時の学習課題を確認する。 「絵文字のアイデアスケッチを完成させる」 <ul style="list-style-type: none"> ・前時で描いたアイデアスケッチやレタリング字典を活用して絵文字を構成する。 ・自分の氏名を全て入れる。 ・絵の具を用いて着色する。 ・油性ペンでの線取りはしないで表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を提示する。 ・前時までに学習したレタリングのポイントをまとめる。 ・自分以外の人が見てもわかりやすいデザインにするよう促す。 ・卒業まで使うものとして意識でき

<p>○前回の終了時までには、氏名のレタリングを完成させている生徒が多いため、本時では「どの文字を絵文字にするのか」「どのような絵文字にするのか」を考える時間となる。</p>	<p>るよう促す。 ・自分らしい色やデザインになるよう助言する。 ・レタリングには定規を用いて美しく表現できるよう指導する。</p>
<p>○絵文字をつくるための資料として、自分の名前の漢字本来の意味などを漢字辞典などを用いて調べる。</p>	<p>・絵文字の構想のヒントとなるものを提示する。 A 自分の氏名に使用されている漢字の意味に関係するもの。</p>
<p>○部活動や趣味などから連想されるものを、自分の漢字と組み合わせデザインする。 →野球部の生徒はバットやボール、ベースなどを生かす。</p>	<p>B 自分の趣味や部活動に関係しているもの。</p>
<p>○主役になる文字だけでなく、背景や色づかいなどにも、「見やすさ」「自分らしさ」を表現するための工夫をする。</p>	<p>・デザインを意識しすぎて文字よりも絵に近くならないよう助言する C 文字の輪郭を意識し、形を崩しすぎないように助言する。</p>
<p>○レタリングと絵文字に合った背景を考える。 ・文字を目立たせたい場合は背景をシンプルにする。 →市松模様、ストライプ、水玉など ・絵文字に関係した背景を考える。 →部活動や趣味などを生かした絵文字の場合は、それに合わせた背景を考える。 (運動部であることを生かした絵文字なら、背景はグラウンドやコートデザインするなど)</p>	<p>D 文字の形から連想されるデザインにする。</p>
<p>○次時の活動内容を知る。</p>	<p>・次回は画用紙に描くことを提示する。</p>

7 活動を終えて

子ども達は初めての出会うレタリングや絵文字に興味を持ち、集中して取り組むことができた。

絵文字に関しては、自分の趣味や部活動を意識した構成のものや自分の名前の由来などに関係するもの考えるなど様々な作品ができあがった。

1年生の初期に行ったためもあり、生徒間の自己紹介を兼ねた活動になった。

さらに、デザインを考えながら、自分の趣味や好きなものなどについて語ったり、名前を確認し合うなど、交流も図れ、造形活動の範囲を超えた有意義な活動になったと考える。

この活動を通して、計画的に丁寧な作品を制作する姿勢、また、他者の作品に興味を持つことの基礎を築くことができた。

「心の中の世界（表現）」

点描で自分のイメージ世界を表現しよう

指導者 教諭 免田まゆみ

1 生徒観

生徒達は今まで、造形活動の中で失敗や成功の体験を繰り返してきた。その体験の中で「次はこんな工夫をしよう」という自分なりの目標をたてて、自己を高める努力をしている。

本校の生徒は素直でまじめであり、授業の目標がはっきりすると、細かい制作などには集中して取り組み、技能面では高い成果を上げることができる。その反面、「自由に発想して」「独創的に」「オリジナル」といった言葉に消極的な傾向があり、「かんがえる・くふうする～発想、構想の能力」の力の向上が求められているところである。

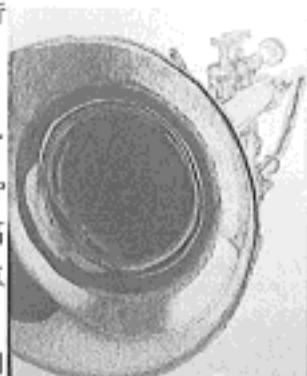
自分の独創性の再発見は、自分の手を動かして、感情を働かせて自分の心の中をのぞき、「みた」・「かんじた」記憶の再構築から始められると考えている。自分が好きなのはどんなものか、そして、好きではないものに会った時、どのように手を加え、再構築すれば好きになることができるか＝「自分らしく」なるのかを考える作業は、「オリジナル」が『絵に描いた餅』にならない生徒にとって実現の目途が立ちやすい内容である。

本題材では、そのイメージ構想を「点描」というなじみの多い技術を生かして、より独創的に表現するために、シュールレアリスムの発想方法を手がかりにし、スケッチを繰り返しながら完成まで表現を続け、自他作品に愛着を持つことを目的にしている。

「点描」という「かく・つくる」面の向上のみに偏らず、記憶や媒体をもとにイメージを再構築する「かんがえる・くふうする」力～「発想、構想の能力」を高める事を、こわがらずに楽しみながら達成できることを生徒に実感させていきたい。

2 題材について

「心の中の世界」として、心象表現をモノクロームの点描で行い、その後、「用の美」として紙テープでの額縁制作を行う、複合題材である。「心の中の世界」の心象表現場面では、より多様な表現の世界を広げるため、非日常性の追究をしたシュールレアリスムの作品を鑑賞し、シュールリアリスト達の制作時の状況や気持ちを想像して、自分の発想をやわらかくし、構想の意欲を高めていく。技能面では明度分割をペンによる点描で打ち分け、点の密度によってももの立体感や素材感やイメージを表現していく。ペンで点描を完成させた後には、手差しコピーをかけた画用紙に色鉛筆で彩色して2作品目を制作し、モノクロームの世界と有彩色の世界の表現世界の違いを感じ取る。



2枚の自作品への愛着を深めるため、「用の美」として自作品をより美しく自分らしく飾る題材と関連させ、梱包用紙テープを用いて自作点描作品のイメージに合う額縁を制作して、お互いに鑑賞しあう。




このように本題材では楽しみながらも、生徒の発想・構想の能力を高め、ひいては「できた!!」「いいね!!」の喜びの体験から感動を得て自己実現感を味わい、美術を愛好するきっかけとなるものにした。

3 題材の目標

- ・「自分なりに表現したい」という欲求を呼び起こし、自分のイメージ世界を表現できる様に創意工夫して、集中して描く喜びを味わいながら、意欲的に自らの制作活動を追究できるようにする。
(美術への関心・意欲・態度)
- ・シュールレアリスト達の表現世界や、自己の視覚的体験から発想し、自分が表現したいイメージを広げられるようにする。
(かんがえる・くふうする)
- ・古今の作家達の表現の工夫や点描技法の特徴をつかみ、イメージに合った効果的な表現ができるようにする。
(かく・つくる)
- ・シュールレアリストを始め自他の作品の良さを味わい、表現の工夫などを感じ取ることができるようになる。
(みる・かんじる)

4 題材の流れ (本時 2/9)

題材名		「心の中の世界」	
時数	時間	生徒の活動の様子	教師のかかわり・指導のポイント
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「心の世界」の作品と用意されたシュールレアリスムの諸作品を鑑賞してその良さに気づき、背景や歴史的な価値を理解し、ワークシートに書き込みながら自分のイメージ世界を広げる。 ・点描の基礎練習①～線や点の濃密度の違いで立方体と球体の立体感と陰影、物の色味や素材感を感じ取り、適切な線や点の濃密度の違いで、美しく表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が作品の美しさを味わい、興味・関心を高められるように提示する。 ・ハッチングと点描の表現の特徴の違いに気づき、丁寧に点描練習できるようにする。
2	1 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージや言葉、記憶、感情などから形を思い起こし、組み合わせなおして独創的にエスキースする。 ・テーマ探し、イメージの発想と、モチーフの再構成のスケッチ ・点描の基礎練習②～点描練習素材の立体感や質感を感じ取りながら、平面で3次元的に表現する。3点の中から選んで点描練習素材の立体感や質感を感じ取りながら、濃淡の階調を多くして、3平面に次元的に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ作りや発想の足がかりになる用語案を提示する。 ・「描ける」「描けない」にこだわらず、描きたいテーマを数多くイメージする様に投げかける。 「用語案」(プリント)の言葉を利用しながら発想できるようにする。 ・デューラーの2点の素描とモランデイのハッチングによる静物画を提示し、1点を選べるようにする。
3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・点描本描き用紙に鉛筆で独創的にバランス良く、テーマ性をより深めながら下描きし、点描用紙に転写する。 	
4	1	<ul style="list-style-type: none"> ①点描の基礎練習を生かして、陰影や立体感を感じながら、丁寧に点描を始める。 	
5	1	<ul style="list-style-type: none"> ②点の密度を考えながら、全体の調子をつかむようにして、基調となる点の打ち方を考えながら点を打ち進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レザー、砂嵐、しっくい壁などのトーンの変った地模様を提示して、点の並べ方、重ね方で表情が変わる事を示す。
6	1	<ul style="list-style-type: none"> ③デザイン時に足りなかったイメージを付け足したり補正したりして、全体の白黒バランスを見ながら背景部分の調整を行い、打ち方を工夫して全体の仕上がりがイメージを想像して点描する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・背景を画面分割したり、新たな地模様を考えられるように、対話しながら発想をまとめられるようにする。

7	1	④乾いている内に消しゴムをかけ、点描の基礎的表現技術を駆使してペンの濃度や画面全体の点の密度バランスを見て、効果的に1点1点打って仕上げる。	
8	1	①色のバランス、立体感などを意識して、画用紙にコピーされた点描作品に、作品イメージを高めながら色鉛筆で丁寧に美しく彩色する。	
9	1	②白と茶の紙テープとダンボールで自在にカットしたり曲げたり接着させたりしながら、独創的な紙の額縁を創作する。	

5 本時の目標

- ①イメージや言葉、記憶、感情などから形を思い起こし、組み合わせなおして独創的にエスキースすることができる。
(みる・かんじる)
- ②自らの作品イメージを高め、自分の制作活動に意欲を持つことができる。
(美術への関心・意欲・態度)

6 本時の展開

時間	生徒の学習活動	教師の働きかけ
2分	・前回のシュールレアリスト達の活動を思い起こし、独創的な点描作品を進めるために、イメージを膨らませて自分の発想を広げていく。	目標の提示 今日の目標・・・発想を広げよう プリントに沿った説明の途中、ひっかかる言葉があったり、映像が浮かんだらどんどんスケッチする様に言う。
33分	<p>発想タイム</p> <p>・プリントの言葉から頭に浮かんだイメージをワークシートに書き取る。 [例えば…]</p> <p>・不可思議な世界・・・表現するには？ ・自然（ネイチャー）な世界・・・表現するには？ ・夢あふれる楽しい世界・・・表現するには、何が必要？ ・その他・・・表現するには？</p>	<p>発想タイム</p> <p>①「シュールレアリスム」な人たちを見て、イメージを広げよう。 ②意外なものを組み合わせよう！！ ③文章で書き出す。（描きたいものを言葉で書いてみよう。） ④思いつくままに形を紙に書き出し、発想を広げる。 ⑤個性的な表現にするためには？ ・・・描くものを個性的にする ・・・意外な組み合わせや大きさ、傾き、重ね方 白黒の比率の意外さ、を工夫する。 ・・・背景を個性的にする。トーンの模様や点を打つ方向や並べ方、かためかたを工夫する。</p>
10分	<p>練習タイム</p> <p>・デューラー、モランデイの、手、鹿頭部の素描、静物の中から1点を選んで点描で陰影・立体感を表現する。 (発想タイムで、時間が足りずイメージ面を描いている生徒はそのまま続行する。)</p>	<p>練習タイム</p> <p>プリントを配り、デューラー、モランデイのいた時代背景や作品が描かれた意図に軽く触れて、点描の練習に入ることができるようにする。</p>
5分	<p>まとめタイム</p> <p>今日の目標「発想を広げよう」を達成できたかどうか自己評価し、次時の自分の課題や目標を設定する。</p>	<p>まとめタイム</p> <p>今日の目標が達成されたかどうか、自己評価表に記入できるようにする。</p>

7 活動を終えて

1年生の最初の題材から行ってきた、「ワークシートに、イメージを自由に思いついたままに言葉や映像でメモすること」へのこだわりは減ってはきてはいるが、まだ「思い通りにいかないかも」であったり、「思いついたけどうまくいかないかもしれない」という恐怖感を持つ生徒はいる。

しかし本題材で、シュールリアリスト達の「無意識」の世界への憧れや「オートマテイズム」実験などを紹介したことで、「自分達だけではなく、誰もがみんな発想を広げるために工夫を繰り返してきたんだ」という共感、今回自分達の発想を広げるためのヒントや励ましになっていた。

「ワークシートは心のメモ帳」つまり、頭に浮かんだ映像や概念、イメージを絵や言葉で書きとめるもの、というおさえができる、発想メモは楽しい作業になっていく。

そして、イメージが映像で浮かんだ生徒は、自分の描画力に関わらず、描く作業に没頭していった。自らが描いたものへの恥ずかしさは回数を追うごとに減っていき、お互いに見せ合い交流する場面も見られた。

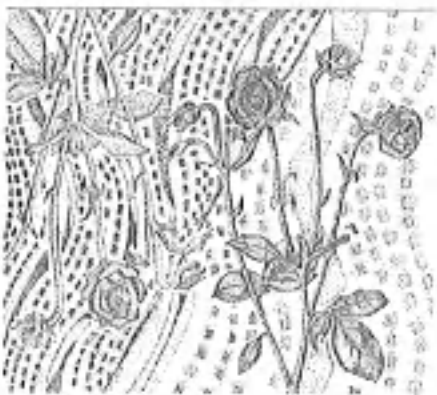
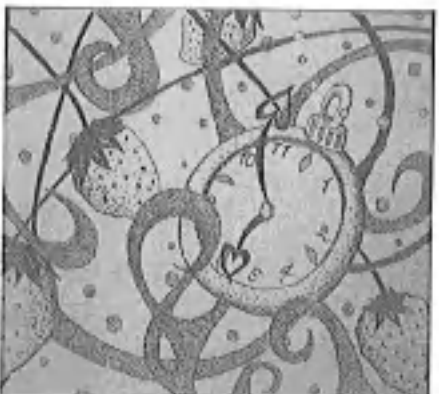
また、描きながら次時の発想が浮かぶことで、下描きへの期待が高まる。必要な資料や実物を準備しようとする意識も高まり、自作品への愛着がわいていくという姿が多く見られるようになった。

さらに、描画力が及ばない部分は、家から資料を持ち寄る生徒達も現れた。このような生徒達は、資料のレイアウトをそのまま使うと、「自分なりに」という今回の題材の目標は達成されないことになる。自分から意識しながら構想を練っていった。そして、自分でトリミングし直し、配置や比率を変えることで、新しい発見をする姿も見られた。また、「明暗のバランスをこう取っていきたい。」という、完成イメージを心に浮かべながらスケッチをとることができ、「計画的に発想、構想をたてる」という目標が達成されたように思う。

加えて、構想スケッチによってイメージを視覚化することで、自分と他者にとって問題点や改良すべき点が明確になり次への意欲が増した。

点描の明度分割による描画方法については、デューラーやレンブラント、モランディなどのデッサンやペン画を練習台にしたため、その旺盛な追究力に感動しながら、立体感や陰影の付け方など、偉業の技を学び取ろうとする態度が身についた。

丁寧な練習により、「点描技法は必ず上手に描ける描画法」が生徒にインプットされ、自分の気に入っているイメージや下描きに、全身の力を注いで完成まで1点1点丁寧に点を打っていき、自作品に愛着のわく授業展開となっていた。



「日本絵画の造形美」

指導者 杉山浩彰

1 生徒の実態

本学級は、明るさと騒がしさが同居した学級であるが、自分に興味があることについては、積極的に発言し取り組む事ができる。鑑賞の授業では、絵画や彫塑といった技能的な表現が不得意な生徒も苦手意識を持つ事なく授業に参加し、1年次の授業では、ピカソのキュビズム的な表現、ゴッホの激しい筆使いや色使い、速水御舟の写実的で繊細な表現、クリムトやシーレの平面的な表現など、それぞれの表現上の特徴に気づいた鑑賞をすることができていた。

今回の授業で扱う日本絵画については、描かれているモチーフがはっきりしたものが多く、写実的な表現を好む中学生にとっては興味を持てる題材であると考えられる。しかし、写実的な絵を見ると、はじめのうちは興味をもって「上手」「すごい」という感想をもつが、それだけの感想で終わってしまい、さらにそこから作品と深く向き合うということができないというのが現状である。

そこで本単元では、生徒の興味を持続し高めるために、班ごとにそれぞれの作品についての鑑賞を深めることにした。はじめに自分の感想を持ち、それを班の中で交流することで違う視点や見方を感じ、さらに班ごとの感想を交流することで、他者の美的価値観を感じるというプロセスである。

作品鑑賞には、様々な見方や考え方があっていいというのを感じさせ、自他の班の様々な価値観の交流の中から、日本絵画のよさを味わわせていきたいと考える。

2 題材について

本単元で取り上げる鑑賞の対象は、18世紀の日本絵画である。この時期の日本絵画は、内容的にも造形的にも、最もよく日本的な美の特質を体現していると思われる。日本絵画の一般的な技法は、植物や風景などの自然を線とらえて構成し、そこに陰のない色彩を施し、主観的で精神性の高い装飾的な美を展開していくというものであるが、この時期の絵画表現は、科学的で客観性の高い中国や西洋の写実的な描き方の洗礼を受けながらも、伝統的な大和絵の描き方を守りつつ生まれたものでもある。

学習指導要領では、鑑賞の活動を通して「日本の美術の概括的な変遷や作品の特質を調べたり、それらの作品を鑑賞したりして、日本の美術や文化と伝統に対する理解と愛情を深め、美術文化の継承と創造への関心を高めること。」となっているが、今回の授業を通して、現代の西洋的デザインに慣れ親しんでいる中学生に、日本の伝統的デザインセンスのよさや美しさを見直させていきたい。また、自然の恵みに中で暮らしていたかつての日本人の感性にも触れていきたいと考える。

本時は単元の導入にあたるが、西洋化した生活に慣れている生徒にとって、最初は純日本的な表現に対し戸惑いを覚えることが予想される。そこで課題把握の段階で、作品名から作品のイメージを膨らませたり、既存の知識が活かせるような話題を用い、生徒の興味を惹き付け、課題を解決するための意欲を引き出したい。更に、作品を多角的に分析しその工夫や特徴に気づかせる活動を通して、「なんとなく作品を見る」という段階から、表現のよさや美しさなどを味わうといった、より深く鑑賞に親しむことができる心を育てたいと考える。

3 題材の目標

- ・江戸時代中期に熟成した日本絵画の造形の特徴を代表的絵師の作品を通して理解し、それぞれの個性的な展開を味わうことができるようにする。 (美術への関心・意欲・態度)
- ・作品の背景にある自然観や作者の思いを感じ取るとともに、日本的な造形表現の特徴に気づくようにする。 (みる・かんじる)

4 題材の流れ (2時間扱い)

児童・生徒の活動の様子	教師のかかわり・指導のポイント
<p>○教科書に紹介されている9点の作品について、気に入った作品を1つ自由に選び、その理由をワークシートに記入する。</p> <p>①夏草図屏風～尾形光琳 ②菊花流水図～伊藤若冲 ③紅白梅図屏風～尾形光琳 ④群鶏図～伊藤若冲 ⑤木賊菟図～円山応挙 ⑥蝶・蜻蛉～喜多川歌麿 ⑦大川端夕涼～鳥居清長 ⑧蓮図～小田野直武 ⑨保津川図屏風～円山応挙</p> <p>日本絵画の魅力を見つけよう</p> <p>○魅力を見つけるポイントとして、作品名、作者名、描かれている場面、描かれているもの・数、構図、色彩、背景、技法などをあげる。</p> <p>○作品を鑑賞し、作品の魅力をワークシートに書き出す。</p> <p>○自分たちの話し合いの途中経過を発表するとともに、他の班の途中経過を聞くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品名と作品を関連付けさせる。 ・興味を高めるため、作者のエピソードを若干紹介する。 ・作品からどんなことを読み取ればいいのか考えさせる。 ・別の作品から共通のモチーフや表現形態を探し出し、他の作品よりも自分たちの作品が良いところを見つけさせる。 ・途中経過を交流しあい、話し合いの参考にさせる。
<p>○前時の活動を振り返りながら、作品の魅力を更にワークシートに書き出す。</p> <p>○班としての考えをまとめ、PR文を作成する。</p> <p>○作品の魅力を発表するとともに、他の発表を聞きながら、改めて気づいたことや感動したことなどを、ワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の活動を思い出しながら、話し合いを更に深めさせる。 ・花、水、動物、空間の表現方法などを比較させる。 ・作品の中に、物語を作らせてもよい。 ・班長を中心に、1つの作品についてPR文を作成させる。 ・班長を中心に、魅力を紹介する文を作成し、発表させる。 ・最初に選んだ自分の好きな作品を改めて見直すとともに、授業全体の感想を記入させる。

5 本時の目標

- ・江戸中期の絵画に見られる日本的な表現の特色や個性的な表現に、興味を持つことができる。
(美術への関心・意欲・態度)
- ・江戸中期の代表的絵師たちの個性や造形方法の違いに気づかせるとともに、それぞれの良さを味わうことができる。
(みる・かんじる)

6 本時の展開(本時 1/2)

主な学習活動	教師のかかわり
<p>○教科書に32～34ページに紹介されている9点の作品について、気に入った作品を1つ自由に選び、その理由をワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品名と作品を関連付けさせ、イメージを膨らませる。 ・興味を高めるため、作者のエピソードを若干紹介する。 ※喜多川歌麿～浮世絵の美人画の作者 ※小田野直武～解体新書の挿絵の作者 ※円山応挙～肖像画
<p>○魅力を見つけるポイントとして、作品名、作者名、描かれている場面、描かれているもの・数、構図、色彩、背景、技法などを挙げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の魅力を見つけるためには、どんなことを読み取ればいいか考えさせる。
<p>○班内で作品を鑑賞し、お互いの考えを交流し合いながら、作品の魅力をワークシートに書き出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・班をつくり、1班1作品を担当し、作品の魅力を探し出させる。 ・机間指導を行い、アドバイスをを行う。 ※キーワード～日本画、版画、細密(具象)、幻想的、平面的、装飾的など
<p>○比較鑑賞をすることにより、他の作品と共通している表現方法や特徴、その作品独特の表現方法や魅力を見つける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・別の作品から共通のモチーフや表現形態を探し出し、他の作品よりも自分たちの作品が良いところを見つけさせる。
<p>○自分たちの話し合いの途中経過を発表するとともに、他の班の途中経過を聞くことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・途中経過を交流しあい、話し合いの参考にさせる。

7 授業をおえて

本単元では導入の段階で、作品名や作者名から作品をイメージしたり、描かれているモチーフをじっくり見たりする活動を通して、課題意識を高める活動を行った。また、班活動を行い、作品に対する様々な見方や考え方を交流することにより、自分一人の感じ方とは違う新たな美しさや良さを発見するといった姿が見られた。

本単元の第1の目的は、日本絵画の魅力に気づかせることを課題としていた。その中で、魅力に気づかせるための手段として、それぞれの絵をPRする課題を設定した。作品名や全体の雰囲気から作者の伝えたいことを考えたり、描かれているモチーフや色彩、タッチなどから作品を分析するなど、鑑賞における基本的な活動をおさえながら、描かれた背景や造形的な良さを想像・発見するという活動ができた。しかし、活動が班内の交流から脱却することができず、自分が気づいたり分析した考えを、全体にわかりやすく発表したり伝えたり、また他の班の発表をしっかりと聞き、新たな感動や発見を得るという意欲を持つまで、学級の雰囲気を高めることができなかった。

導入時の作者のエピソード紹介は、生徒の興味を惹き付けることができた。また、班単位で一つの作品を討議しあうことは、色々な視点から作品を見ることができ、討議の活性化につながることができた。しかし、作品をPRする文をつくることについては、PRする目的や意図が生徒にうまく伝わらず、目標を達成させるためには不十分な課題であった。

以上のことを踏まえ、今回の授業を終えて、2つの大きな課題が見えてきた。1つ目は、課題を提示するにあたっては、課題を把握した時にやる気があがるような導入や、生徒の興味を惹きつけるような言葉や場面を設定しなければならないということ。2つ目は、課題に対する目的意識を持たせる方略を、教師側が意図的にどう作っていくかということである。

生徒のPR文

菊花流水図～主題は「菊」で、見た目はちょっと暗めです。表現としては、作品名どおり「流水」…、流れている感じです。色は暗いけれど、所々に明るい色が使われているのがポイントです。他の作品と比べて、同じ花の種類でも、1つ1つの花に色々な色が使われて、鮮やかな感じができています。葉の部分にもグラデーションがされていて、遠近感が出されています。

保津川図屏風も同じく川の流れを表現している作品だけれど、この作品は実際にあるものを絵にしているが、菊花流水図は、本当はありえない想像画、空想の世界を表していると思います。でも、本当にあるように見せるのがやっぱりスゴイ所だと思います。

本陣更圖～この作品は他の作品と比べると画面いっぱいには成がらず、少し距離感のある作品です。ですが、繊細で素朴ながらも深みのあることが感じられると思います。うさぎのやわらかさが色づかいや筆づかいでうまく表現されていて、うさぎがまるで生きているかのように見えます。

大川端夕涼～この絵は全体的に薄い色が使われていると思いました。菊花流水図、保津川図屏風、紅白梅園屏風とは違って、色はうすい青色で、流れがおだやかな方に見えました。よく見ると女性の肌が白く目立っているように見え、真ん中の女性がうちわを持っていて、着物を着ているので、夏だとすぐにわかりました。見ていると涼しそうに見えます。3人の女性は同じ向きなので、何か見ているように見え、私はたぶん花火か船を見ているのかと思いました。

作者はたぶん、夏の日に美しい女性がいて、忘れなれなくて、絵に残したと思われる。他の作品に比べて、細かく表情がわかりやすいところだと思います。日本の良さが出ていると思いました。向こうが遠くに感じるところもいいと思いました。みなさんはこの絵を見て、どう感じましたか。

蓮図～この作品は小田野直武の「蓮図」という作品です。この作品は背景の色づかいが暗く、主題の蓮が明るいので、とても主題の花がきれいに見える。背景の絵が遠くに見えるので、主題の花が近くに見えて、目立つのがいいと思った。地味だから全体が見やすい。蓮が大きく描かれていて、色が鮮やかで、少しさみしい感じがする作品だと思った。

「銅板腐食でネームプレートづくり」

指導者 更科 結希

1 生徒の実態

題材を与えるごとに、力を伸ばしてきた学級である。工夫することに関しては苦手意識を持っている生徒も多かった。その中で、互いの交流を通して改善していけないだろうかと考え、本題材においては、制作過程ごとの交流場面を増やした。

交流を通して、中学3年生はどのように仲間へのアドバイスをやっていくのか、今まで以上に場面を増やすことでの作品への変化に期待する面もあった。3年生という時期にくると、個人の考えが確立してくることもあり、なかなか恥ずかしがって真剣な交流を生むことがなかなかできないでいる学級でもあった。

2 題材について

今回の題材は、版画技法や彫金の技法として簡単に取り組む事のできるものである。化学変化を利用した制作のひとつひとつが子どもたちに驚きを与える。銅版を使った題材には中学校校においては、釘打ち技法が主であるが、腐食着色を行うことで仕上がりの美しさも得られる。

子どもたちへは、将来まで使える物としての作品制作を心がけさせることが金属加工の題材を選んだ理由でもある。

【かんがえる・くふうする】の分野において、この授業を通して取り組ませたことは、ポートフォリオである。自分の授業の中で取り組んだことや考えたことを記録化させ目に見える形で振り返ることで、授業への意欲を高め、より良いものづくりへつなげていきたかった。

「工夫する」という面では、子ども同士の交流を段階的につくった。個人の考え→となり同士→複数のグループというひろがりである。



3 題材の目標

I 美術への関心・意欲・態度

- ・自分の想いを形にすることができる喜びを感じながら制作する心を育成する。
- ・制作の手順や計画を理解し、毎時の目標を持ちながら制作していく力を育成する。

II 発想や構想の能力

- ・デザインの画面構成について学んだ上で、構想を深め、長く使える作品を目標にし制作していく力を養う。

III 創造的な技能

- ・自分の構想したものを実現させるための方法や技法を学び、作品として実現していく力を育てる。

IV 鑑賞の能力

- ・制作過程の中で他と協力しながらお互いの作品を鑑賞し、良さや問題点を探りながら制作する姿勢を養う。

4 題材の流れ（本時 6 / 8）

生徒の活動の様子	教師のかかわり・指導のポイント
1 銅の性質を学び、腐食作業についての基礎知識の学習と用途の理解し、デザインを行う上でのレタリングの学習を行う。	1 ・参考作品を鑑賞しながら、銅の性質や腐食作業について学び、デザインをどのように構想していくかを考えさせる ・レタリングの明朝体、ゴシック体について学び実際に生かせるようにする
2 「ネームプレート」であることをふまえた上でのデザインの構想を膨らませ、アイデアスケッチから構想を練り、実際のデザイン作業を行う。	2 ・いくつかのデザインを考え、その中から良い物を選べるようにする。 ・ネームプレート（表札）になることを意識し、名前が一番に目立つデザインを構想していけるようにする。
3 腐食作業を行うことを前提に、「重ね」のあるデザインの構築・追求を行う。	3 ・デザインを3段階の明暗に分け、文字とデザインが重なるように計画を立てる。
4 腐食の作業内容を確認し、自分の作品にあった順番で、第1回目の腐食部分を決め作業を行う。	4 ・グランド塗り→腐食→研磨が一連の腐食の作業になることを理解し、一番低く腐食したい部分の作業を行う。
5 重ねのデザインに注意しながら、第2回目の腐食を行う。	5 ・2番目に低くなる凹凸の部分を腐食する。 ・丁寧にグランドを塗ることで、正確なデザインを表現できるように作業する。
6 重ねのデザインに注意しながら、第3回目の腐食を行う。	6 ・3番目に低くなる凹凸の部分を腐食する。 ・丁寧にグランドを塗ることで、正確なデザインを表現できるように作業する。
7 腐食の不備がないかを確認し、いぶし作業を行うための準備を行う。	7 ・デザインが表現されているかを確認し、不備があれば再度腐食する。 ・油分が銅板についているといぶし作業がきれいにならないので、研磨剤でしっかりと磨く。
8 <610HAP 剤>に銅板を浸し着色を行い、凹凸を考えながら、紙ヤスリを使って、デザインを表していく。	8 ・銅板を610HAP 剤につけると色に変色する効果を利用して着色し、紙ヤスリを表面にかけることによって3段階の凹凸による色の効果を出す。
9 自分の作品の仕上がりを確認し、仲間の作品の鑑賞をして鑑賞カードにまとめる。	9 ・鑑賞カードに、自分の作品について振り返ったことを記入し、友達作品の良さを見つけまとめ、交流する。

5 本時の目標

- ・ いぶし作業の過程を理解し、紙ヤスリをを慎重に扱い腐食段階に応じた作業を行うことができる。 (かく・つくる)
- ・ いぶしで着色した色から自分の思い描くデザインが美しく表れるように互いに交流し合いながら作業をおこなうことができる。 (美術への関心・意欲・態度)

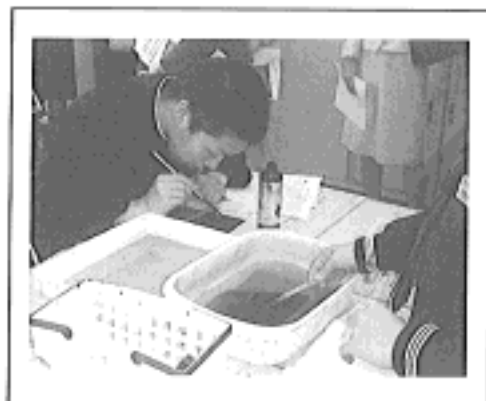
6 本時の展開

主な学習活動	教師のかかわり
<p>1 ノートで前時までの学習を振り返ることができる</p> <p>2 本時の作業を確認し、今日の目標を考え記入することができる (制作カードへの記入)</p>	<p>1 作業の過程を見直し、前時の活動を確認させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の作業がどの過程まで進んでいるのかの確認し、過程別の作業の確認をする <p>2 自分の表現したいデザインが一番美しく浮き上がらせるための道具の工夫などに注目させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの作業に応じた目標を立てる
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自分の思い描いたデザインを表現するために工夫しながら制作をしよう </div>	
<p>3 銅板を<610HAP>の液につけ、黒く着色をすることができる</p> <p>4 いぶした作品を色合いの調整をしながら、紙ヤスリで表面を研磨していくことができる また、互いの作品を見ながら自分の思い描くデザインを研磨していく調整をしていくことができる</p> <p>5 今日の作業の振り返りをする</p>	<p>3 いぶし作業での注意事項を再度行う</p> <p>4 互いの作品の状況を見ながら自分の作業を行っていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ヤスリがけの力 ○ヤスリをかける方向 ○ヤスリをかけすぎた場合 ○凹凸を意識して <p>5 「今日の作業で、自分の作品のできあがりが見えてきたと思います。次の時間は、こういった点に気をつけて作業すべきか考えてみましょう」</p>

7 活動を終えて

交流の場面を多く設定した効果は、子どもたちの作品を見るちからにつながったことである。相互交流の場面で、「良い面を探す」「発展的な面を探す」という観点を繰り返して取り組んできたが、当初書くことに躊躇していたすがたに変化が見られた。

自分の経過作品に対するコメントを参考にし、制作に戻る場面が多くなり、教師にアドバイスを求めることばかりではなくなった。



腐食作業では、安全面に気をつけなければならないが、その分集中力をもって授業に毎時取り組んでいた。

ひとつひとつの作業の積み重ねということもあり、先の見通しをもたせることも大切である。

また、この作業を終えることで子どもたちは美術に対して自信を持って取り組めるようになっていった。

子どもに、これからもずっと使える作品を残したいという思いから取り組んだ題材ではあったが、その思いは子どもに伝わりつつあったのではないだろうかと思う。

制作が終了し、できあがった作品を大切に持ち帰る姿を見て感じる場所であった。

題材自体初めての試みのものが多かったので、説明や教具の工夫をよぎなくされたが、その分、子どもたちの制作に対する意欲は非常に高かったように感じる。下記の制作を終えてのカードでの自己評価欄は、どの子どもも高い得点を並べている者が多かった。

課題には、いくつかある。ひとつめは、素材・技法に関するものである。ふたつめは、交流場面の設定過程を慎重にしないといけないこと。である。

鑑賞カード		3年	姓名
題材名 腐食ネームプレートづくり			
今回の作品を作ってみて 何回もふたたび直したり 直したり、完成したとき 心が軽くなった。	今回の作品で工夫したところ 腐食のしやすさ、色合いなど 色合いをよこす 工夫した。		
デザインについて 個性を出したいけれど ほかの友達もかいた 名前も入れて かわいくしたい。	腐食の目印づくりについて かわいくしたい 色合いをよこす かわいくしたい かわいくしたいから 工夫した。		
作業過程ごとの自己評価			
レタリングやデザインを意図して制作することができましたか？ 1 2 3 4 5			
凹凸を意図して制作することができましたか？ 1 2 3 4 5			
長く使える作品づくりを目指することができましたか？ 1 2 3 4 5			
授業に集中して取り組むことができましたか？ 1 2 3 4 5			
コメント さん、君の作品を見て思うこと			
デザインについて シンプルなデザインで、かわいくしたい。			
腐食・目印について 色合いをよこす工夫が、かわいくしたい。			

「がちゃがちゃでメッセージを伝える」

指導者 竹本万亀 ほか

高文連釧路支部美術部顧問

1 生徒観

10年前は釧路地方合わせて10校11名の美術専任教員がいた。しかし現在は市内に4名いるのみである。間口の減った高校からは専任教師が去り、大きく授業の単位数が削減される。講師を配置することで授業の保障もあるが、学校生活を抱えての授業となると限界もあるし、放課後の部活動にも大きな影響が出てくる。部員が大幅に減ってしまったり、数名で活動している学校も多い。

高文連の地区大会では、普段顔を会わせることのない生徒達が集まり、大会に向け制作した作品の合評会や、実技研修を通し交流を深める。この研修では釧路・根室の文化の発信者ともなる生徒達が、同じ地域に美術を愛好する多くの仲間がいることを感じ、より生き生きと制作に取り組むきっかけとなることをのぞんだ。

*高文連地区大会で実技研修として実施した内容です

2 題材について

「地球」をテーマに缶バッジにデザインし、「伝えたいこと」を書いたメッセージカードとともに、カプセルに入れる。

カプセルは「がちゃがちゃ」の機械に投入する。全員のカプセルが入ったら、各自に「がちゃがちゃ」してもらい、カプセルがあたる。

カプセルにつめた作品（缶バッジ）が、会場にいる誰かへ、メッセージとなり伝わってゆく。

3 題材の目標

◎やるきになる・むちゅうになる（造形への意欲・関心・態度）

作品が、「知らない誰か」へのメッセージとなること、また、自分もだれかからそれをうけとることをイメージすることで関心をもって取り組めるようにする。

◎かんがえる・くふうする（発想・構想の能力）

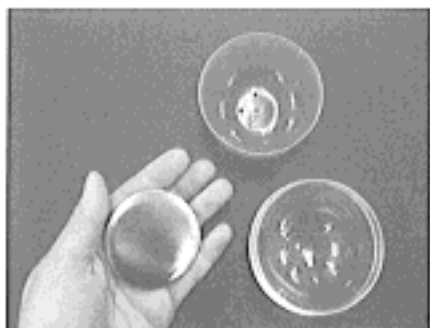
相手が美術の好きな仲間であるからこそ、ひと味違った見せ方、内容を考えるようにする。

◎かく・つくる（創造的な技能）

缶バッジという小さな画面と限られた時間で完成をめざす。

◎みる・かんじる（鑑賞の能力）

「がちゃがちゃ」で誰の作品があたるかわからないわくわく感を体験。また、あたったカプセルは知らない人からのメッセージであり、それを素直に感じとろうとする。



4 題材のながれ

高文連地区大会 1 日目 12:00～16:00 実技研修にて実施
 場所 釧路市民文化会館 展示ホール
 対象生徒 高文連釧路支部 美術部員 200名

生徒の活動の様子	教師のかかわり・指導のポイント
<p>12:00～15:00</p> <p>説明をきく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○目的について ○制作テーマについて ○デザインについて <p>制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伝えたいことを考える ○アイディアスケッチ ○缶バッジにペンで下がきをする ○アクリル絵の具で着彩 ○表面にニスをスプレーする ○メッセージカードに「伝えたいこと」を書く <p>○完成した人から缶バッジとカードをカプセルにつめ、がちゃがちゃの機械に投入 (がちゃがちゃの機械は3台)</p> <p>15:00～16:00</p> <p>がちゃがちゃタイム・後片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ○好きな台へ行き、お金を入れてがちゃがちゃする ○メッセージカードとともに缶バッジのデザインを鑑賞する・あつた作品を見せ合い交流する 	<p>制作手順の説明(当番校顧問より)</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○制作活動・作品を通し、交流をはかる ○作品・メッセージをカプセルでおくる・うけとる <p>作品例の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参考資料(図鑑、プリントなど)提示 ○生徒に渡すお金の管理(各校顧問) <p>○機械に担当者がつく</p> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小さな作品を通しての交流で新たな発見やつながりができる。近くに様々な仲間がいることを知って、この様なつながりを大切に、これからも制作にはげもう。

材料について

- アクリル絵の具、筆、がちゃがちゃの機械・カプセル(200円のがちゃがちゃ用)、缶バッジ(表面に印刷される前のもの) *当番校準備
- 缶バッジとカプセルは1人2個ずつ。がちゃがちゃに入れるのは1個。もう1個は自分用に持ち帰る。
- 各自ががちゃがちゃに入れる100円玉2枚は、前もって各高校顧問にわたす。材料費などの支払いのため、がちゃがちゃ投入後は、当番校会計行きとなる。
- 絵の具はアクリル絵の具を使用。衣服や床につかないよう気をつける。
- デザインのための参考資料(自分に必要なもの)は各自用意
- 缶バッジへの下がきはペンを使用

制作テーマについて

「地球」をテーマにデザインするなら、あなたは何を伝えたいだろう。文字で、形で、缶バッジにあなたからのメッセージを重ねてみよう。

- 地球上でおきている問題について伝えたい
- 自然がもつ豊かさを伝えたい
- 自分が住んでいるところの良さを伝えたい
- 地球に必要なものについて伝えたい

人それぞれに「伝えたいこと」がでてくるでしょう。「伝えたい」をかたちにしよう。

デザインについて

- 文字を自由にあそばせてみよう
- 誰もがひとめでわかるようなやさしいデザイン、シンプルな色遣いを考えよう
- ユーモラスな表現に、奥深い意味をこめてみよう・・・など自由に試みてください

メッセージカード

第50回 高文連創根支部 美術展・研究大会	つたえたいこと	
ちきゅうを テーマに・・・	_____	学校名 _____
缶バッジにメッセージをのせて	_____	氏名 _____

5 活動を終えて

釧路・根室の、美術の好きな高校生達がこれだけ多く一度に顔を会わせる機会は、なかなかない。会場の都合で作業は床にビニールシートを敷きしゃがみ込んでの制作であったが、どの子も2時間以上をじっくりと缶バッジに集中していた。

がちゃがちゃたいむは、200円をにぎりしめ待つ者、すでにカプセルを受け取った者、教員も含め、会場は不思議な熱気につつまれた。小さい画面への緊張感からとかれたのと、がちゃがちゃで受け取る期待感とで、どの顔も生き活きとしていたのが印象的であった。

展示してある作品を鑑賞するのと違い、偶然手元にやってきた作品と知らない誰かのメッセージを受け取るのは新鮮だったようである。受け取った生徒達は、思い思いに感想を言ったり、思わぬ素敵なデザインにはしゃいだり、じっとバッジに見入ったり様々な姿がみられた。2ヵ月後の全道大会では、カバンにこの時受け取ったバッジを付けている生徒がちらほらいた。

今回必要となったがちゃがちゃの機械やカプセル、販売前の缶バッジは、地元釧路で昔から駄菓子子の卸問屋をしている方にお世話になった。本校卒業生の親御さんだったこともあり、大変面倒なお願いを快くひきうけてくださり感謝している。地域の方とのつながりがあってこそこの企画であった。

最近では高校の間口減に伴い、教員数が大幅に減る厳しい学校体制の中、部員の少ない部は廃部に追い込まれつつある。授業の選択自体がないなど生徒をとりまく環境は恵まれた状態ではないものの、生徒達は好きであるからこそ部活動を続けている。

多くの可能性を秘めている、どこの高校生にも、感性輝くチャンスをより多く与えたい。

5年生 2名

3年生 1名

2年生 1名

1年生 2名

「作って食べよう！」

指導者 篠木麻希 他教員3名

1 子どもの実態

本校には、知的障害児学級、肢体不自由児学級、情緒障害児学級があり、それぞれ5年生2名、3年生1名、1年生2名が在籍している。また、通常学級からの通級児童が1名（2年生）いる。

本校は、毎日2時間目を「特学交流学習」と言う名前で、これら児童が集合し、ともに学習する時間を設けている。特学交流学習では、生活単元学習や、国語、体育、理科（生活科）、音楽、図工の要素を組み入れた授業が行われており、本授業は、その中の図工の授業である。

先に述べたように、特学交流学習に参加する児童は学年も障害種も多岐にわたっており、指導においては各児童の状態に応じて異なる指導支援を行っている。

A児（情緒障害児学級1年生）は発達障害と診断されており、自閉的傾向を持ち合わせている。新しい事に取り組む事に強い抵抗感を示し、授業導入時に「できないよー！やりたくない。」と泣き叫んだり、逆に「早くやらせろよ。」と暴言を吐いたりする。何度か取り組んだ活動では、安心して取りかかる事ができる。

B児（情緒障害児学級1年生）は知的障害であるが、A児と同学年であることから、情緒障害児学級で共に学習している。性格は温和であるが、少々頑固な所もみられる。活動には喜んで参加するが、手先が不器用であるため、細かい作用では教師の支援を必要とする。

C児（肢体不自由児学級3年生）は左半身に軽度の麻痺があり、利き手を変更しているため、字を書いたり、色を塗ったりする事に困難が生じている。

D児（知的障害児学級5年生）は、B児と兄弟関係にある。コミュニケーションなどには問題はなく、下級生の面倒見もよいが、自分に自信がなく、あらゆる場面で教師に助けを求めてくる傾向にある。

E児（知的障害児学級5年生）は図工が得意で、絵を描いたり、工作をしたりすることが大好きである。図工の授業では、たくさんのアイデアを出す事ができ、作業にも工夫がみられる。

F児（通級2年生）は気分の起伏が激しく、調子の良いときには臆舌で意欲的に活動に参加するが、調子が悪いときには一切話さず、活動にも参加しない場合がある。昆虫が好きで、その絵をよく描いている。

以上のように、児童の状態が多岐にわたる事から、図工の授業では各児童のできる事、難しいことを加味し、児童自身に頑張らせる作業と、教師が支援をする作業に分け、造形作業を楽しみながら、各々が自力でできる事を増やしていくことが最終目標となっている。

また小集団で活動する事によって、他の児童との関わりを増やし、お互いの作品のよい所や工夫点などを交流し、認め合う時間を設けている。そうすることで自己有用観を高め、コミュニケーション能力も高める事ができると考えている。

2 題材について

本題材は、9月に行う収穫祭に自分たちで作った野菜を調理し、食べる時に使う食器や道具を制作するもの

として設定した。身近な日用品を扱う事で、児童たちにも何を作るのかをイメージしやすく、また作ったものを実際に使う楽しさを味わう事ができると考える。

制作したものは、

1. ランチョンマット (紙製)
2. はし (竹製)
3. フォーク、ナイフ (オープン粘土)
4. 丸皿、角皿、コップ (陶器) である。

扱う素材、道具に関しても多岐にわたるようにし、様々な質感や道具に触れさせた。本校での図画工作科の目標には、「色々な道具や素材を扱うこと」となっており、障害を持つ児童にとってこの目標は有効であると思われる。色々な物に触れ、体験することが、児童の世界を広げ、発達に寄与できると考えている。

3 題材の目標

これまでに述べたように、特別支援学級における子供の状態はそれぞれ異なることから、目標を各児童別に設定した。また、あらかじめ考えられる支援についても設定した。

- ・A児…支援を受けながら、制作に積極的に取り組もうとする。(関心・意欲・態度)
手順を理解することができる。(かく・つくる)
これから何を作るのかを知らせ、見本を見せることで情緒の安定を図る。(支援)
- ・B児…支援を受けながら、手順通りに作る事ができる。(かく・つくる)
自分のアイデアを指導者に伝えることができる。(かんがえる・くふうする)
手先が不器用であるので、細かい作業は共に行う。(支援)
- ・C児…両手を用いて、できるだけ自力で作業を行う。(かく・つくる)
デザインを自ら考えることができる。(かんがえる・くふうする)
疲れて作業が困難になった時には適宜休憩を取らせ、どうしても難しい作業は援助する。(支援)
- ・D児…最後まであきらめず制作に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
使い易い形状を考えることができる。(かんがえる・くふうする)
友達作品のよいところを見つけることができる。(みる・かんじる)
できるだけ手を貸さず、自分で制作するよう促す。(支援)
- ・E児…自分で手順を確認して制作することができる。(かく・つくる)
使い易い形状を考えて作る事ができる。(かんがえる・くふうする)
友達作品のよいところを見つけることができる。(みる・かんじる)
友達作品や普段使っている食器をよくみるように促す。(支援)
- ・F児…最後まで継続して、作品を仕上げる事ができる。(関心・意欲・態度)
自分のアイデアを生かして、制作することができる。(かんがえる・くふうする)
手順を理解して作る事ができる。(かく・つくる)
やる気が起きない時には無理強いせず、落ち着くまで見守る。(支援)

4 題材の流れ

児童・生徒の活動の様子	教師のかかわり・指導のポイント
1. ランチョンマットを作る (1/7) 好きな模様をはさんでみよう。 どんな色がいいかな?	○形を考えることが困難な児童 (A児)、切ることが困難な児童等 (B, C児) について、適宜支援を行う。

2. はしを作る (2、3/7) 本時

竹を見るのは初めてだな。
こんな風に割れるんだ。
小刀を使ってみよう。
つるつるしてきたね。

○竹や小刀の扱いには十分注意を促し、けがのないように作業させる。

○握力が小さい児童 (A、B 児) については、手を添える等して共に制作する。

3. フォーク、ナイフを作る (4/7) スープが飲めるようにへこませよう。

○あらかじめ粘土を棒状にしておき、制作を容易にしておく。

○スプーン、フォークの形を意識させる。
(D、E 児)

4. 皿、コップを作る (5-7/7) 模様を引っ掻いて描くよ。 ひもを積み上げるのはむずかしいな。

○ひも作り、板作り等の容易をしておく。

○象嵌の削りは教師で行う。

5 本時の目標

- A 児…気持ちを落ち着けて、竹の感触を味わう。
B 児…支援を受けながら、竹を削ることができる。
C 児…両手を使い、最後まであきらめずに制作に取り組むことができる。
小刀、サンドペーパーの使い方を理解できる。
D 児…箸の太さや長さを意識しながら作ることができる。
安全に気をつけて小刀、サンドペーパーを使うことができる。
E 児…箸の太さや長さを意識しながら作ることができる。
安全に気をつけて小刀、サンドペーパーを使うことができる。
F 児…気分を落ち着けて、制作に取り組むことができる。
小刀、サンドペーパーの使い方を理解できる。

6 本時の展開

主な学習活動	教師のかかわり
1. はしを作ることを知る。 はし作りの手順を知る。 道具の取り扱い方を知る。 教師と共に作業することを約束する。	○本日の予定を知り、出来上がり見本を見ることで、見通しを持たせ、A 児の不安を軽減する。 ○安全面の確認をし、常に教師と作業させる事でけがを回避する。
2. 鉋、木槌を用いて、竹を割る。 一人ひとり順番に竹割りを体験する。	○二手に分かれて作業を行う。
3. 小刀、工作版を用いて、竹を削る。 小刀を向ける方向、工作版の使い方を知る。	○児童の机を離し、周囲への安全を図る。 ○軍手を用い、竹のささくれでけがのないように注意する。

4. サンドペーパーで磨く。
2本のはしが同じ太さになるように磨く。

○握力の小さい児童には教師が手を添えて共に削る。

◎小刀を適切に扱っているか。
(C,D,E児) (技能)

◎サンドペーパーを適切に扱っているか。(技能)

◎日頃使っている道具を、自身で作できると感じられたか。(全員) (関心・意欲・態度)

7 活動を終えて

この単元は、毎年行われている生活単元学習「収穫祭」に関連づけて行った授業である。児童らはこれまで料理をすることはあったが、食べる際に使う食器類を作るという意識はなかった。この授業を通して、日頃何気なく用いている道具を自ら作り出すことができるという気づきが得られたとともに、作った物を実際に使う喜びを感じられたと考える。

この題材では、画用紙、色紙、半透明シート、竹、オープン粘土、陶芸用粘土（3種）と、はさみ、のり、鉋、小刀、サンドペーパー、陶芸用道具を扱った。特に竹材については、全員が見るのも触るのも初めてであり、鉋で割ったり、小刀で削ったりすることを楽しんでいたようだ。小刀や鉋の扱いも、高学年になるほど上手であり、安全面を確保した上で継続して取り組ませたい道具である。陶芸の皿作りは、模様を象嵌することに挑戦したが、児童では削り作業が上手く行かず、指導者側でやり直しを行った。

ランチョンマット制作例



本題材では、児童一人ひとりについて達成させたい目標と、指導者の支援を明確にしたため、どの活動を児童に頑張らせるのか、どんな場面で指導者が手を貸すのかが分かり易く、4人の指導者が迷うことなく、児童に関わることができた。

オープン粘土でのフォーク、スプーン制作は、撥水剤を塗布したものの、この素材では不適切だったと反省している。また、C、E児は、余分な装飾をフォークに施したため、かえって使用感を損なう結果になってしまった。食事中は2人とも喜んで使っていたが、目標達成という観点では、もっと言葉かけが必要だったと思われる。

特別支援学級では、たとえ障害種が同じであっても発達段階や障害の程度が多岐にわたることが多く、一人の子どもに有効な指導法が他の子どもに有効であるとは限らない。同じ題材に取り組む際にも、個に応じて達成目標等を変えることで、よりよい支援や評価につながると感じている。

完成例



制作の様子 (はし作り)



「くしろスタイル」

釧路造形教育研究会編
会 長 宝 輪 勝 己
研究部長 中 島 健 朗
2007年7月26日発行